

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年 9 月30日

【中間会計期間】 自 2020年 1 月 1 日 至 2020年 6 月30日

【会社名】 マラヤン・バンキング・ベルハッド
(Malayan Banking Berhad)

【代表者の役職氏名】 リー・イー・ホワン
(Lee Yih Hwan)
グループ企業財務担当者
(Group Corporate Treasurer)

【本店の所在の場所】 マレーシア クアラルンプール50050
ジャラン・トゥン・ペラック100
メナラ・メイバンク14階
(Level 14, Menara Maybank, 100, Jalan Tun Perak,
50050 Kuala Lumpur, Malaysia)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 吉井 一浩

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6775-1061

【事務連絡者氏名】 弁護士 安西 明毅
弁護士 井上 譲
弁護士 村尾 侑己
弁護士 山崎 真理
弁護士 本郷 あずさ

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6775-1608

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

- (注1) 「ASEAN」とは、東南アジア諸国連合をいう。
- 「マレーシア中央銀行」又は「BNM」とは、マレーシアの中央銀行であるバンク・ネガラ・マレーシアを意味する。
- 「カガマス」とは、「第一部 第6 - 1 中間財務書類」において、以下の通り意味する。
- () カガマスへ売却した貸出金及びその他の債権に関するリコース義務に関する場合にはカガマス・ベルハッドをいう。
- () カガマス債に関する場合にはカガマス・ベルハッド又はカガマス・エムビーエス・ベルハッドが発行した債券をいう。
- 「メイバンク」又は「当行」とは、マレーシアにおいて設立され、マレーシア、クアラルンプール50050、ジャラン・トゥン・ペラック100、メナラ・メイバンク14階にその登記上の事務所を置く会社であるマラヤン・バンキング・ベルハッド（会社番号：196001000142）をいう。
- 「メイバンク・グループ」又は「当行グループ」とは、マラヤン・バンキング・ベルハッド及びその子会社全体をいう。
- 「タカフル」とは、シャリアにおける保険概念であり、複数の加入者がタカフルにタバッル（tabarru）又は寄付の形で資金提供することにより、そのいずれかが確定した損失又は損害により債務を負うことになった場合に互いに保証することを相互間で合意するものである。これにより加入者の結束及び協調が高められる。
- 「ザカート」とは、特定の財産につき、イスラム法に基づき慈善及び宗教上の目的により毎年行われる支払をいう。
- 「ムドラバ」とは、出資者（rabbul mal）と事業者（mudarib）との間の契約であり、これに基づき出資者は事業者が運用することとなる資本を提供し、当該資本により生じた利益は、双方が合意した利益分配率に基づき出資者と事業者との間で分配されるのに対し、金融損失は、事業者の不正行為（ta'addi）、過失（taqsir）、又は特定の規定の違反（mukhalafah al-shurut）によるものでない限り、出資者が負担する。
- 「ムラバハ」とは、取得原価及び利幅が購入者に開示されている資産の売買をいう。
- (注2) 別段の記載がある場合を除き、「RM」、「マレーシア・リングgit」及び「セン」（1マレーシア・リングgit＝100セン）はマレーシアの法定通貨を指し、「US\$」、「米ドル」及び「セント」はアメリカ合衆国の法定通貨を指し、「オーストラリア・ドル」及び「豪ドル」はオーストラリアの法定通貨を指し、「円」は日本の法定通貨を指す。2020年9月1日現在（日本時間）、株式会社三菱UFJ銀行が提示した現地参考為替相場の仲値は、1マレーシア・リングgit＝25.46円であった。
- (注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。
- (注4) 本書には「予定である」、「企図している」、「目指す」、「目指している」、「期待できる」、「起こりうる」、「確信している」、「予測している」、「期待している」、「継続する」、「予想している」、「見積もっている」、「推定している」、「意向である」、「計画している」、「試みる」、「将来」、「目標とする」、「はずである」、「可能性がある」、「あり得る」、「場合がある」及びその他の類似の用語又はその変化形を含む用語又は表現を使用した将来の見通しに関する記述が含まれている。

当行又は当行グループの予想される財政状態、事業、戦略、計画、見通し及び目標に関するすべての記述は将来の見通しに関する記述である。実際の結果は、当行のその戦略を成功裏に実行する能力、近年又は将来の合併、又は事業に組込むための取得を行うための能力、不良資産及び再構築資産の将来の水準、その成長と拡大、貸倒損失及び投資損失に対する引当金の適切性、技術的变化、投資収入、新商品を売込む能力、キャッシュ・フロー予測、当事者である又は当事者となる法的、規制上の訴訟の結果、新たな会計基準の将来における影響、配当金支払能力、短期資金源を繰越す能力並びに運用、市場、与信、金利及び通貨リスクのエクスポージャー、インターネット・バンキング・サービスの市場浸透度及び需要（ただしこれらに限られない。）に関する当行の想定に関連した特定のリスク又は不確実性により、将来の見通しに関する記述において記載されたものとは大幅に異なることがある。

すべての将来の見通しに関する記述は、本書日付現在におけるものである。当行又は当行グループの実際の将来の業績、成績又は実績が、本書の将来の見通しに関する記述において予測、記載又は暗示されたものと大幅に異なる原因となるリスク及び不確実性があることを前提として、本社債への投資を予定する投資家は、これらの記述に過剰に依存しないようにするべきである。当行は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述に関し、記載された当行の予測のいかなる変更又はかかる記述の基盤となった事象、状況又は環境の変化を反映した更新又は修正を公的に行う義務又は保証を有さないことを明示する。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

当該半期中において、2020年7月1日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 下記は直近の3中間会計期間及び2事業年度における当行グループの主な経営指標等の推移を表したものである。

(別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リングット)

	2018年6月30日に 終了した期間	2019年6月30日に 終了した期間	2020年6月30日に 終了した期間	2018年12月31日に 終了した 事業年度	2019年12月31日に 終了した 事業年度
営業総収益	23,024,392 (586,201,020 千円)	26,030,487 (662,736,199 千円)	25,013,806 (636,851,501 千円)	47,319,853 (1,204,763,457 千円)	52,844,964 (1,345,432,783 千円)
営業利益	5,125,174 (130,486,930 千円)	5,030,888 (128,086,408 千円)	3,959,363 (100,805,382 千円)	10,803,061 (275,045,933 千円)	10,855,507 (276,381,208 千円)
関連会社及びジョイ ント・ベンチャーの 利益持分	41,067 (1,045,566 千円)	71,131 (1,810,995 千円)	94,138 (2,396,753 千円)	98,285 (2,502,336 千円)	158,373 (4,032,177 千円)
包括利益合計	1,950,703 (49,664,898 千円)	6,240,102 (158,872,997 千円)	4,951,056 (126,053,886 千円)	7,666,115 (195,179,288 千円)	11,347,163 (288,898,770 千円)
1株当たり純利益 (基本的)(単位：セ ン)	35.20 (8.96円)	33.84 (8.62円)	26.61 (6.77円)	74.20 (18.89円)	73.45 (18.70円)
1株当たり純利益 (希薄化後)(単位： セン)	35.20 (8.96円)	33.84 (8.62円)	26.61 (6.77円)	74.20 (18.89円)	73.45 (18.70円)

	2018年 6月30日現在	2019年 6月30日現在	2020年 6月30日現在	2018年 12月31日現在	2019年 12月31日現在
純資産	74,261,709 (1,890,703,111 千円)	81,919,372 (2,085,667,211 千円)	84,572,192 (2,153,208,008 千円)	77,737,260 (1,979,190,640 千円)	84,069,224 (2,140,402,443 千円)
資産合計	797,523,232 (20,304,941,487 千円)	819,662,191 (20,868,599,383 千円)	852,733,964 (21,710,606,723 千円)	806,991,681 (20,546,008,198 千円)	834,413,015 (21,244,155,362 千円)
株主資本利益率(%)	10.8	9.8	7.5	11.4	10.9
1株当たり純資産 (単位：マレーシ ア・リングット)	6.58 (167.53円)	7.07 (180.00円)	7.30 (185.86円)	6.82 (173.64円)	7.26 (184.84円)
従業員数(名)	43,194	43,452	42,561	43,139	43,204

	2018年6月30日に 終了した期間	2019年6月30日に 終了した期間	2020年6月30日に 終了した期間	2018年12月31日に 終了した 事業年度	2019年12月31日に 終了した 事業年度
--	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------------	------------------------------

営業活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	4,838,274 (123,182,456 千円)	(23,273,046) ((592,531,751) 千円)	6,843,642 (174,239,125 千円)	10,604,903 (270,000,830 千円)	(9,968,158) ((253,789,303) 千円)
投資活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	(166,066) ((4,228,040) 千円)	(307,487) ((7,828,619) 千円)	370,322 (9,428,398 千円)	(566,067) ((14,412,066) 千円)	(755,206) ((19,227,545) 千円)
財務活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	280,674 (7,145,960 千円)	1,303,030 (33,175,144 千円)	(3,598,459) ((91,616,766) 千円)	(7,029,247) ((178,964,629) 千円)	1,084,865 (27,620,663 千円)
期末現在の現金及び現金同等物	58,581,929 (1,491,495,912 千円)	34,879,712 (888,037,468 千円)	51,416,487 (1,309,063,759 千円)	57,084,530 (1,453,372,134 千円)	47,306,745 (1,204,429,728 千円)

（２）下記は直近の３中間会計期間及び２事業年度における当行の主な経営指標等の推移を表したものである。

（別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リングット）

	2018年６月30日に 終了した期間	2019年６月30日に 終了した期間	2020年６月30日に 終了した期間	2018年12月31日に 終了した 事業年度	2019年12月31日に 終了した 事業年度
営業収益	12,032,558 (306,348,927 千円)	13,089,819 (333,266,792 千円)	9,410,646 (239,595,047 千円)	26,680,896 (679,295,612 千円)	26,906,145 (685,030,452 千円)
営業利益	4,973,547 (126,626,507 千円)	4,117,350 (104,827,731 千円)	4,346,329 (110,657,536 千円)	8,748,426 (222,734,926 千円)	8,415,383 (214,255,651 千円)
当期利益	4,187,253 (106,607,461 千円)	3,550,902 (90,405,965 千円)	3,804,239 (96,855,925 千円)	7,307,811 (186,056,868 千円)	7,279,300 (185,330,978 千円)

	2018年 6月30日現在	2019年 6月30日現在	2020年 6月30日現在	2018年 12月31日現在	2019年 12月31日現在
株式資本	45,828,756 ¹ (1,166,800,128 千円)	48,280,873 (1,229,231,027 千円)	48,280,355 (1,229,217,838 千円)	46,747,442 (1,190,189,873 千円)	48,280,355 (1,229,217,838 千円)
発行済株式総数	10,945,196	11,241,362	11,241,362	11,049,683	11,241,362
純資産	63,630,517 (1,620,032,963 千円)	68,984,554 (1,756,346,745 千円)	70,598,528 (1,797,438,523 千円)	65,589,267 (1,669,902,738 千円)	70,063,377 (1,783,813,578 千円)
資産合計	538,652,882 (13,714,102,376 千円)	455,101,565 (11,586,885,845 千円)	480,872,065 (12,243,002,775 千円)	456,613,298 (11,625,374,567 千円)	464,360,346 (11,822,614,409 千円)
１株当たり純資産 (単位：マレーシア・リングット)	5.81 (147.92円)	6.14 (156.32円)	6.28 (159.89円)	5.94 (151.23円)	6.23 (158.62円)
従業員数(名)	22,779	21,215	21,068	20,904	21,112

	2018年６月30日に 終了した期間	2019年６月30日に 終了した期間	2020年６月30日に 終了した期間	2018年12月31日に 終了した 事業年度	2019年12月31日に 終了した 事業年度
１株当たり純利益 (基本的)(単位：セン)	38.49 (9.80円)	32.04 (8.16円)	33.84 (8.62円)	66.80 (17.01円)	65.20 (16.60円)
１株当たり純利益(希薄化後)(単位：セン)	38.49 (9.80円)	32.04 (8.16円)	33.84 (8.62円)	66.80 (17.01円)	65.20 (16.60円)

1株当たり配当(単位: セン)	25.0 (6.37円)	25.0 (6.37円)	39.0 (9.93円)	57.0 (14.51円)	57.0 (14.51円)
株主資本利益率(%)	13.3	10.6	6.16	11.4	10.4
営業活動から生じたノ(に使用した)キャッシュ・フロー	14,499,428 (369,155,437 千円)	(23,216,984) ((591,104,413) 千円)	3,173,217 (80,790,105 千円)	14,563,172 (370,778,359 千円)	(24,223,764) ((616,737,031) 千円)
投資活動から生じたノ(に使用した)キャッシュ・フロー	154,536 (3,934,487 千円)	1,495,131 (38,066,035 千円)	2,544,577 (64,784,930 千円)	(6,865,332) ((174,791,353) 千円)	3,122,831 (79,507,277 千円)
財務活動から生じたノ(に使用した)キャッシュ・フロー	(1,085,558) ((27,638,307) 千円)	3,081,898 (78,465,123 千円)	(3,046,129) ((77,554,444) 千円)	(7,039,600) ((179,228,216) 千円)	2,505,672 (63,794,409 千円)
期末ノ年末現在の現金及び現金同等物	52,639,703 (1,340,206,838 千円)	22,078,320 (562,114,027 千円)	24,912,768 (634,279,073 千円)	40,682,109 (1,035,766,495 千円)	21,934,867 (558,461,714 千円)

注記:

- 1 2017年1月31日に発効したマレーシア2016年会社法(以下「会社法」という。)に基づき、当行の普通株式は額面価格を有さず、当行の株式払込剰余金は株式資本の一部となる。そのため、資本金には株式発行に関連する株式払込剰余金を含むものとする。

2【事業の内容】

以下の事項を除き、当該半期中において、2020年7月1日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

当行は主に、商業銀行業務及び関連する金融サービスのあらゆる側面に携わっている。当行の子会社は、主に銀行業務及び金融業務、イスラム・バンキング業務、投資銀行業務(株式仲介を含む。)、損害保険及び生命保険の引受け、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル、受託者及びノミニー・サービス並びに資産運用に従事している。

2020年6月30日現在、当行及び当行グループは、それぞれ480.9十億マレーシア・リングgit及び852.7十億マレーシア・リングgitの総資産、247.3十億マレーシア・リングgit及び550.8十億マレーシア・リングgitの顧客預金並びに238.6十億マレーシア・リングgit及び520.2十億マレーシア・リングgitの貸出金及びその他の債権総額を有していた。2020年6月30日に終了した6カ月における当行及び当行グループの税引前利益は、それぞれ4.3十億マレーシア・リングgit及び4.1十億マレーシア・リングgitであった。

当行グループの主な事業は、マレーシア、シンガポール及びインドネシアにおいて行われている。

1960年にシンガポールに進出して以来、当行グループは、メイバンク・シンガポールがシンガポール通貨監督庁(MAS)により国内のシステム上重要な銀行の1つとして指定されていることを踏まえ、その子会社であるメイバンク・シンガポール・リミテッド(MSL)を2018年にフルライセンスを持つ適格銀行(QFB)として設立した。MSLは26の業務拠点で営業し、リテール(個人向けバンキング、プリヴァレジ・ウェルス、プレミア・ウェルス)、プライベート・ウェルス及びMSLバンキング・サービスを提供している。当行グループもまた、メイバンクの既存のシンガポール支店体制を通じて、ホールセール・バンキングから投資銀行に及ぶ幅広いソリューションを提供している。MSL及びメイバンクのシンガポール支店は、2020年6月30日現在において当行グループの貸出金及びその他の債権総額の23.7%^{*}を占めた。

注記: ^{*} カガマスに売却されたイスラム融資を含み、利息の巻き戻しを除く。

当行グループは、その子会社であり、インドネシア証券取引所に上場しているピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティーピーケー(以下「メイバンク・インドネシア」という。)を通じて、インドネシアに拠点を置く。メイバンク・インドネシアは、2020年6月30日現在において当行グループの貸出金及

びその他の債権総額の6.9%を占め、2020年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBTの10.6%を占めた。

1960年に設立した当行グループはマレーシア最大の金融サービスグループであり、ASEAN地域において確立した地位を有している。当行グループは、マレーシア、シンガポール及びインドネシアを本国市場としているASEAN諸国10カ国すべてと、中国、サウジアラビア、インド、パキスタン及びウズベキスタンなどのASEAN非加盟国を含む18カ国で営業している。当行グループはまた、ロンドン、ニューヨーク、香港及びドバイ等の国際金融センターにも拠点を有している。当行グループは、世界中に約2,629のリテール支店と65の投資銀行支店を有している。

当行グループは、事業の3つの柱であるグループ地域金融サービス、グループ・グローバル・バンキング並びにグループ保険及びタカフルによる総合的な金融サービスを提供している。当行グループは、イスラム商品をグループ内に提供する際にイスラム金融のレバレッジモデルを採用しており、国際的な事業運営は各事業の柱に組み込まれている。

グループ地域金融サービス(GCFS)

GCFSは、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ラオス及びブルネイにおける消費者、中小企業顧客及びビジネス・バンキング顧客に向けたリテール・ファイナンシャル・サービスの主要な提供者である。資産管理、住宅ローン、自動車ローン及びクレジットカード等のリテール・バンキング・サービスに加え、短期信用及び長期事業融資等の非リテール・バンキング商品も提供している。GCFSは、2020年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBTの41.7%に寄与した。

グループ・グローバル・バンキング(GGB)

GGBは、トランザクション・バンキング、投資銀行、コーポレート・バンキング、グローバル・マーケット・アンド・トレジャリー、資産運用及び証券業務等のホールセール・バンキング・サービスを提供している。GGBは、大企業及び機関から、リテール、中小企業及びビジネス・バンキング・セグメントに至るまで、様々な顧客にサービスを提供している。GGBは、2020年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBTの48.9%に寄与した。

グループ保険及びタカフル(エティカ)

当行グループの保険及びタカフルは、ブランド名であるエティカの名の下で個人及び法人に向けてサービスを提供している。エティカは、ASEANにおける主要な保険及びタカフル事業会社であり、長期貯蓄並びに投資商品を含むあらゆる種類の損害保険並びにイスラム保険(タカフル)ソリューションを提供している。エティカは、2020年6月30日に終了した6カ月において当行グループのPBTの9.4%に寄与した。

メイバンク・グループ・イスラム・バンキング(MGIB)

MGIBは、その資産においてASEAN最大のイスラム・バンキング・グループである。MGIBは、当行グループのシステム、ITインフラ及び販売ネットワークを活用し、マレーシア内のメイバンクの354の顧客との接点とインドネシア、シンガポール、香港、ロンドン、ラブアン及びドバイにおける海外事業を通じたあらゆる種類のイスラム金融商品並びにサービスを提供している。

メイバンク・イスラミックは、総資産額、総融資額及び総資金調達額(預金・非制限投資口座)並びにすべての主要な事業セグメントにおける総利益額においてマレーシア市場を牽引し続けている。

当行グループは、シャリア適格の商品及びサービスを標準商品として顧客に提供するイスラム第一の手法を採用した。イスラミック・バンキング事業は、2020年6月30日現在においてマレーシア内のメイバンクの金融の61.7%を占めた。

国際事業

当行グループは、ASEAN諸国10カ国すべて並びにとりわけ英国、アメリカ合衆国、大中華圏、インド及びUAEを含む国際的な金融市場において事業を行っており、顧客に独自の事業提案及び投資機会を提供している。

3【関係会社の状況】

当該半期中において、重要な関係会社の異動はなかった。

4【従業員の状況】

(1) 提出会社の従業員数

2020年6月30日現在の当行グループの従業員数は42,561名である。

(2) 非常勤従業員の割合

非常勤従業員はいない。

(3) 従業員数の変動

2020年6月30日現在の当行グループの従業員数は、2019年12月31日現在の43,204名から減少し、42,561名である。

(4) 労働組合に関する特記事項

2020年6月30日現在、労働組合に関連した特別な事象は発生していない。すべての労働協約は誠心誠意の友好的方法で解決済みである。

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

(1) 経営方針、経営戦略及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標

上記「第2-2 事業の内容」、下記「第3-2 事業等のリスク」及び「第3-3(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2) 経営環境

下記「第3-2 事業等のリスク」及び「第3-3(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(3) 対処すべき課題

下記「第3-2 事業等のリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

以下の事項を除き、当該半期中において、2020年7月1日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

当行グループに関する検討事項

事業を行う中で、当行グループは様々なリスクにさらされており、それらは主に信用リスク、市場リスク、非金融リスク、及び流動性リスクである。ビジネス環境の継続的なデジタル化と進化に伴い、リスクの効果的な管理のために、リスク慣行、システム、プロセス及び資源を強化することが常に必要とされている。このように、当社の戦略的課題は、当社の事業構造及び地域全体の連結性を向上させ、バランスのとれた、予測可能かつ持続可能なビジネスモデルに基づいた、顧客中心のリスク文化及びプロセスを制度化することを目的としている。当行グループは、これらのリスクを管理し、軽減するために適切な方策、制度及びプロセスを実施していると考えているが、投資家は、当行グループがこれらのリスクを十分に管理できないことが予想以上に多く、その結果当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性があることに留意するべきである。

市場リスク

市場リスクは、金利／利益率、為替レート、コモディティ価格及び株価といった市場の金利又は価格の変動に起因する、利益若しくは資本の損失又はこれらに対する悪影響のリスクである。かかるリスクは商品勘定取引及び非商品勘定取引／銀行勘定における業務によってさらに分類することができるが、商品勘定取引の市場リスクは主として自己勘定売買、フロー・トレーディング及びマーケットメイキング業務に起因する。これらの業務は、市場の相場観を示し、短期的値動きから利益を受けたり裁定利益を確定したりするための売買目的を伴って、ポジションを保持することがある。非商品勘定取引の市場リスクは、主として銀行勘定業務に起因する固有のリスクである。主要なリスク分類は、銀行勘定における金利リスク及び／又は利回りリスク及び外国為替リスクである。

当行グループは、効率的な戦略及び健全なリスク管理制度の方針及びプロセスを採用していると考えている。しかしながら、これらが将来においても有効でありかつ適切であり続けると保証することはできない。当行グループが市場リスクを管理することができない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

銀行勘定における金利リスク／利回りリスク（以下「IRR／RoRBB」という。）

IRR／RoRBBは、市場金利の変動に起因する銀行勘定エクスポージャーにおける利益又は経済価値の損失リスクとして定義される。IRR／RoRBBの原因には、金利更改リスク、ベシス・リスク、イールドカーブ・リスク及びオプション・リスクが含まれる。さらに、イスラム業務は、商業リスクにさらされている。IRR／RoRBBを受け入れることは、銀行業での通常業務の一部であり、収益性及び株主価値の重要な源泉であり得る。しかしながら、このリスクが過度である場合、当行グループの利益、資本、流動性及び支払能力にとって有害である可能性がある。銀行勘定方針及び限度は、非商品勘定取引の市場リスクを測定し管理するために設定されている。リプライシングギャップ分析は、依然として当行グループのIRR／RoRBB査定の構成要素の1つである。アーニング・アット・リスク（以下「EaR」という。）とエコノミック・バリュー・アット・リスク（以下「EVaR」という。）は、市場金利の変動が収益及び資本に与える悪影響の最大許容水準を測るために算出される。

グループ資産負債管理委員会の監視を通じて、事業ラインは、資金移転価格を通じてIRR／RoRBBから隔離されており、これにより、非商品勘定取引の市場リスク及び流動性リスクは、積極的なリスク管理及びバラ

ンスシートの最適化のために、グループ財務部門に集中されている。グループ財務部門は、定期的にリスク・エクスポージャーを審査し、承認された方針に従って、保証されていないリスク・エクスポージャーを軽減するための戦略を提言する。当行グループは健全な金利管理戦略を採用していると考えているが、これらが将来においても有効でありかつ適切であり続けると保証することはできない。

非決定的な特徴を持つ商品等の特定のポートフォリオは、金利の変動及び景気循環に関連する顧客／商品の動作パターンを把握するため、定期的な統計モデリングが条件となる。定期的なリスク査定及びストレス・テストは、ポートフォリオがリスク許容度及び不利な金利シナリオに耐えることを確実にするために実施される。

銀行勘定における外国為替（以下「FX」という。）リスク

FXリスクは、通貨の不整合が生じた場合の不利な動きを含む、為替レートの変動により生じる価値の損失リスクである。FXリスク・エクスポージャーは、構造的ポジション及び非構造的ポジションに起因することがある。構造的FXポジションは、主として、在外支店及び子会社に対する純投資である一方、その他のFXポジションは本質的に非構造的である。一般に、構造的FXポジションについて、これらの投資が本質的に「永久」であり、売却されない限り評価損は実現しないことから、ヘッジする必要はない。残存FXポジション又はヘッジされていないFXポジションは、承認された方針及び制限に従って管理されている。

銀行勘定の外貨建て資産について、FX NOPを最小限に抑えるために、同一通貨で資金のマッチングが行われる可能性がある。さらに、当行グループは、許容される国内通貨又は海外通貨及びFXリスクを管理するためのヘッジ要件のリストアップといった質的管理を実施している。FXリスクは、主として、利益及び資本金の両方の側面から評価される。グループ資産負債管理委員会は、FXリスクが所定の限度内で管理されていることを確保する上で、積極的な役割を果たしている。

当行グループは、効果的な戦略を採用し、健全な経営方針及びプロセスを採用していると考えている。しかしながら、これらが将来においても有効又は十分であり続けるという保証はない。当行グループがFXリスクの管理を怠ると、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

非金融リスク

非金融リスクとは、オペレーション及び/又はブランド価値及びステークホルダーの当行グループに対する認識に対し金銭的損失又は悪影響をもたらす可能性のある外的要因に起因する損失のリスクを指す。非金融リスクはオペレーショナル・リスク、規制リスク、法的リスク、コンダクト・リスク、テクノロジー・リスク、情報リスク、レピュテーション・リスク及びその他ダウンスайдリスク、すなわち既知の未知といった様々なリスクにより構成される。3つの防衛線を前提とした健全なリスク・ガバナンス・モデルと強固なリスク文化は、当行グループにおける非金融リスクの管理を推進する上で不可欠である。

当行グループは、リスク管理及び損失軽減に係る戦略を実施し、多くの資源が効率的な方法の開発に投入されたが、非金融リスクを完全になくすことは不可能である。加えて、当行グループは、当行グループのインターネット利用の増加により引き起こされる物理的な侵入、セキュリティ侵害及びその他の混乱を招く問題から、コンピュータ・システム及びネットワーク・インフラを保護することに努めている。コンピュータへの侵入及び電力の断絶は、これらのコンピュータ・システム及びネットワーク・インフラストラクチャに格納され、これらを介して送信される情報のセキュリティに影響を与える可能性がある。当行グループでは、セキュリティ侵害のリスクを最小限にするように設計された、さまざまな管理を採用している。

当行グループは、定期的なテストを通じて事業運営の回復力を継続的に検証し、確立された事業継続性管理（以下「BCM」という。）プロセス及びインフラストラクチャーが、混乱の間に回復するために必要な能力

及び資源を備えていることを確認している。メイバンク・グループ・リカバリー・プランニング（以下「RCP」という。）は、当行グループの財務力、経営能力、及び評判に影響を与える事象から回復するための信頼できるオプションを特定することを目的として制定されている。これは、当行グループの流動性の健全性及び支払能力に影響を及ぼす、潜在的な資本、流動性、又は資金調達の混乱に対処するための体系的アプローチを提供するものである。

重大な不正行為、システム障害、災害又はセキュリティ対策の不備は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。さらに、従業員、顧客、又はその他の第三者による重大な不正行為によって、当行グループのレピュテーションが悪影響を受ける可能性がある。

環境・社会・ガバナンス（ESG）リスク

信用供与の持続可能性及び倫理的影響を測定する際に、環境（気候変動及び資源枯渇の脅威）、社会（多様性、人権、消費者保護及び動物福祉に関する懸念）及びコーポレート・ガバナンス（会社の経営者の権利及び責任、経営体制並びに文書に関する懸念）に関する分析及び意思決定の実施を怠るリスクである。

当行グループは、特に気候変動が顧客に与える影響を考慮して、貸付ポートフォリオにおけるESGリスクの管理に注力している。また、当行グループは、ポートフォリオと現在の顧客がESG問題について定期的に検討を行い、新規顧客がESG問題を考慮すること及びメイバンクの手続きが様々な利害関係者の長期的な利益を保護することを保証する。

当行グループは、健全な方針とプロセスを採用していると考えている。しかしながら、これらが将来においても有効又は十分であるとの保証はない。当行グループのESGリスクを管理できない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、見通し及び/又は評判に悪影響を及ぼす可能性がある。

資産の質の悪化が当行グループに悪影響を及ぼす可能性がある。

資産の質は、金融機関の業績を牽引する主要な原動力の1つである。当行グループは、その資産の質を管理するために慎重な信用リスク管理方針を採用している。当行グループは、信用方針は変化する環境及び様々な市況に敏感に反応する必要があると認識している。さらに、貸付けに係る規則、方針及び指針の作成並びにその適用は、当行グループ全体で一貫して行われなければならない。当行グループは、貸付の条件決定には、最適な資本収益率を生み出すためにリスク費用を反映しなければならないと理解している。

当行グループは、脆弱な企業、機関及び顧客のクレジットを効果的に管理するために、専門チームを設置している。これらの脆弱なクレジットに対しては、さらなる劣化を防ぐために、又は必要に応じて是正措置を加速させるために、より頻繁かつ集中的な検討が実施されることに特別な注意が払われる。資産品質委員会は、これらの遵守を確保するための指導と監督を行う。当行グループの与信承認プロセスは、承認前評価、承認、承認後評価を含んでいる。グループ・リスクは、当行グループ全体で効果的かつ一貫した信用リスク管理方針、ツール及び方法論を策定、強化及び伝達し、かかるリスクを特定、測定、管理、監視及び報告するための適切な基準を整備する責任を有する。

当行グループは、資産の質の管理について健全な方針及びプロセスを採用していると考えており、このシステムが将来においても有効でありかつ適切であり続けると保証することはできない。資産の質の悪化が、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

将来、自己資本比率が低下した場合又は新たな自己資本比率規制枠組みへの対応のため、新たな自己資本の調達を迫られる可能性がある。

2020年2月5日に発行されたマレーシア中央銀行の自己資本比率規制枠組み（資本構成）（以下「自己資本比率規制枠組み」という。）は、当行グループを含むマレーシアの銀行機関が以下の最低自己資本比率を維持することを要求している。

- (a) 普通株式等Tier1（以下「CET1」という。）自己資本比率4.5%以上
- (b) Tier1自己資本比率6.0%以上
- (c) リスクアセットの自己資本比率8.0%以上

さらに国内のシステム上重要な銀行に指定された銀行については、CET1資本が資本保全バッファ（以下「CCB」という。）、カウンターシクリカル資本バッファ（以下「CCYB」という。）及び高い損失吸収要件（「HLA要件」）の形で、上記に記載されている最低CET1自己資本比率、Tier1自己資本比率及び自己資本比率を上回る追加の自己資本バッファを維持することを要求されている。

2020年2月5日、マレーシア中央銀行は国内のシステム上重要な銀行の枠組みを公表した。国内のシステム上重要な銀行の枠組みは、国内のシステム上重要な銀行に適用可能なHLA要件を定めている。当行グループは、マレーシア中央銀行により、パケット2の国内のシステム上重要な銀行に分類されているため、適用されるHLA要件はリスクアセットの1%である。この要件は、2021年1月31日に施行される。

銀行がかかる比率を維持することができない場合、マレーシア中央銀行は、かかる銀行に対して罰金から銀行免許の取消しまでの罰則を科す可能性がある。「第1-1(1) 提出会社の属する国・州等における会社制度」の「銀行規制及び監督」を参照のこと。

2020年6月30日現在において、当行グループ及び当行のCET1自己資本比率はそれぞれ15.431%及び15.442%、Tier1自己資本比率はそれぞれ16.175%及び16.235%、総自己資本比率は19.042%及び18.811%であった。

当行グループの資本ベース及び自己資本比率は、その経営成績又は財政状態が貸出金の資産の質の悪化による場合を含めて何らかの理由で悪化し、又は当行グループが低リスクの資産に資金の分散を行うことができない場合、将来において減少する可能性がある。当行グループの自己資本比率が低下した場合、適用ある自己資本比率規制ガイドラインを遵守するために、追加のCET1資本、追加のTier1資本又はTier2資本を取得することが求められる可能性がある。ただし、当行グループは、予定した資金調達の時点における市場の状況及び環境によっては、有利な条件で追加の資本を調達することができず、又は資本を一切調達することができない可能性がある。

さらにマレーシア中央銀行がマレーシアの銀行に追加の資本要件を課すような形で、又はマレーシアの銀行に関連する自己資本要件に影響を与えるようなその他の方法により、自己資本比率規制枠組みの修正を行わないという保証はない。バーゼルのアプローチ及び各国における導入は、適格資本及びリスクアセットの構成に応じて様々な形で当行グループに潜在的な影響を及ぼす可能性のあるマレーシア中央銀行の対応次第である。当行グループは、常に最適な資本構成を確保し、様々なステークホルダーの要求を満たすために確固たる資本基盤を常に維持しているものの、当行グループが将来においてバーゼルの基準及び自己資本枠組みを遵守するために資本に対する圧力の増大に直面することがないと保証することはできず、その場合当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、新しい事業戦略の実施又は新たな市場への参入において困難に直面する可能性がある。

当行グループの事業戦略には、新商品を開発すること及び地域的に当行グループの存在感を高めることが含まれている。当行グループの事業活動の拡大により、とりわけ以下を含む多くのリスク及び課題に当行グループがさらされる可能性がある。

- (a) 新たに拡大された事業活動は、当行グループが期待したほどの成長又は潜在的利益をもたらさない可能性があり、新規事業活動は当行グループが望むレベルの利益を生み出すという保証はなく、又は全く利益を生み出さない可能性がある。
- (b) 新規事業戦略は、当行グループのポートフォリオのリスク特性を変化させる可能性がある。
- (c) 当行グループは、適時に魅力的な新しいサービスを見出し、提供することが困難で、これにより競合者に対して不利な立場に置かれる可能性がある。
- (d) 当行グループの競合者は、新たに拡大された事業活動においてはるかに多くの経験と資力を有している可能性があり、これにより当行グループは競合者から顧客を惹きつけることができない可能性がある。
- (e) 金利又はインフレの変動等の経済状況若しくは法令の変更等の規制環境の動向が、当行グループの拡大に影響を与える可能性がある。

当行グループが事業戦略を遂行することができない場合、その事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

技術的進歩に対応することができず、又は情報技術への適切な投資水準を維持することができない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは技術的進歩に遅れないように尽力しており、当行グループの事業目的を促進し、支援するために、情報技術に投資してきた。当行グループは、その事業の実績及びリスク管理能力を高めるために、プロセス効率及び有効性の新たな水準を高めるべく投資を継続する予定であるが、情報技術に関するこれらの投資及び今後の変更により、当行グループは、新たな技術、システム若しくはその他の設備の導入により既存のシステム及びインフラの移行又は統合が行われることに伴って生じる技術的リスク若しくはオペレーショナル・リスク又は問題にさらされる可能性がある。

情報技術を高めようとする当行グループの努力がスムーズに移行する又は適切に実行されると保証することはできない。新たな情報技術のプラットフォームの実施において戦略的／技術的な影響があり、また当行グループの情報技術に対する適切な投資レベルを維持することができない場合、その事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

マレーシアに関する検討事項

2020年6月30日に終了した6カ月において、当行グループの純営業収益の約64.8%がマレーシアにおける事業より生じたものである。マレーシアのマクロ経済の状況に重大な影響又は悪影響を及ぼす要因は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに同様の影響を及ぼす可能性がある。

世界的な又は地域的な動向が、当行グループに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

マレーシアの主要な取引相手であり、外国直接投資及びポートフォリオ資本の源泉国である他国、特に主要先進国経済（例えば米国、欧州、日本）、大型の新興市場国経済（例えば中国、インド）及びアジア（例えば北東アジア、ASEAN）における経済状況、市況、政治及び政策情勢は、マレーシア経済に影響を与える可能性がある。経済状況の悪化、拡大した金融市場及び通貨の不安定性、並びに物価の変動、政治及び政策の不確実性は、これら経済において消費者マインド、景況感及び投資家の信頼感に著しい損失をもたらし、マレーシアの経済に悪影響を及ぼす可能性があり、これにより当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループの支配が及ばない外的要因又は状況の例には、以下のものが含まれるがこれに限られない。

- (a) マレーシアの銀行市場への外国からの新規競合者の参入並びに新規及び既存の国内外の競合者のその他の行為
- (b) 金融技術又は「フィンテック」企業への参入並びにそれらとの競合に起因する、デジタル経済、e-コマース、ブロックチェーン及び暗号通貨などの技術革新の採用による銀行業界及び金融セクターへの影響、並びに規制技術又は「レグテック」の発展を通じて変化する規制の状況
- (c) マレーシア及び主要な海外経済における全般的な経済状況、市況、政治情勢及び社会情勢
- (d) 金融市場、為替及び金利の変動
- (e) マレーシア及び主要な海外経済が主な産出国及び輸出国となっている原油、パーム油、天然ガス及び石炭などのコモディティ価格の変動
- (f) マレーシア及び主要な海外経済における消費者の消費パターン
- (g) マレーシア及び主要な海外経済におけるインフレ圧力
- (h) 主要な政策変更、戦争、テロ及びサイバー攻撃、自然災害、パンデミック、地政学的な緊張及び政治不安といった世界的又は外部的事件及び情勢
- (i) マレーシア及び主要な海外市場における許認可、課税、関税といった法体制及び政府政策、規定及び規則の変更

これら要因は、当行グループの事業、展望、財政状態、経営成績及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

COVID-19の世界的流行若しくはその他の感染症又はパンデミックの発生、又はアジア、米国、オーストラリア、ヨーロッパ、中東及び/又は世界的にみたその他の重大な公衆衛生上の懸念、及び政府がこれに対応するために採用した政策や措置は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

COVID-19の世界的流行は、世界経済に重大な影響を与えており、今後も与え続ける。国内当局はまた、この世界的流行を封じ込めるために前例のない措置を講じている。例えば、国内外への移動制限、大規模な集会の禁止、生活に不必要なサービスの停止、強制的な事業閉鎖、そして最も制限的なものとして、全国民に対する包括的な隔離命令などである。これらの「社会的距離」対策は公衆衛生にとって極めて重要であるが、同時に需給ショックを引き起こしている。その結果、世界の金融市場の動揺は高まり、世界の石油市場の不確実性によりさらに増幅された。その他のリスクには、長期にわたり国境閉鎖された経済を再び開放するための封鎖措置の撤回に伴う新たな感染の波、国際旅行者に対する強制隔離、サプライチェーン及び世界貿易の混乱、広範な破産と大量の失業など、パンデミックから生じる経済に対するより長期的な影響又は永続的な損害、政府財政の深刻な負担、並びに世界的な景気後退が含まれる。

また、マレーシアにおいても、COVID-19の世界的流行や国内の活動制限令の影響、原油価格の下落などにより、経済は2020年上半期に-8.3%縮小した。世界的流行により誘発された景気後退の影響を緩和しようとする政府の試みには、()翌日物金利の累積125ベースポイントの引下げによる金融政策の刺激、及び()法定預金準備率(以下「SRR」という。)の100ベースポイントの引下げ及び金融機関のSRR遵守に対する柔軟性の付与が含まれる。さらに、COVID-19の世界的流行の被害が最も大きかった個人、世帯及び企業を経済的及び財政的に救済するため、総額295十億マレーシア・リングgit (マレーシア政府による45十億マレーシア・リングgitの直接財政投入を含む。)の経済刺激策が発表された。2020年5月6日、財務大臣は、マレーシアの銀行が、先に発表された6カ月間の猶予期間(下記参照)について、割賦ローンの分割に課される追加的な金利又は利払いを免除すると発表した。

マレーシア中央銀行はまた、経済活動を支える金融与信、規制及び流動性の情勢を確保するための措置を講じた。マレーシア中央銀行は、COVID-19の大流行の影響を管理するために、個人、中小企業、及び法人を支援する銀行の取組みを支援するため、いくつかの規制、監督及び流動性措置を発表した。

(a) 銀行は、個人及び中小企業に対し、2020年4月1日から2020年9月30日までの6カ月間、ローン/ファイナンスの返済を自動的に猶予する。このオファーは、リングgit建ての融資で、2020年4月1日現在90日超延滞していないものに適用される。法人は、この猶予を選択することができる。2020年7月29日の発表に続き、2020年10月1日から2020年12月31日までの間、2020年に職を失ったがまだ職を見つけていない個人及びCOVID-19により所得損失を被った個人を対象として、ローンの支払猶予期間がさらに3カ月延長される。同時に、銀行は、他の個人及びCOVID-19の影響を受けたすべての中小企業の借入人に対し、返済の柔軟性（例えば、借入人が一定期間にわたりローンの利息部分のみを支払うこと、1回あたりの分割返済額の減額又はステップ・アップ返済を認めることなど）を提供することができる。

(b) 国内金融システム及び市場において十分な流動性を確保するため、マレーシア中央銀行は以下を行う。

() 2020年3月から8月の間に推定62.7十億マレーシア・リングgitを100 ベーシスポイントのSRR引下げ及び柔軟なSRRコンプライアンス（42.9十億マレーシア・リングgit）、リバーズ・レポ（11十億マレーシア・リングgit）、マレーシア国債（8.8十億マレーシア・リングgit）の買入れを通じて注入した。

() 最低流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）要件の100%を下回る水準での銀行の営業を認めた。

() 銀行による2.5%の資本保全バッファの引下げを認めた。

() 予想損失に備えて保有する規制準備金を0%に引下げた。

(c) 一方、安定調達比率は、2020年7月1日から、より低い水準である80%で実施される。安定調達比率は、銀行の長期資産に占める長期安定的な資金調達の割合を測定しようとする流動性の基準である。このため、銀行には、資産構成やオフバランスシート活動との関連で、安定的な資金調達の維持が求められる。

シンガポールでは、COVID-19の大流行によって政府から課された「ソフトロックダウン」によって、関連期間中は食品、医療、社会サービス、金融サービス、輸送、エネルギー及び水道、廃棄物処理、環境管理などの不可欠なサービスのみが稼働した。COVID-19の影響を緩和するために、92.9十億シンガポール・ドルの財政支援策が割当てられた。

インドネシアでは、2020年の現時点までにインドネシア中央銀行が国内需要を支えるために政策金利を100ベーシスポイント引下げた。インドネシア政府はまた、COVID-19の世界的流行の影響を緩和するために710.4兆インドネシア・ルピアの経済支援策を発表した。

各国政府が実施しているCOVID-19の拡散阻止・抑制のための公衆衛生措置が安全に解除される時期や、安全で効果的なCOVID-19ワクチンが入手できる時期、世界経済が回復するまでにどれだけの期間がかかるかは不透明である。世界経済は、COVID-19の世界的流行の急速な拡大に起因する、需給、市場及び通貨面での深刻なショックに直面している。COVID-19の世界的流行による活動制限令及び全国的なロックダウンの延長に起因する需給の混乱を考慮して、多くの政府（マレーシア政府を含む。）は既に、2020年のGDP成長予測を下方修正している。当行グループが事業を展開するマレーシアその他の国において、新たな世界的若しくは地域的な金融危機が発生し、又は経済的若しくは政治的環境が悪化した場合、当行グループの事業、財政状態及び/又は経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

COVID-19の世界的流行が一般的な銀行セクターに与える影響としては、()利下げによる純金利マージンの圧縮、()事業活動及び消費支出の縮小による貸付金の伸びの低下、() (a)顧客の信用力の低下、および (b)国の財政負担を回復し軽減するために政府が実施する前例のない金融政策を受けて、銀行に対する財政及びキャッシュフローの影響の緩和、といった潜在的な信用コストの上昇が予想される。メイバンクは、COVID-19の世界的流行による進展を監視し続ける一方で、引続き流動性と資本力を優先し、これらの比率/水準が規制基準を上回るよう維持していく。また、当行グループは、その運用市場における低金利環境を背景とした純金利マージン圧縮の管理を行い、リスク選好に沿った成長機会の追求を図っていく。また、当行グループは、債務者と協力して、COVID-19の影響を受けた債務者の雇用支援や倒産防止に向けた実行可能な解決策を提供していく。当行グループは、この大流行が長期化すると、経済成長及び回復の不確実性がさらに高まる可能性があり、当行グループの事業、経営成績、財政状態、展望及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性があることに留意している。COVID-19の世界的流行を抑制するためにとられた政策や介入の結果として、当行グループが増幅した圧力に直面しないという保証はない。さらに、COVID-19の世界的流行を抑制するために政府が実施するこのような政策及び/又は介入は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。

上記に加え、COVID-19の更なる流行や、アジア、米国、オーストラリア、ヨーロッパ、中東及び/又は世界の規模でのその他の感染症又はパンデミック（MERS、エボラ、鳥インフルエンザ、H1N1インフルエンザ、SARS、ジカウイルスなど）の発生、それに伴う移動制限及び/又は隔離の実施は、当行グループが事業活動を行う諸外国の経済及び事業活動に悪影響を与え、世界的なサプライチェーンや世界貿易の混乱を招き、世界の経済成長に悪影響を与える可能性がある。感染症又はパンデミックに対して講じられる予防措置が効果的であるとの保証は一切ない。これらのリスクの管理を怠ると、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績等の概要

下記「第3 - 3 (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

下記「第6 - 1 中間財務書類」の中間財務書類への注記B - 1を参照のこと。

4【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

5【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【主要な設備の状況】

当該半期中において、2020年7月1日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

2【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

(2020年6月30日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
(注)	11,241,361,887	(注)

注記： 会社法上、未発行の授権株式という概念はない。

【発行済株式】

(2020年6月30日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
記名式 無額面	普通株式	11,241,361,887	マレーシア 証券取引所	1株当たり 1議決権
計	-	11,241,361,887	-	-

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	株式資本増減額 (マレーシア・ リングgit)	株式資本残高 (千マレーシア・ リングgit)	摘要
2019年12月31日	-	11,241,361,887	-	48,280,355	-
2020年1月1日～ 2020年6月30日	0		0		
2020年6月30日	-	11,241,361,887	-	48,280,355	-

(4) 【大株主の状況】

(2020年 6 月30日現在)

名称	住所	所有 株式数 (株)	発行済株式総 数に対する 所有株式数の 割合 (%)
アマナラヤ・トラステーズ・ベルハッド(B/O：アマ ナ・サハム・プミプテラ)	マレーシア	3,914,505,196	34.82
シティグループ・ノミニーズ(テンパタン)スンディリア ン・ベルハッド(B/O：従業員積立基金)	マレーシア	1,436,289,726	12.78
パーモダラン・ナショナル・ベルハッド	マレーシア	871,867,476	7.76
合計		6,222,662,398	55.36

2 【役員の状況】

当該半期中において、2020年 7 月 1 日に提出した有価証券報告書に記載された役員の構成に重要な変更はなかった。

第6【経理の状況】

当行グループ及び当行の2020年6月30日に終了した6カ月間の原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は、マレーシア財務報告基準（Malaysian Financial Reporting Standards、以下「MFRS」という。）及び国際財務報告基準（International Financial Reporting Standards、以下「IFRS」という。）に従って作成されたものである。当該中間財務書類の和訳は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という）第76条第1項の適用を受けている。当行が採用する会計原則、慣行、表示方法及び開示要件と日本のそれらとの相違のうち、連結及び個別中間財務書類の作成に関わるもので重要なものは、中間財務諸表等規則第77条及び第78条第2項の規定に準拠して、「第6 - 3 MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」でその内容を説明している。

原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は監査を受けていない。

当行がマレーシアにおいて発行した原文の半期報告書に含まれる中間財務書類は、マレーシア・リンギットで表示されている。円換算額は、中間財務諸表等規則第79条の規定に基づいて便宜のため表示されたものであり、1マレーシア・リンギット＝25.46円で換算されている。千円単位未満の端数は四捨五入されている。上記の為替相場は、2020年9月1日現在の株式会社三菱UFJ銀行の公表する現地参考為替相場の仲値に基づいて算定したものである。円換算額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。

1【中間会計期間財務書類】

要約財務書類
未監査損益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
受取利息	A21	4,921,717	6,019,275	10,472,285	12,053,746
支払利息	A22	(2,223,859)	(3,121,713)	(4,863,266)	(6,202,644)
受取利息純額		2,697,858	2,897,562	5,609,019	5,851,102
イスラム金融業務からの収益	A41a	1,251,627	1,402,940	2,872,397	2,899,558
正味既経過保険料	A23	1,740,883	1,623,843	3,685,821	3,250,389
その他の営業収益	A25	2,427,426	1,979,797	3,760,531	3,657,661
営業収益合計		8,117,794	7,904,142	15,927,768	15,658,710
保険給付金及び支払保険金純額、手数料 費用純額、保険関連負債の変動、並び に生命保険及びタカフルファンドに係 る税金	A26	(2,469,248)	(2,014,417)	(3,555,052)	(3,908,942)
純営業収益		5,648,546	5,889,725	12,372,716	11,749,768
一般管理費	A27	(2,706,339)	(2,821,684)	(5,648,346)	(5,629,258)
減損損失前営業利益		2,942,207	3,068,041	6,724,370	6,120,510
貸出金及びその他の債権に対する減損損 失引当金繰入、純額	A28	(1,739,267)	(391,644)	(2,700,934)	(995,638)
金融投資に係る減損損失引当金繰入、純 額	A29	(9,151)	(23,912)	(43,917)	(48,521)
その他の金融資産に対する減損損失引当 金戻入／（繰入）、純額	A30	7,687	(36,743)	(20,156)	(45,463)
営業利益		1,201,476	2,615,742	3,959,363	5,030,888
関連会社及びジョイント・ベンチャーの 利益持分		54,271	35,846	94,138	71,131
税金及びザカート前利益		1,255,747	2,651,588	4,053,501	5,102,019
税金及びザカート	B5	(229,111)	(663,507)	(984,973)	(1,239,121)
当期利益		1,026,636	1,988,081	3,068,528	3,862,898
当期利益の帰属:					
当行株主		941,732	1,940,871	2,991,382	3,750,135
非支配持分		84,904	47,210	77,146	112,763
		1,026,636	1,988,081	3,068,528	3,862,898
一株当たり利益当行株主帰属分					
基本的/希薄化後	B12	8.38セソ	17.46 セソ	26.61 セソ	33.84 セソ

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

**要約財務書類
未監査損益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間**

当行グループ	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円
受取利息	A21	125,306,915	153,250,742	266,624,376	306,888,373
支払利息	A22	(56,619,450)	(79,478,813)	(123,818,752)	(157,919,316)
受取利息純額		68,687,465	73,771,929	142,805,624	148,969,057
イスラム金融業務からの収益	A41a	31,866,423	35,718,852	73,131,228	73,822,747
正味既経過保険料	A23	44,322,881	41,343,043	93,841,003	82,754,904
その他の営業収益	A25	61,802,266	50,405,632	95,743,119	93,124,049
営業収益合計		206,679,035	201,239,455	405,520,973	398,670,757
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	A26	(62,867,054)	(51,287,057)	(90,511,624)	(99,521,663)
純営業収益		143,811,981	149,952,399	315,009,349	299,149,093
一般管理費	A27	(68,903,391)	(71,840,075)	(143,806,889)	(143,320,909)
減損損失前営業利益		74,908,590	78,112,324	171,202,460	155,828,185
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	A28	(44,281,738)	(9,971,256)	(68,765,780)	(25,348,943)
金融投資に係る減損損失引当金繰入、純額	A29	(232,984)	(608,800)	(1,118,127)	(1,235,345)
その他の金融資産に対する減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	A30	195,711	(935,477)	(513,172)	(1,157,488)
営業利益		30,589,579	66,596,791	100,805,382	128,086,408
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分		1,381,740	912,639	2,396,753	1,810,995
税金及びザカート前利益		31,971,319	67,509,430	103,202,135	129,897,404
税金及びザカート	B5	(5,833,166)	(16,892,888)	(25,077,413)	(31,548,021)
当期利益		26,138,153	50,616,542	78,124,723	98,349,383
当期利益の帰属:					
当行株主		23,976,497	49,414,576	76,160,586	95,478,437
非支配持分		2,161,656	1,201,967	1,964,137	2,870,946
		26,138,153	50,616,542	78,124,723	98,349,383
一株当たり利益当行株主帰属分					
基本的/希薄化後	B12	2.13円	4.45円	6.77円	8.62円

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当期利益	1,026,636	1,988,081	3,068,528	3,862,898
その他の包括（損失）／利益：				
後に純損益に再分類されない項目：				
確定給付制度の年金数理（損失）／利得	(6,063)	4,263	(6,228)	3,911
税効果	(755)	3	(755)	147
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融商品の公正価値の変動に係る正味（損 失）／利得	(17,697)	12,210	43,265	14,174
	(24,515)	16,476	36,282	18,232
後に純損益に再分類される可能性がある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負 債性金融商品に係る正味利得	1,463,159	904,936	1,132,513	2,177,767
- 公正価値の変動からの正味利得	1,566,414	1,186,334	1,038,424	2,550,082
- 予想信用損失の変動	266,219	4,580	307,666	236,739
- 税効果	(369,474)	(285,978)	(213,577)	(609,054)
外国為替換算に係る正味利得	1,730,888	590,172	667,239	458,003
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味利得／ （損失）	55	(411)	1	(151)
純投資ヘッジに係る正味利得／（損失）	948	(1,898)	(7,154)	(57)
公正価値ヘッジに係る正味利得	5,173	6,386	20,634	6,386
資本準備金に係る正味損失	(742)	-	(962)	-
関連会社準備金の変動に係る持分	10,615	(204,466)	33,975	(282,976)
	3,210,096	1,294,719	1,846,246	2,358,972
税引後当期のその他の包括利益	3,185,581	1,311,195	1,882,528	2,377,204
当期包括利益合計	4,212,217	3,299,276	4,951,056	6,240,102
当期のその他の包括利益の帰属：				
当行株主	3,142,299	1,288,670	1,877,183	2,342,521
非支配持分	43,282	22,525	5,345	34,683
	3,185,581	1,311,195	1,882,528	2,377,204
当期包括利益合計の帰属：				
当行株主	4,084,031	3,229,541	4,868,565	6,092,656
非支配持分	128,186	69,735	82,491	147,446
	4,212,217	3,299,276	4,951,056	6,240,102

（これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円
当行グループ				
当期利益	26,138,153	50,616,542	78,124,723	98,349,383
その他の包括（損失）／利益：				
後に純損益に再分類されない項目：				
確定給付制度の年金数理（損失）／利得	(154,364)	108,536	(158,565)	99,574
税効果	(19,222)	76	(19,222)	3,743
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融商品の公正価値の変動に係る正味 （損失）／利得	(450,566)	310,867	1,101,527	360,870
	(624,152)	419,479	923,740	464,187
後に純損益に再分類される可能性がある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 負債性金融商品に係る正味利得	37,252,028	23,039,671	28,833,781	55,445,948
- 公正価値の変動からの正味利得	39,880,900	30,204,064	26,438,275	64,925,088
- 予想信用損失の変動	6,777,936	116,607	7,833,176	6,027,375
- 税効果	(9,406,808)	(7,281,000)	(5,437,670)	(15,506,515)
外国為替換算に係る正味利得	44,068,408	15,025,779	16,987,905	11,660,756
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味利得／ （損失）	1,400	(10,464)	25	(3,844)
純投資ヘッジに係る正味利得／（損失）	24,136	(48,323)	(182,141)	(1,451)
公正価値ヘッジに係る正味利得	131,705	162,588	525,342	162,588
資本準備金に係る正味損失	(18,891)	-	(24,493)	-
関連会社準備金の変動に係る持分	270,258	(5,205,704)	865,004	(7,204,569)
	81,729,044	32,963,546	47,005,423	60,059,427
税引後当期のその他の包括利益	81,104,892	33,383,025	47,929,163	60,523,614
当期包括利益合計	107,243,045	83,999,567	126,053,886	158,872,997
当期のその他の包括利益の帰属：				
当行株主	80,002,933	32,809,538	47,793,079	59,640,585
非支配持分	1,101,960	573,487	136,084	883,029
	81,104,892	33,383,025	47,929,163	60,523,614
当期包括利益合計の帰属：				
当行株主	103,979,429	82,224,114	123,953,665	155,119,022
非支配持分	3,263,616	1,775,453	2,100,221	3,753,975
	107,243,045	83,999,567	126,053,886	158,872,997

（これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査損益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

		第2四半期		6カ月間累計期間	
		2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行	注記				
受取利息	A21	3,286,871	4,021,210	7,042,806	8,110,273
支払利息	A22	(1,446,389)	(2,162,886)	(3,253,380)	(4,359,664)
受取利息純額		1,840,482	1,858,324	3,789,426	3,750,609
子会社からの配当金	A24	1,604,017	1,735,163	2,079,308	1,735,163
その他の営業収益	A25	775,798	966,274	2,531,615	1,719,702
		2,379,815	2,701,437	4,610,923	3,454,865
純営業収益		4,220,297	4,559,761	8,400,349	7,205,474
一般管理費	A27	(1,152,962)	(1,180,548)	(2,284,361)	(2,295,344)
減損損失前営業利益		3,067,335	3,379,213	6,115,988	4,910,130
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金繰入、純額	A28	(955,172)	(180,385)	(1,734,824)	(727,204)
金融投資に対する減損損失引当金戻 入 / (繰入)、純額	A29	1,792	(15,393)	(23,991)	(48,209)
その他の金融資産に対する減損損失引 当金繰入、純額	A30	(981)	(29,712)	(10,844)	(17,367)
税金及びザカート前利益		2,112,974	3,153,723	4,346,329	4,117,350
税金及びザカート	B5	(88,849)	(330,738)	(542,090)	(566,448)
当期利益		2,024,125	2,822,985	3,804,239	3,550,902

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査損益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

当行	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円
受取利息	A21	83,683,736	102,380,007	179,309,841	206,487,551
支払利息	A22	(36,825,064)	(55,067,078)	(82,831,055)	(110,997,045)
受取利息純額		46,858,672	47,312,929	96,478,786	95,490,505
子会社からの配当金	A24	40,838,273	44,177,250	52,939,182	44,177,250
その他の営業収益	A25	19,751,817	24,601,336	64,454,918	43,783,613
		60,590,090	68,778,586	117,394,100	87,960,863
純営業収益		107,448,762	116,091,515	213,872,886	183,451,368
一般管理費	A27	(29,354,413)	(30,056,752)	(58,159,831)	(58,439,458)
減損損失前営業利益		78,094,349	86,034,763	155,713,054	125,011,910
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金繰入、純額	A28	(24,318,679)	(4,592,602)	(44,168,619)	(18,514,614)
金融投資に対する減損損失引当金戻 入/(繰入)、純額	A29	45,624	(391,906)	(610,811)	(1,227,401)
その他の金融資産に対する減損損失引 当金繰入、純額	A30	(24,976)	(756,468)	(276,088)	(442,164)
税金及びザカート前利益		53,796,318	80,293,788	110,657,536	104,827,731
税金及びザカート	B5	(2,262,096)	(8,420,589)	(13,801,611)	(14,421,766)
当期利益		51,534,223	71,873,198	96,855,925	90,405,965

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
当期利益	<u>2,024,125</u>	<u>2,822,985</u>	<u>3,804,239</u>	<u>3,550,902</u>
その他の包括（損失）／利益：				
後に純損益に再分類されない項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融商品の公正価値の変動に係る正味（損 失）／利得	<u>(21,816)</u>	<u>(4,639)</u>	<u>46,770</u>	<u>(3,963)</u>
後に純損益に再分類される可能性がある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負 債性金融商品に係る正味利得	1,118,875	721,408	825,454	1,793,158
- 公正価値の変動からの正味利得	1,114,000	946,188	678,093	2,040,030
- 予想信用損失の変動	266,988	1,905	303,900	242,758
- 税効果	(262,113)	(226,685)	(156,539)	(489,630)
外国為替換算に係る正味利得	43,820	104,300	194,434	35,948
公正価値ヘッジに係る正味利得	5,173	6,386	20,634	6,386
	<u>1,167,868</u>	<u>832,094</u>	<u>1,040,522</u>	<u>1,835,492</u>
税引後当期のその他の包括利益	<u>1,146,052</u>	<u>827,455</u>	<u>1,087,292</u>	<u>1,831,529</u>
当期包括利益合計	<u><u>3,170,177</u></u>	<u><u>3,650,440</u></u>	<u><u>4,891,531</u></u>	<u><u>5,382,431</u></u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円
当行				
当期利益	51,534,223	71,873,198	96,855,925	90,405,965
その他の包括（損失）／利益：				
後に純損益に再分類されない項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融商品の公正価値の変動に係る正味 （損失）／利得	(555,435)	(118,109)	1,190,764	(100,898)
後に純損益に再分類される可能性がある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 負債性金融商品に係る正味利得	28,486,558	18,367,048	21,016,059	45,653,803
- 公正価値の変動からの正味利得	28,362,440	24,089,946	17,264,248	51,939,164
- 予想信用損失の変動	6,797,514	48,501	7,737,294	6,180,619
- 税効果	(6,673,397)	(5,771,400)	(3,985,483)	(12,465,980)
外国為替換算に係る正味利得	1,115,657	2,655,478	4,950,290	915,236
公正価値ヘッジに係る正味利得	131,705	162,588	525,342	162,588
	29,733,919	21,185,113	26,491,690	46,731,626
税引後当期のその他の包括利益	29,178,484	21,067,004	27,682,454	46,630,728
当期包括利益合計	80,712,706	92,940,202	124,538,379	137,036,693

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書 2020年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2020年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット
注記					
資産					
現金及び短期資金		45,935,180	46,469,074	21,844,178	19,040,534
金融機関預け金		16,421,945	14,093,218	15,804,151	28,287,338
売戻条件付買入金融資産		14,015,842	13,639,082	11,898,168	11,297,036
当初認識時に純損益を通じて公正価値 で測定するものとして指定された金融 資産					
A10(i)	13,804,571	14,323,303	-	-	
純損益を通じて公正価値で測定する金 融投資	A10(ii)	21,701,939	20,370,865	14,637,344	12,912,823
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融投資	A10(iii)	123,082,106	123,351,533	81,694,380	80,798,700
償却原価で測定する金融投資	A10(iv)	45,473,469	34,784,476	38,920,732	32,574,918
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11(i)	966,758	1,128,618	30,826,493	19,400,239
顧客向貸出金及びその他の債権	A11(ii)	508,466,489	512,291,092	201,633,803	207,188,981
デリバティブ資産	A37	23,621,237	10,335,629	23,283,731	10,002,003
再保険資産 / 再タカフル資産及びその 他の保険債権	A12	5,052,918	4,232,089	-	-
その他の資産	A13	12,241,003	9,479,084	5,433,213	4,943,190
投資不動産		922,231	921,471	-	-
中央銀行への法定預け金		6,949,026	15,052,752	1,593,616	4,100,932
子会社への投資		-	-	31,078,114	31,559,247
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する持分		2,577,225	2,490,548	440,730	440,730
有形固定資産		2,255,895	2,335,798	975,511	1,014,286
使用権資産		1,522,055	1,548,208	454,576	438,254
無形資産		6,902,736	6,836,463	353,325	361,135
繰延税金資産		821,339	729,712	-	-
資産合計		852,733,964	834,413,015	480,872,065	464,360,346
負債					
顧客の資金					
- 顧客預金	A14	550,791,015	544,530,912	247,261,283	242,757,617
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	22,537,623	20,737,670	-	-
金融機関預り金	A15	36,121,318	43,557,209	41,682,986	51,354,535
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		12,001,801	13,978,744	31,299,086	28,293,032
デリバティブ負債	A37	22,512,502	11,182,307	22,011,538	10,588,278
純損益を通じて公正価値で測定する金 融負債	A16	9,828,570	6,530,753	9,828,570	6,530,753
支払手形及び銀行引受手形		1,421,847	1,291,814	458,019	479,662
保険契約負債 / タカフル契約負債及び その他の保険債務	A18	33,256,076	30,885,630	-	-
その他の負債	A19	23,249,865	21,569,527	9,894,005	7,952,408
カガマスへ売却した貸出金及びその他 の債権に関するリコース義務		-	1,526,225	-	1,526,225
税金及びザカート引当金		381,950	187,061	58,627	-
繰延税金負債		1,405,584	878,276	448,968	185,495
借入金	A17(i)	42,406,898	41,339,415	35,250,991	32,645,025
劣後債務	A17(ii)	9,419,265	9,321,125	9,252,006	9,156,816
資本性証券	A17(iii)	2,827,458	2,827,123	2,827,458	2,827,123
負債合計		768,161,772	750,343,791	410,273,537	394,296,969

¹ 顧客の投資口座は、注記A41e(ii)に開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書 2020年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2020年	2019年	2020年	2019年
		6月30日現在	12月31日現在	6月30日現在	12月31日現在
注記		千円	千円	千円	千円
資産					
現金及び短期資金		1,169,509,683	1,183,102,624	556,152,772	484,771,996
金融機関預け金		418,102,720	358,813,330	402,373,684	720,195,625
売戻条件付買入金融資産		356,843,337	347,251,028	302,927,357	287,622,537
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	A10(i)	351,464,378	364,671,294	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	A10(ii)	552,531,367	518,642,223	372,666,778	328,760,474
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	A10(iii)	3,133,670,419	3,140,530,030	2,079,938,915	2,057,134,902
償却原価で測定する金融投資	A10(iv)	1,157,754,521	885,612,759	990,921,837	829,357,412
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11(i)	24,613,659	28,734,614	784,842,512	493,930,085
顧客向貸出金及びその他の債権	A11(ii)	12,945,556,810	13,042,931,202	5,133,596,624	5,275,031,456
デリバティブ資産	A37	601,396,694	263,145,114	592,803,791	254,650,996
再保険資産 / 再タカフル資産及びその他の保険債権	A12	128,647,292	107,748,986	-	-
その他の資産	A13	311,655,936	241,337,479	138,329,603	125,853,617
投資不動産		23,480,001	23,460,652	-	-
中央銀行への法定預け金		176,922,202	383,243,066	40,573,463	104,409,729
子会社への投資		-	-	791,248,782	803,498,429
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する持分		65,616,149	63,409,352	11,220,986	11,220,986
有形固定資産		57,435,087	59,469,417	24,836,510	25,823,722
使用権資産		38,751,520	39,417,376	11,573,505	11,157,947
無形資産		175,743,659	174,056,348	8,995,655	9,194,497
繰延税金資産		20,911,291	18,578,468	-	-
資産合計		21,710,606,723	21,244,155,362	12,243,002,775	11,822,614,409
負債					
顧客の資金					
- 顧客預金	A14	14,023,139,242	13,863,757,020	6,295,272,265	6,180,608,929
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	573,807,882	527,981,078	-	-
金融機関預り金	A15	919,648,756	1,108,966,541	1,061,248,824	1,307,486,461
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		305,565,853	355,898,822	796,874,730	720,340,595
デリバティブ負債	A37	573,168,301	284,701,536	560,413,757	269,577,558
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	A16	250,235,392	166,272,971	250,235,392	166,272,971
支払手形及び銀行引受手形		36,200,225	32,889,584	11,661,164	12,212,195
保険契約負債 / タカフル契約負債及びその他の保険債務	A18	846,699,695	786,348,140	-	-
その他の負債	A19	591,941,563	549,160,157	251,901,367	202,468,308
カガマスへ売却した貸出金及びその他の債権に関するリコース義務		-	38,857,689	-	38,857,689
税金及びザカート引当金		9,724,447	4,762,573	1,492,643	-
繰延税金負債		35,786,169	22,360,907	11,430,725	4,722,703
借入金	A17(i)	1,079,679,623	1,052,501,506	897,490,231	831,142,337
劣後債務	A17(ii)	239,814,487	237,315,843	235,556,073	233,132,535
資本性証券	A17(iii)	71,987,081	71,978,552	71,987,081	71,978,552
負債合計		19,557,398,715	19,103,752,919	10,445,564,252	10,038,800,831

¹ 顧客の投資口座は、注記A41e(ii)に開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書2020年6月30日現在

		当行グループ		当行	
	注記	2020年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット
当行株主に帰属する資本					
株式資本		48,280,355	48,280,355	48,280,355	48,280,355
利益剰余金		26,391,179	27,162,899	15,034,012	15,223,022
準備金		7,411,589	6,127,684	7,284,161	6,560,000
		82,083,123	81,570,938	70,598,528	70,063,377
非支配持分		2,489,069	2,498,286	-	-
		84,572,192	84,069,224	70,598,528	70,063,377
負債及び株主資本合計		852,733,964	834,413,015	480,872,065	464,360,346
コミットメント及び偶発事象	A35	1,365,819,266	1,208,622,674	1,280,432,753	1,125,439,598
自己資本充実度	A36				
当行グループ及び当行の自己資本比率 は以下の通りである。					
普通株式等Tier 1自己資本比率		15.431%	15.729%	15.442%	15.314%
Tier 1自己資本比率		16.175%	16.486%	16.235%	16.120%
総自己資本比率		19.042%	19.387%	18.811%	19.387%
		マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット
当行株主に帰属する一株当たり純資産		7.30	7.26	6.28	6.23

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書2020年 6 月30日現在

注記	当行グループ		当行	
	2020年 6 月30日現在 千円	2019年 12月31日現在 千円	2020年 6 月30日現在 千円	2019年 12月31日現在 千円
当行株主に帰属する資本				
株式資本	1,229,217,838	1,229,217,838	1,229,217,838	1,229,217,838
利益剰余金	671,919,417	691,567,409	382,765,946	387,578,140
準備金	188,699,056	156,010,835	185,454,739	167,017,600
	<u>2,089,836,312</u>	<u>2,076,796,081</u>	<u>1,797,438,523</u>	<u>1,783,813,578</u>
非支配持分	63,371,697	63,606,362	-	-
	<u>2,153,208,008</u>	<u>2,140,402,443</u>	<u>1,797,438,523</u>	<u>1,783,813,578</u>
負債及び株主資本合計	<u>21,710,606,723</u>	<u>21,244,155,362</u>	<u>12,243,002,775</u>	<u>11,822,614,409</u>
コミットメント及び偶発事象	A35 <u>34,773,758,512</u>	<u>30,771,533,280</u>	<u>32,599,817,891</u>	<u>28,653,692,165</u>
自己資本充実度	A36			
当行グループ及び当行の自己資本比率 は以下の通りである。				
普通株式等Tier 1自己資本比率	15.431%	15.729%	15.442%	15.314%
Tier 1自己資本比率	16.175%	16.486%	16.235%	16.120%
総自己資本比率	<u>19.042%</u>	<u>19.387%</u>	<u>18.811%</u>	<u>19.387%</u>
	円	円	円	円
当行株主に帰属する一株当たり純資産	<u>185.86</u>	<u>184.84</u>	<u>159.89</u>	<u>158.62</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ											
2020年1月1日現在	48,280,355	279,355	2,771,806	2,973,151	399,826	37,195	(333,649)	27,162,899	81,570,938	2,498,286	84,069,224
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	2,991,382	2,991,382	77,146	3,068,528
その他の包括利益	-	-	-	1,247,128	624,511	-	5,544	-	1,877,183	5,345	1,882,528
確定給付制度の年金数理(損失)/利得	-	-	-	-	-	-	(7,016)	-	(7,016)	33	(6,983)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	73,775	(39,800)	-	-	-	33,975	-	33,975
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	664,311	-	-	-	664,311	2,928	667,239
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味利得	-	-	-	1,173,353	-	-	-	-	1,173,353	2,425	1,175,778
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(7,154)	-	(7,154)	-	(7,154)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る 正味利得	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	20,634	-	20,634	-	20,634
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(921)	-	(921)	(41)	(962)
当期包括利益合計	-	-	-	1,247,128	624,511	-	5,544	2,991,382	4,868,565	82,491	4,951,056
次頁への繰越額	48,280,355	279,355	2,771,806	4,220,279	1,024,337	37,195	(328,105)	30,154,281	86,439,503	2,580,777	89,020,280

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

< =====当行株主に帰属===== >

< =====分配不能部分===== >

当行グループ	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
2020年1月1日現在	1,229,217,838	7,112,378	70,570,181	75,696,424	10,179,570	946,985	(8,494,704)	691,567,409	2,076,796,081	63,606,362	2,140,402,443
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	76,160,586	76,160,586	1,964,137	78,124,723
その他の包括利益	-	-	-	31,751,879	15,900,050	-	141,150	-	47,793,079	136,084	47,929,163
確定給付制度の年金数理(損失)/利得	-	-	-	-	-	-	(178,627)	-	(178,627)	840	(177,787)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	1,878,312	(1,013,308)	-	-	-	865,004	-	865,004
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	16,913,358	-	-	-	16,913,358	74,547	16,987,905
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味利得	-	-	-	29,873,567	-	-	-	-	29,873,567	61,741	29,935,308
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(182,141)	-	(182,141)	-	(182,141)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る 正味利得	-	-	-	-	-	-	25	-	25	-	25
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	525,342	-	525,342	-	525,342
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(23,449)	-	(23,449)	(1,044)	(24,493)
当期包括利益合計	-	-	-	31,751,879	15,900,050	-	141,150	76,160,586	123,953,665	2,100,221	126,053,886
次頁への繰越額	1,229,217,838	7,112,378	70,570,181	107,448,303	26,079,620	946,985	(8,353,553)	767,727,994	2,200,749,746	65,706,582	2,266,456,329

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >											
< ===== 分配不能部分 ===== >											
	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ（続き）											
前頁からの繰越額	48,280,355	279,355	2,771,806	4,220,279	1,024,337	37,195	(328,105)	30,154,281	86,439,503	2,580,777	89,020,280
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(2,961)	-	-	-	2,961	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	27,751	-	-	27,751	-	27,751
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,991)	(2,991)
法定準備金への振替	-	37,007	-	-	-	-	-	(37,007)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(655,075)	-	-	-	-	655,075	-	-	-
支払配当金（注記A9(a)及び（b））	-	-	-	-	-	-	-	(4,384,131)	(4,384,131)	(88,717)	(4,472,848)
株主との取引／その他の持分変動合計	-	37,007	(655,075)	(2,961)	-	27,751	-	(3,763,102)	(4,356,380)	(91,708)	(4,448,088)
2020年 6 月30日現在	48,280,355	316,362	2,116,731	4,217,318	1,024,337	64,946	(328,105)	26,391,179	82,083,123	2,489,069	84,572,192

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な無配当保険積立剰余金550.4百万マレーシア・リンギット（税引後）が含まれる。この分配不能な無配当保険積立剰余金は、2013年金融サービス法に従って選任された数理士が推奨する金額に基づいた株主への配当にのみ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ(続き)	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
前頁からの繰越額	1,229,217,838	7,112,378	70,570,181	107,448,303	28,079,620	946,985	(8,353,553)	767,727,994	2,200,749,746	65,706,582	2,266,456,329
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(75,387)	-	-	-	75,387	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	706,540	-	-	706,540	-	706,540
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(76,151)	(76,151)
法定準備金への振替	-	942,198	-	-	-	-	-	(942,198)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(16,678,210)	-	-	-	-	16,678,210	-	-	-
支払配当金(注記A9(a)及び(b))	-	-	-	-	-	-	-	(111,619,975)	(111,619,975)	(2,258,735)	(113,878,710)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	942,198	(16,678,210)	(75,387)	-	706,540	-	(95,808,577)	(110,913,435)	(2,334,886)	(113,248,320)
2020年 6 月30日現在	1,229,217,838	8,054,577	53,891,971	107,372,916	28,079,620	1,653,525	(8,353,553)	671,919,417	2,089,836,312	63,371,697	2,153,208,008

1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。

2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能無配当保険積立剰余金550.4百万マレーシア・リンギット(税引後)が含まれる。この分配不能無配当保険積立剰余金は、2013年金融サービス法に従って選任された数理士が推奨する金額に基づいた株主への配当にのみ分配可能である。

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間

< =====当行株主に帰属===== >

< =====分配不能部分===== >

	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ											
2019年 1 月 1 日現在	46,747,442	239,009	2,127,290	457,045	113,510	-	(339,752)	25,985,583	75,330,127	2,407,133	77,737,260
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	3,750,135	3,750,135	112,763	3,862,898
その他の包括利益/(損失)	-	-	-	2,159,789	173,357	-	9,375	-	2,342,521	34,683	2,377,204
確定給付制度の年金数理損失	-	-	-	-	-	-	3,197	-	3,197	861	4,058
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(5,171)	(277,805)	-	-	-	(282,976)	-	(282,976)
外国為替換算に係る正味(損失)/利得	-	-	-	-	451,162	-	-	-	451,162	6,841	458,003
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味利得	-	-	-	2,164,960	-	-	-	-	2,164,960	26,981	2,191,941
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(57)	-	(57)	-	(57)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味 損失	-	-	-	-	-	-	(151)	-	(151)	-	(151)
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	6,386	-	6,386	-	6,386
当期包括利益合計	-	-	-	2,159,789	173,357	-	9,375	3,750,135	6,092,656	147,446	6,240,102
次頁への繰越額	46,747,442	239,009	2,127,290	2,616,834	286,867	-	(330,377)	29,735,718	81,422,783	2,554,579	83,977,362

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
2019年1月1日現在	1,190,189,873	6,085,169	54,160,803	11,636,366	2,889,965	-	(8,650,086)	661,592,943	1,917,905,033	61,285,606	1,979,190,640
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	95,478,437	95,478,437	2,870,946	98,349,383
その他の包括利益/(損失)	-	-	-	54,988,228	4,413,669	-	238,688	-	59,640,585	883,029	60,523,614
確定給付制度の年金数理損失	-	-	-	-	-	-	81,396	-	81,396	21,921	103,317
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(131,654)	(7,072,915)	-	-	-	(7,204,569)	-	(7,204,569)
外国為替換算に係る正味(損失)/利得	-	-	-	-	11,486,585	-	-	-	11,486,585	174,172	11,660,756
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	-	-	-	55,119,882	-	-	-	-	55,119,882	686,936	55,806,818
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(1,451)	-	(1,451)	-	(1,451)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(3,844)	-	(3,844)	-	(3,844)
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	162,588	-	162,588	-	162,588
当期包括利益合計	-	-	-	54,988,228	4,413,669	-	238,688	95,478,437	155,119,022	3,753,975	158,872,997
次頁への繰越額	1,190,189,873	6,085,169	54,160,803	66,624,594	7,303,634	-	(8,411,398)	757,071,380	2,073,024,055	65,039,581	2,138,063,637

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ（続き）											
前頁からの繰越額	46,747,442	239,009	2,127,290	2,616,834	286,867	-	(330,377)	29,735,718	81,422,783	2,554,579	83,977,362
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(44)	-	-	-	44	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	15,324	-	-	15,324	-	15,324
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30,959	30,959
法定準備金への振替	-	33,705	-	-	-	-	-	(33,705)	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	477,714	-	-	-	-	(477,714)	-	-	-
配当金再投資制度（「DRP」）に基づく株式の 発行	1,533,431	-	-	-	-	-	-	-	1,533,431	-	1,533,431
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(3,535,899)	(3,535,899)	(101,805)	(3,637,704)
株主との取引/その他の持分変動合計	1,533,431	33,705	477,714	(44)	-	15,324	-	(4,047,274)	(1,987,144)	(70,846)	(2,057,990)
2019年6月30日現在	48,280,873	272,714	2,605,004	2,616,790	286,867	15,324	(330,377)	25,688,444	79,435,639	2,483,733	81,919,372

1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。

2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な無配当保険積立剰余金719.5百万マレーシア・リンギット（税引後）が含まれる。この分配不能な無配当保険積立剰余金は、2013年金融サービス法に従って選任された数理士が推奨する金額に基づいた株主への配当にのみ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ（続き）	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
前頁からの繰越額	1,190,189,873	6,085,169	54,160,803	66,624,594	7,303,634	-	(8,411,398)	757,071,380	2,073,024,055	65,039,581	2,138,063,637
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(1,120)	-	-	-	1,120	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	390,149	-	-	390,149	-	390,149
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	788,216	788,216
法定準備金への振替	-	858,129	-	-	-	-	-	(858,129)	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	12,162,598	-	-	-	-	(12,162,598)	-	-	-
配当金再投資制度（「DRP」）に基づく株式の 発行	39,041,153	-	-	-	-	-	-	-	39,041,153	-	39,041,153
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(90,023,989)	(90,023,989)	(2,591,955)	(92,615,944)
株主との取引/その他の持分変動合計	39,041,153	858,129	12,162,598	(1,120)	-	390,149	-	(103,043,596)	(50,592,686)	(1,803,739)	(52,396,425)
2019年 6 月30日現在	1,229,231,027	6,943,298	66,323,402	66,623,473	7,303,634	390,149	(8,411,398)	654,027,784	2,022,431,369	63,235,842	2,085,667,211

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な無配当保険積立剰余金719.5百万マレーシア・リンギット（税引後）が含まれる。この分配不能な無配当保険積立剰余金は、2013年金融サービス法に従って選任された数理士が推奨する金額に基づいた株主への配当にのみ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主帰属 ===== >									
< ===== 分配不能部分 ===== >									
	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	公正価値ヘッジ 準備金 千マレーシア・ リンギット	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行									
2020年 1 月 1 日現在	48,280,355	59,502	1,894,921	2,260,271	2,308,456	37,195	(345)	15,223,022	70,063,377
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	3,804,239	3,804,239
その他の包括利益	-	-	-	872,224	194,434	-	20,634	-	1,087,292
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	194,434	-	-	-	194,434
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	-	-	-	872,224	-	-	-	-	872,224
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	20,634	-	20,634
当期包括利益合計	-	-	-	872,224	194,434	-	20,634	3,804,239	4,891,531
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	27,751	-	-	27,751
法定準備金への振替	-	8,539	-	-	-	-	-	(8,539)	-
規制準備金からの振替	-	-	(399,421)	-	-	-	-	399,421	-
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	-	-	-	-	(4,384,131)	(4,384,131)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	8,539	(399,421)	-	-	27,751	-	(3,993,249)	(4,356,380)
2020年 6 月30日現在	48,280,355	68,041	1,495,500	3,132,495	2,502,890	64,946	20,289	15,034,012	70,598,528

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

**要約財務書類
未監査持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間**

< ===== 当行株主帰属 ===== >									
< ===== 分配不能部分 ===== >									
当行	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価差額 準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値ヘッジ 準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2020年 1 月 1 日現在	1,229,217,838	1,514,921	48,244,689	57,546,500	58,773,290	946,985	(8,784)	387,578,140	1,783,813,578
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	96,855,925	96,855,925
その他の包括利益	-	-	-	22,206,823	4,950,290	-	525,342	-	27,682,454
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	4,950,290	-	-	-	4,950,290
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	-	-	-	22,206,823	-	-	-	-	22,206,823
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	525,342	-	525,342
当期包括利益合計	-	-	-	22,206,823	4,950,290	-	525,342	96,855,925	124,538,379
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	706,540	-	-	706,540
法定準備金への振替	-	217,403	-	-	-	-	-	(217,403)	-
規制準備金からの振替	-	-	(10,169,259)	-	-	-	-	10,169,259	-
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	-	-	-	-	(111,619,975)	(111,619,975)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	217,403	(10,169,259)	-	-	706,540	-	(101,668,120)	(110,913,435)
2020年 6 月30日現在	1,229,217,838	1,732,324	38,075,430	79,753,323	63,723,579	1,653,525	516,558	382,765,946	1,797,438,523

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間

	< ===== 当行株主帰属 ===== >								
	< ===== 分配不能部分 ===== >								
	株式資本 千マレーシア・ リングギット	法定準備金 千マレーシア・ リングギット	規制準備金 千マレーシア・ リングギット	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リングギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リングギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リングギット	公正価値ヘッジ 準備金 千マレーシア・ リングギット	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リングギット	資本合計 千マレーシア・ リングギット
当行									
2019年 1 月 1 日現在	46,747,442	53,032	1,778,997	279,332	2,328,702	-	-	14,401,762	65,589,267
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	3,550,902	3,550,902
その他の包括利益	-	-	-	1,789,195	35,948	-	6,386	-	1,831,529
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	35,948	-	-	-	35,948
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	-	-	-	1,789,195	-	-	-	-	1,789,195
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	6,386	-	6,386
当期包括利益合計	-	-	-	1,789,195	35,948	-	6,386	3,550,902	5,382,431
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(44)	-	-	-	44	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	15,324	-	-	15,324
法定準備金への振替	-	1,015	-	-	-	-	-	(1,015)	-
規制準備金への振替	-	-	203,310	-	-	-	-	(203,310)	-
配当金再投資制度(「DRP」)に基づく株式の発行	1,533,431	-	-	-	-	-	-	-	1,533,431
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(3,535,899)	(3,535,899)
株主との取引/その他の持分変動合計	1,533,431	1,015	203,310	(44)	-	15,324	-	(3,740,180)	(1,987,144)
2019年 6 月30日現在	48,280,873	54,047	1,982,307	2,068,483	2,364,650	15,324	6,386	14,212,484	68,984,554

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2020年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価差額 準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値ヘッジ 準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2019年 1 月 1 日現在	1,190,189,873	1,350,195	45,293,264	7,111,793	59,288,753	-	-	366,668,861	1,669,902,738
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	90,405,965	90,405,965
その他の包括利益	-	-	-	45,552,905	915,236	-	162,588	-	46,630,728
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	915,236	-	-	-	915,236
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	-	-	-	45,552,905	-	-	-	-	45,552,905
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	-	-	-	162,588	-	162,588
当期包括利益合計	-	-	-	45,552,905	915,236	-	162,588	90,405,965	137,036,693
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(1,120)	-	-	-	1,120	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	390,149	-	-	390,149
法定準備金への振替	-	25,842	-	-	-	-	-	(25,842)	-
規制準備金への振替	-	-	5,176,273	-	-	-	-	(5,176,273)	-
配当金再投資制度(「DRP」)に基づく株式の発行	39,041,153	-	-	-	-	-	-	-	39,041,153
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(90,023,989)	(90,023,989)
株主との取引/その他の持分変動合計	39,041,153	25,842	5,176,273	(1,120)	-	390,149	-	(95,224,983)	(50,592,686)
2019年 6 月30日現在	1,229,231,027	1,376,037	50,469,536	52,663,577	60,203,989	390,149	162,588	361,849,843	1,756,346,745

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	4,053,501	5,102,019	4,346,329	4,117,350
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	(94,138)	(71,131)	-	-
有形固定資産の減価償却費	154,014	148,737	51,552	61,997
使用権資産の減価償却費	223,455	182,007	59,760	53,578
無形資産の償却費	140,311	120,054	28,020	23,749
有形固定資産の処分益	(11,477)	(2,079)	(10,926)	(23)
子会社の処分に係る正味損失	10,160	-	-	-
みなし支配企業の処分に係る正味損失	-	-	-	1,222
関連会社持分の希薄化に係る正味利得	-	(1,836)	-	(1,696)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に 係る正味損失 / (利得)	283,419	(202,766)	(102,390)	(121,096)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投 資の処分に係る正味利得	(1,547,468)	(418,853)	(1,174,692)	(359,977)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリ バティブの再評価に係る未実現利得	(960,057)	(1,239,860)	(737,046)	(275,804)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価 に係る未実現損失	290,176	818,033	290,176	818,734
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他 の債権の再評価に係る未実現 (利得) / 損失	(952)	561	(952)	561
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰 入、純額	2,813,414	1,200,710	1,786,847	806,104
その他の債務に対する減損損失引当金繰入	1,960	6,352	154	12,444
金融投資に対する減損損失引当金繰入、純額	43,917	48,976	23,991	48,209
その他の金融資産に対する減損損失引当金繰入、純額	20,156	45,466	10,844	17,367
受取配当金	(55,122)	(48,743)	(2,082,500)	(1,739,155)
ESGP費用	38,754	18,681	19,944	10,722
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	36,890	(73,720)	(153,235)	(541,441)
運転資本増減前営業利益	5,440,913	5,632,608	2,355,876	2,932,845
当初の満期が3カ月超となる金融機関預け金の増減	(1,823,013)	(5,031,021)	12,527,065	(4,708,928)
当初の満期が3カ月超となる現金及び短期資金の増減	4,133,994	173,321	128,879	(251,132)
金融投資ポートフォリオの増減	(8,887,554)	(12,649,236)	(6,954,060)	(10,247,667)
貸出金及びその他の債権の増減	1,155,094	(7,059,510)	(4,518,665)	1,152,691
中央銀行への法定預け金の増減	8,102,414	(958,006)	2,507,316	(449,577)
顧客預金の増減	7,979,831	4,854,932	4,553,290	(8,200,077)
顧客の投資口座の増減	1,799,953	(1,912,284)	-	-
金融機関預り金の増減	(7,435,891)	2,884,616	(9,671,549)	2,457,575
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	(5)	(1,476,152)	(5)	(1,091,166)
再保険資産 / 再タカフル資産及びその他の保険債権の増 減	(828,140)	(465,449)	-	-
保険契約負債 / タカフル契約負債及びその他の保険債務 の増減	2,370,446	2,620,951	-	-
その他営業活動に係る増減	(4,670,751)	(8,310,842)	2,573,665	(4,034,596)
営業活動から生じた / (に使用した) キャッシュ・フ ロー	7,337,291	(21,696,072)	3,501,812	(22,440,032)
税金及びザカート支払額	(493,649)	(1,576,974)	(328,595)	(776,952)
営業活動から生じた / (に使用した) 正味キャッシュ・ フロー	6,843,642	(23,273,046)	3,173,217	(23,216,984)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	103,202,135	129,897,404	110,657,536	104,827,731
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	(2,396,753)	(1,810,995)	-	-
有形固定資産の減価償却費	3,921,196	3,786,844	1,312,514	1,578,444
使用権資産の減価償却費	5,689,164	4,633,898	1,521,490	1,364,096
無形資産の償却費	3,572,318	3,056,575	713,389	604,650
有形固定資産の処分益	(292,204)	(52,931)	(278,176)	(586)
子会社の処分に係る正味損失	258,674	-	-	-
みなし支配企業の処分に係る正味損失	-	-	-	31,112
関連会社持分の希薄化に係る正味利得	-	(46,745)	-	(43,180)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に係る正味損失 / (利得)	7,215,848	(5,162,422)	(2,606,849)	(3,083,104)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	(39,398,535)	(10,663,997)	(29,907,658)	(9,165,014)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリバティブの再評価に係る未実現利得	(24,443,051)	(31,566,836)	(18,765,191)	(7,021,970)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価に係る未実現損失	7,387,881	20,827,120	7,387,881	20,844,968
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権の再評価に係る未実現 (利得) / 損失	(24,238)	14,283	(24,238)	14,283
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	71,629,520	30,570,077	45,493,125	20,523,408
その他の債務に対する減損損失引当金繰入	49,902	161,722	3,921	316,824
金融投資に対する減損損失引当金繰入、純額	1,118,127	1,246,929	610,811	1,227,401
その他の金融資産に対する減損損失引当金繰入、純額	513,172	1,157,564	276,088	442,164
受取配当金	(1,403,406)	(1,240,997)	(53,020,450)	(44,278,886)
ESGP費用	986,677	475,618	507,774	272,982
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	939,219	(1,876,911)	(3,901,363)	(13,785,088)
運転資本増減前営業利益	138,525,645	143,406,200	59,980,603	74,670,234
当初の満期が3カ月超となる金融機関預け金の増減	(46,413,911)	(128,089,795)	318,939,075	(119,889,307)
当初の満期が3カ月超となる現金及び短期資金の増減	105,251,487	4,412,753	3,281,259	(6,393,821)
金融投資ポートフォリオの増減	(226,277,125)	(322,049,549)	(177,050,368)	(260,905,602)
貸出金及びその他の債権の増減	29,408,693	(179,735,125)	(115,045,211)	29,347,513
中央銀行への法定預け金の増減	206,287,460	(24,390,833)	63,836,265	(11,446,230)
顧客預金の増減	203,166,497	123,606,569	115,926,763	(208,773,960)
顧客の投資口座の増減	45,826,803	(48,686,751)	-	-
金融機関預り金の増減	(189,317,785)	73,442,323	(246,237,638)	62,569,860
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	(127)	(37,582,830)	(127)	(27,781,086)
再保険資産 / 再タカフル資産及びその他の保険債権の増減	(21,084,444)	(11,850,332)	-	-
保険契約負債 / タカフル契約負債及びその他の保険債務の増減	60,351,555	66,729,412	-	-
その他営業活動に係る増減	(118,917,320)	(211,594,037)	65,525,511	(102,720,814)
営業活動から生じた / (に使用した) キャッシュ・フロー	186,807,429	(552,381,993)	89,156,134	(571,323,215)
税金及びザカート支払額	(12,568,304)	(40,149,758)	(8,366,029)	(19,781,198)
営業活動から生じた / (に使用した) 正味キャッシュ・フロー	174,239,125	(592,531,751)	80,790,105	(591,104,413)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
- 金融投資ポートフォリオ	55,122	48,743	3,192	3,992
- 子会社	-	-	2,079,308	1,735,163
有形固定資産の購入	(63,632)	(82,618)	(11,059)	(27,708)
無形資産の購入	(102,363)	(112,122)	(19,837)	(22,311)
投資不動産の購入	(455)	(2,158)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(732,788)	(194,029)
有形固定資産の処分による収入	484,641	3,780	11,841	24
非支配持分との取引による正味影響額	(2,991)	30,958	-	-
関連会社の取得による正味影響額	-	(194,070)	-	-
子会社の資本の返還による正味影響額	-	-	1,213,920	-
投資活動から生じた / (に使用した) 正味キャッ シュ・フロー	<u>370,322</u>	<u>(307,487)</u>	<u>2,544,577</u>	<u>1,495,131</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入	-	1,533,431	-	1,533,431
借入 (返済) / 実行による収入、純額	(224,522)	4,714,915	287,077	5,151,286
劣後債務の発行	94,250	3,700,000	-	3,700,000
劣後債務の償還	-	(4,801,002)	-	(3,700,000)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の実行	2,655,150	-	2,655,150	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の償還実 行	(60,328)	-	(60,328)	-
リース負債の返済	(63,936)	(190,506)	(17,672)	(50,816)
カガマスに売却した貸出金及びその他の債権のリコー ス義務、純額	(1,526,225)	(16,104)	(1,526,225)	(16,104)
支払配当金	(4,384,131)	(3,535,899)	(4,384,131)	(3,535,899)
非支配持分への配当金の支払額	(88,717)	(101,805)	-	-
財務活動 (に使用した) / から生じた正味キャッ シュ・フロー	<u>(3,598,459)</u>	<u>1,303,030</u>	<u>(3,046,129)</u>	<u>3,081,898</u>
現金及び現金同等物の正味増加 / (減少) 額	3,615,505	(22,277,503)	2,671,665	(18,639,955)
期首現在の現金及び現金同等物	47,306,745	57,058,138	21,934,867	40,660,229
外国為替換算レートの変動による影響	494,237	99,077	306,236	58,046
期末現在の現金及び現金同等物	<u>51,416,487</u>	<u>34,879,712</u>	<u>24,912,768</u>	<u>22,078,320</u>
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	45,949,002	40,398,104	21,852,984	19,806,041
金融機関預け金	16,466,113	9,867,149	15,832,689	16,965,488
	<u>62,415,115</u>	<u>50,265,253</u>	<u>37,685,673</u>	<u>36,771,529</u>
控除:				
当初の満期が3カ月超となる現金及び短期資金並び に金融機関預け金	(10,998,628)	(15,385,541)	(12,772,905)	(14,693,209)
期末現在の現金及び現金同等物	<u>51,416,487</u>	<u>34,879,712</u>	<u>24,912,768</u>	<u>22,078,320</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2020年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円	2020年 6月30日終了 千円	2019年 6月30日終了 千円
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
- 金融投資ポートフォリオ	1,403,406	1,240,997	81,268	101,636
- 子会社	-	-	52,939,182	44,177,250
有形固定資産の購入	(1,620,071)	(2,103,454)	(281,562)	(705,446)
無形資産の購入	(2,606,162)	(2,854,626)	(505,050)	(568,038)
投資不動産の購入	(11,584)	(54,943)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(18,656,782)	(4,939,978)
有形固定資産の処分による収入	12,338,960	96,239	301,472	611
非支配持分との取引による正味影響額	(76,151)	788,191	-	-
関連会社の取得による正味影響額	-	(4,941,022)	-	-
子会社の資本の返還による正味影響額	-	-	30,906,403	-
投資活動から生じた / (に使用した) 正味キャッ シュ・フロー	<u>9,428,398</u>	<u>(7,828,619)</u>	<u>64,784,930</u>	<u>38,066,035</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入	-	39,041,153	-	39,041,153
借入(返済)/実行による収入、純額	(5,716,330)	120,041,736	7,308,980	131,151,742
劣後債務の発行	2,399,605	94,202,000	-	94,202,000
劣後債務の償還	-	(122,233,511)	-	(94,202,000)
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の実行	67,600,119	-	67,600,119	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の償還実 行	(1,535,951)	-	(1,535,951)	-
リース負債の返済	(1,627,811)	(4,850,283)	(449,929)	(1,293,775)
カガマスに売却した貸出金及びその他の債権のリコー ス義務、純額	(38,857,689)	(410,008)	(38,857,689)	(410,008)
支払配当金	(111,619,975)	(90,023,989)	(111,619,975)	(90,023,989)
非支配持分への配当金の支払額	(2,258,735)	(2,591,955)	-	-
財務活動(に使用した)/から生じた正味キャッ シュ・フロー	<u>(91,616,766)</u>	<u>33,175,144</u>	<u>(77,554,444)</u>	<u>78,465,123</u>
現金及び現金同等物の正味増加/(減少)額	92,050,757	(567,185,226)	68,020,591	(474,573,254)
期首現在の現金及び現金同等物	1,204,429,728	1,452,700,193	558,461,714	1,035,209,430
外国為替換算レートの変動による影響	12,583,274	2,522,500	7,796,769	1,477,851
期末現在の現金及び現金同等物	<u>1,309,063,759</u>	<u>888,037,468</u>	<u>634,279,073</u>	<u>562,114,027</u>
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	1,169,861,591	1,028,535,728	556,376,973	504,261,804
金融機関預け金	419,227,237	251,217,614	403,100,262	431,941,324
	<u>1,589,088,828</u>	<u>1,279,753,341</u>	<u>959,477,235</u>	<u>936,203,128</u>
控除:				
当初の満期が3カ月超となる現金及び短期資金並び に金融機関預け金	(280,025,069)	(391,715,874)	(325,198,161)	(374,089,101)
期末現在の現金及び現金同等物	<u>1,309,063,759</u>	<u>888,037,468</u>	<u>634,279,073</u>	<u>562,114,027</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2019年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

パート A: マレーシア財務報告基準第134号（「MFRS第134号」）期中財務報告に準拠した注記**A1. 作成の基礎**

当行グループ及び当行の未監査要約期中財務書類は、取得原価主義で作成される。ただし、公正価値で計上される資産及び負債であるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び負債、デリバティブ金融商品及び投資不動産を除く。

未監査要約期中財務書類はブルサ・マレーシア証券取引所の上場基準第9章パートK、MFRS第134号「期中財務報告」及びIAS第34号「期中財務報告」の要求事項に準拠して作成されている。

未監査要約期中財務書類は、監査済年次財務書類に必要とされるすべての情報や開示を含んでいないため、2019年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類と併せて読まれるべきである。未監査要約期中財務書類に添付される注記は、2019年12月31日に終了した会計年度以降の当行グループ及び当行の財政状態及び経営成績の変動の理解にとって重要な事象や取引の説明を与えるものである。

当行グループの未監査要約期中財務書類は、イスラム銀行業務及び保険事業の業務を含んでいる。イスラム銀行業務は、一般にシャリア原則に基づく預金の受入れ、貸付及びイスラム証券の取引を指している。保険事業の業務は、損害保険及び生命保険事業の引受け、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業の管理や投資関連業務を指している。

当行グループ及び当行が採用する重要な会計方針及び計算方法は、2020年1月1日以降に開始される会計年度に適用される以下の新マレーシア財務報告基準（「MFRSs」）の改訂の適用を除き、直近の2019年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用したものと一貫している。

- ・ 財務報告に関する概念フレームワークの改訂
- ・ MFRS第3号の改訂 - 「事業」の定義
- ・ MFRS第101号及びMFRS第108号の改訂 - 「重要性がある」の定義
- ・ MFRS第7号、MFRS第9号及びMFRS第139号の改訂 - 金利指標改革

以下で開示されているものを除き、上記のMFRSsの改訂の適用による、当行グループ及び当行の財務書類への重要な財務上の影響はない。

MFRS第7号、MFRS第9号及びMFRS第139号の改訂 - 金利指標改革

本改訂は、金利指標改革により直接影響を受けるすべてのヘッジ関係に適用される。本改訂は、改革が以下に関する不確実性を生じる場合にのみ、ヘッジ関係が金利指標改革により直接影響を受けることを明確にしている。

- ・ ヘッジリスクとして指定された指標金利（契約上又は契約以外）
- ・ 指標金利に基づくヘッジ対象又はヘッジ手段のキャッシュ・フローのタイミング又は金額

金利指標改革とは、金融安定理事会が2014年7月に公表した報告書「主要な金利指標の改革」に示された提言など、金利指標を代替指標金利に置き換えることを含む、市場全体にわたる指標金利の改革をいう。

A1. 作成の基礎（続き）

MFRS第7号、MFRS第9号及びMFRS第139号の改訂 - 金利指標改革（続き）

当行グループ及び当行は下記について開示しなければならない。

- ・ 当行グループと当行のヘッジ関係がさらされている重要な金利指標
- ・ 金利指標改革により直接影響を受ける、当行グループ及び当行が管理するリスク・エクスポージャーの程度
- ・ 代替指標金利への移行プロセスに関する当行グループ及び当行の管理方法
- ・ 企業がこれらの規定を適用する際に行った重要な仮定又は判断の内容(例えば、金利指標に基づくキャッシュ・フローのタイミングや金額に関して、金利指標改革に起因する不確実性がいつ存在しなくなるかについての仮定や判断など)
- ・ これらのヘッジ関係におけるヘッジ手段の名目金額

本改訂にはいくつかの救済措置が含まれており、指標金利改革により直接影響を受けるすべてのヘッジ関係に適用される。本改訂は、2020年1月1日以降に開始する会計年度について、ヘッジ関係に加え、当行グループ及び当行が本改訂を初度適用する期間の期首に存在するキャッシュ・フロー・ヘッジ準備金累計額のみに遡及適用される。本改訂による、当行グループ及び当行の財務書類への重要な影響はない。

2020年4月に、国際会計基準審議会（以下、「IASB」という。）は、2021年1月1日以降に開始する年次報告期間から改訂を適用することを提案する「金利指標改革-フェーズ2」の公開草案を公表した。当行グループ及び当行は、本改訂が発効予定日に適用された場合の潜在的影響を評価するプロジェクトチームを立ち上げた。

マレーシア中央銀行（BNM）が公表したシステム上重要な国内銀行（「D-SIB」）の枠組み

2020年2月5日に、BNMはシステム上重要な国内銀行（「D-SIB」）の枠組みに関する方針文書を公表し、メイバンクをD-SIBに分類される銀行に特定した。メイバンクは、2021年1月31日から施行される、より高い損失吸収（「HLA」）要件のパケット2に分類される。本方針文書は、2016年10月10日に公表された、システム上重要な国内銀行に関する調査に代わるものである。

BNMが公表した、自己資本充実度フレームワーク規制(資本構成)及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(資本構成)に関する改訂方針文書

2020年2月5日に、BNMは自己資本充実度規制(資本構成)及びイスラム銀行の自己資本充実度規制(資本構成)に関する方針文書を改訂し、即日施行し、将来に向けて適用することとした。改訂方針文書は、認可銀行、認可イスラム銀行、認可投資銀行、イスラム銀行業務を行う認可銀行及び金融持株会社を含む、マレーシアの金融機関に適用される。今回の改訂方針文書は、これまでにBNMが公表していた2018年2月2日付の自己資本充実度規制(資本構成)及びイスラム銀行の自己資本充実度規制(資本構成)に代わるものである。

改訂方針文書が更新され、D-SIBに指定された金融機関に対するHLA要件に追加の資本バッファの要件が加えられた。

改訂方針文書の適用による、当行グループ及び当行の財務書類への重要な影響はない。

A1. 作成の基礎（続き）**BNMが公表した、新型コロナウイルス感染症による影響を受けた個人、中小企業及び法人への支援策**

BNMは、2020年3月25日付で、個人と中小企業(以下「SME」という。)のすべてを対象に、銀行による貸付/融資の返済を6カ月間自動的に繰り延べることを発表した。銀行はまた、企業からの貸付/融資返済の繰延や貸出条件緩和の要請に対応し、存続能力のある企業が雇用を維持し、状況が改善した場合に経済活動を再開できるよう支援する。

2020年4月1日現在、90日超延滞していないマレーシア・リングギット建ての貸付/融資に対しては自動的に猶予期間が設定されるが、クレジットカード残高に対しては猶予期間は設定されない。クレジットカード残高については、3年以内の期間借入（タームローン）に転換するオプションを顧客に提供する。

さらに貸付/融資に対応できるよう、銀行には資本保全バッファの2.5%を取り崩し、最低流動性カパレッジ比率である100%を下回る水準で業務を行い、予想損失に対する規制準備金を0%まで引き下げることが認められている。

なお、安定調達比率（NSFR）は2020年7月1日に実施される予定は変わらないが、より低い水準である80%まで引き下げられる。銀行は、2021年9月30日以降には最低規制要件までバッファを回復し、100%のNSFRを遵守することを求められている。

評価に関連する他の要因がない場合には、当該支払猶予により自動的にMFRS第9号に基づくステージ移動が行われることはない。当該支払猶予の財務上の影響は、当行グループ及び当行の受取利息及び収益に反映される。

A2. 重要な会計方針

当行グループ及び当行の2019年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類は、MFRS及び国際財務報告基準（「IFRS」）及び2016年マレーシア会社法の要件に従って作成された。当未監査要約期中財務書類の作成において採用された重要な会計方針は、注記A1に開示の通り、2020年1月1日以降に開始する事業年度から適用されるMFRSsの改訂及びBNMの方針文書の新しい要求事項の適用を除き、2019年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用された重要な会計方針と一致している。

A3. 重要な会計上の見積り及び判断

未監査要約期中財務書類を作成するに当たり、経営者には会計方針の適用並びに収益、費用、資産、負債の報告金額及びその開示、並びに偶発債務の開示の報告金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求される。これらの見積りや判断は、現在の事象や活動に関して経営者が知る限りの知識に基づいているが、実際の結果は異なる可能性がある。

当未監査要約期中財務書類の作成に当たり、当行グループ及び当行の会計方針の適用のために経営者が行った重要な判断及びその見積りの不確実性の主要な要素は、2019年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に適用されたものと一貫していた。

A4. 前期の監査済年次財務書類に関する監査人の報告書

2019年12月31日に終了した監査済年次財務書類に関する監査人の報告書は無限定適正意見であった。

A5. 季節的又は周期的要素

当行グループ及び当行の業務に対し、2020年6月30日に終了した中間会計期間において、季節的要素と周期的要素のどちらによる重要な影響もなかった。

A6. 性質、規模又は発生による異常項目

2020年6月30日に終了した中間会計期間においては、下記の注記A8、A17、A21、A41(a)及びA41(h)に開示したものを除いて、当行グループ及び当行の資産、負債、資本、純利益及びキャッシュ・フローに影響を与える異常項目はなかった。

A7. 見積りの変更

2020年6月30日に終了した中間会計期間において、見積りの重要な変更はなかった。

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動

(i) 以下に開示のとおり、2020年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行による新株の発行、償却、株式の買戻し、買戻した株式の再売出しはなかった。

(a) 借入金

当行によるミディアム・ターム・ノートの発行 / 償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
ミディアム・ターム・ノートの発行		
米ドル	ゼロクーポン債*	620.0百万米ドル
米ドル	固定利付債	20.0 百万米ドル
米ドル	変動利付債	50.0 百万米ドル
人民元	固定利付債	200.0百万人民元
日本円	固定利付債(サムライ債)	60,900.0 百万円
マレーシア・リングgit	固定利付債	50.0百万マレーシア・リングgit
ミディアム・ターム・ノートの償還		
米ドル	変動利付債	130.0百万米ドル
米ドル	固定利付債	25.0 百万米ドル
香港ドル	固定利付債	2,865.0 百万香港ドル
人民元	固定利付債	410.0百万人民元
人民元	固定利付債(パンダ債)	1,000.0 百万人民元
マレーシア・リングgit	固定利付債(スクーク・ムラバハ)	60.0百万マレーシア・リングgit
マレーシア・リングgit	ゼロクーポン債	17.0百万マレーシア・リングgit
日本円	固定利付債(サムライ債)	12,800百万円

* 純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された(FVTPL)借入金

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

- (i) 以下に開示のとおり、2020年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行による新株の発行、償却、株式の買戻し、買戻した株式の再売出しはなかった。（続き）

(a) 借入金（続き）

当行によるコマーシャル・ペーパーの発行

2020年6月30日現在の、当行が発行したコマーシャル・ペーパーの額面ベースの発行残高総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リングgit	ゼロクーポン債	1,451.1百万マレーシア・リングgit
米ドル	ゼロクーポン債	946.4 百万米ドル
豪ドル	ゼロクーポン債	250.0 百万豪ドル
シンガポール・ドル	固定利付債*	240.0百万シンガポール・ドル

* 延長可能なマネーマーケット証券。

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の発行 / 償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
債券の発行		
インドネシア・ルピア	固定利付債	260,300.0 百万インドネシア・ルピア
債券の償還		
インドネシア・ルピア	固定利付債	1,394,800.0百万インドネシア・ルピア

メイバンク・イスラミック・ベルハッドによるイスラム・コマーシャル・ペーパーの発行

2020年6月30日現在の、メイバンク・イスラミック・ベルハッドが発行したイスラム・コマーシャル・ペーパー（ICP）の額面ベースの発行残高総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リングgit	ゼロプロフィットICP	8,000.0 百万マレーシア・リングgit

(b) 劣後債務

メイバンク・シンガポール・リミテッドによるTier 2 劣後債の発行

発行	発行日	償還日	額面価額	債券の種類	期間
発行	2020年3月26日	2030年3月26日	500百万シンガポール・ドル	Tier 2 劣後債（期間10年ノンコーラブル5年）	10年

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

(ii) 2020年6月30日に終了した中間会計期間の財務書類に反映されなかった、2020年6月30日に終了した中間会計期間後の当行グループ及び当行の負債性証券の変動は以下の通りである。

(a) 借入金

当行によるミディアム・ターム・ノートの償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
ミディアム・ターム・ノートの発行		
人民元	固定利付債	405.0 百万人民元
香港ドル	固定利付債	800.0百万香港ドル
米ドル	変動利付債	15.0 百万米ドル
米ドル	ゼロクーポン債 [*]	300.0百万米ドル
ミディアム・ターム・ノートの償還		
米ドル	変動利付債	20.0百万米ドル
日本円	固定利付債	20,000.0百万円
米ドル	ゼロクーポン債 [*]	160.0百万米ドル
人民元	固定利付債（パンダ債）	1,000.0百万人民元
マレーシア・リングギット	ゼロクーポン債	25.0 百万マレーシア・リングギット

^{*} 純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された（FVTPL）借入金

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
債券の償還		
インドネシア・ルピア	固定利付債	854,500.0百万インドネシア・ルピア

A9. 支払配当金

2020年6月30日に終了した中間会計期間の支払配当金は以下の通りである。

- (a) 2019年12月31日に終了した会計年度に係る普通株式一株当たり39センのシングルTier中間現金配当が、2020年3月26日に取締役会によって宣言された。

普通株式一株当たり39センのシングルTier中間現金配当（4,384,131,136 マレーシア・リンギット）は2020年5月6日に支払われた。

- (b) 2020年6月30日に終了した中間会計期間において、メイバンクの子会社から非支配持分へ88,717,000 マレーシア・リンギットの配当金が支払われた。

A10. 金融投資ポートフォリオ

	注記	当行グループ		当行	
		2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	(i)	13,804,571	14,323,303	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	(ii)	21,701,939	20,370,865	14,637,344	12,912,823
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	(iii)	123,082,106	123,351,533	81,694,380	80,798,700
償却原価で測定する金融投資	(iv)	45,473,469	34,784,476	38,920,732	32,574,918
		<u>204,062,085</u>	<u>192,830,177</u>	<u>135,252,456</u>	<u>126,286,441</u>

- (i) 当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	227,380	161,713	-	-
マレーシア政府投資証券	<u>312,168</u>	<u>312,635</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
	<u>539,548</u>	<u>474,348</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント及びローン・ストック	109,916	109,715	-	-
ユニット・トラスト	<u>3,932</u>	<u>3,932</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
	<u>113,848</u>	<u>113,647</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
国内企業社債及びスクーク	12,889,026	13,627,322	-	-
マレーシア国外:				
外国企業社債及びスクーク	<u>262,149</u>	<u>107,986</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
	<u>13,151,175</u>	<u>13,735,308</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産合計	<u>13,804,571</u>	<u>14,323,303</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

(ii) 純損益を通じて公正価値で測定する金融投資

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	3,113,021	771,484	2,961,755	750,077
マレーシア政府投資証券	708,580	614,546	665,602	216,467
譲渡性預金商品	60,062	142,811	60,062	142,811
外国政府証券	2,523,827	3,483,519	1,838,009	3,001,984
マレーシア政府短期証券	782,183	-	782,183	-
マレーシア中央銀行手形	1,605,007	596,545	1,605,007	596,545
外国政府短期証券	1,153,232	2,199,436	1,153,232	2,199,436
	<u>9,945,912</u>	<u>7,808,341</u>	<u>9,065,850</u>	<u>6,907,320</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、ミューチュアル ファンド及びローン・ストック	3,669,176	4,187,256	67,558	78,146
ユニット・トラスト	255,233	159,380	30,828	29,775
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ミューチュアル ファンド及びローン・ストック	306,279	565,518	118	233
ユニット・トラスト	410,049	385,869	216,539	210,138
外国企業社債及びスクーク	1,097,949	1,136,926	-	-
外国政府債	511,637	104,193	-	-
外国政府短期証券	12,269	51,310	-	-
	<u>6,262,592</u>	<u>6,590,452</u>	<u>315,043</u>	<u>318,292</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式	816,622	816,618	622,176	622,176
ユニット・トラスト	1,189	268	-	-
国内企業社債及びスクーク	632,616	564,653	118,110	97,197
政府債	14,075	-	14,075	-
仕組預金	76,843	175,602	-	-
マレーシア国外:				
株式	1,061	1,006	-	-
ミューチュアルファンド	10,497	2,279	-	-
外国企業社債及びスクーク	1,179,033	1,689,631	1,740,591	2,245,823
外国政府債	2,761,499	2,722,015	2,761,499	2,722,015
	<u>5,493,435</u>	<u>5,972,072</u>	<u>5,256,451</u>	<u>5,687,211</u>
純損益を通じて公正価値で測定する 金融投資合計	<u>21,701,939</u>	<u>20,370,865</u>	<u>14,637,344</u>	<u>12,912,823</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

(iii)その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	13,141,558	11,006,987	13,008,346	10,794,195
マレーシア政府投資証券	23,118,740	24,211,583	9,775,753	11,653,233
譲渡性預金商品	48,050	1,682,836	48,050	484,703
外国政府証券	10,065,798	7,872,991	5,043,903	3,830,465
外国政府短期証券	14,457,572	16,891,126	4,011,595	3,942,737
カザナ債	346,276	1,761,446	317,864	1,761,446
カガマス債	461,981	723,459	461,981	723,459
銀行引受手形及びイスラム引受手形	-	139,392	-	139,392
	<u>61,639,975</u>	<u>64,289,820</u>	<u>32,667,492</u>	<u>33,329,630</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント及びローン・ストック	5,055	7,869	15,985	18,435
マレーシア国外:				
株式、ワラント及びローン・ストック	35	1,298	-	-
外国企業社債及びスクーク	1,700,223	1,286,663	-	-
外国政府債	577,505	349,126	-	-
	<u>2,282,818</u>	<u>1,644,956</u>	<u>15,985</u>	<u>18,435</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式及びローン・ストック	327,375	275,668	310,685	259,949
政府債	287,780	109,143	242,460	65,769
国内企業社債及びスクーク	22,594,902	27,279,593	15,606,312	19,477,370
マレーシア国外:				
株式	3,975	3,735	-	-
外国政府債	19,289,563	15,999,809	19,179,917	15,899,116
外国企業社債及びスクーク	16,655,718	13,748,809	13,671,529	11,748,431
	<u>59,159,313</u>	<u>57,416,757</u>	<u>49,010,903</u>	<u>47,450,635</u>
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融投資合計	<u>123,082,106</u>	<u>123,351,533</u>	<u>81,694,380</u>	<u>80,798,700</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

(iii) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資(続き)

(a) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年 6 月30日現在				
2020年 1 月 1 日現在	23,070	540	118,727	142,337
ステージ 2 への移動	(279)	279	-	-
引当金の再測定純額	2,128	858	(566)	2,420
新たに組成又は購入した金融資産	13,223	-	-	13,223
認識が中止された金融資産	(7,555)	(73)	(3,357)	(10,985)
リスク・パラメーター/モデルの変動	112	(23)	-	89
貸倒償却額	-	-	(6,942)	(6,942)
為替換算差額	470	-	769	1,239
2020年 6 月30日現在	31,169	1,581	108,631	141,381

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2019年12月31日現在				
2019年 1 月 1 日現在	28,066	1,579	183,330	212,975
ステージ 1 への移動	549	(549)	-	-
引当金の再測定純額	(2,319)	(77)	14,523	12,127
新たに組成又は購入した金融資産	13,516	78	-	13,594
認識が中止された金融資産	(13,248)	(702)	(57,344)	(71,294)
リスク・パラメーター/モデルの変動	(2,439)	(330)	-	(2,769)
貸倒償却額	-	-	(21,958)	(21,958)
為替換算差額	(1,055)	541	176	(338)
2019年12月31日現在	23,070	540	118,727	142,337

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

(iii) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資(続き)

(a) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年 6 月30日現在				
2020年 1 月 1 日現在	13,472	400	81,877	95,749
引当金の再測定純額	160	-	(355)	(195)
新たに組成又は購入した金融資産	9,526	-	-	9,526
認識が中止された金融資産	(4,088)	(73)	(3,345)	(7,506)
リスク・パラメーター/モデルの変動	130	(23)	-	107
貸倒償却額	-	-	(6,942)	(6,942)
為替換算差額	423	-	34	457
2020年 6 月30日現在	19,623	304	71,269	91,196

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2019年12月31日現在				
2019年 1 月 1 日現在	21,652	1,828	125,518	148,998
ステージ 1 への移動	505	(505)	-	-
引当金の再測定純額	(490)	-	4,094	3,604
新たに組成又は購入した金融資産	7,979	-	-	7,979
認識が中止された金融資産	(11,642)	(593)	(33,084)	(45,319)
リスク・パラメーター/モデルの変動	(4,043)	(330)	-	(4,373)
貸倒償却額	-	-	(14,650)	(14,650)
為替換算差額	(489)	-	(1)	(490)
2019年12月31日現在	13,472	400	81,877	95,749

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

(iv) 償却原価で測定する金融投資

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	8,454,479	6,594,595	8,454,376	6,594,491
マレーシア政府投資証券	11,466,729	6,695,792	6,870,178	4,852,735
外国政府証券	1,219,099	1,199,287	-	-
カザナ債	1,057,037	135,277	138,325	135,277
カガマス債	50,259	50,259	50,259	50,259
	<u>22,247,603</u>	<u>14,675,210</u>	<u>15,513,138</u>	<u>11,632,762</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
国内企業社債及びスクーク	19,101,857	15,913,839	19,263,774	18,552,529
マレーシア国外:				
外国企業社債及びスクーク	2,863,306	2,745,710	4,141,914	2,478,746
外国政府債	1,444,659	1,594,357	149,437	36,304
	<u>23,409,822</u>	<u>20,253,906</u>	<u>23,555,125</u>	<u>21,067,579</u>
減損損失累計額	<u>(183,956)</u>	<u>(144,640)</u>	<u>(147,531)</u>	<u>(125,423)</u>
償却原価で測定する金融投資合計	<u>45,473,469</u>	<u>34,784,476</u>	<u>38,920,732</u>	<u>32,574,918</u>

(a) 償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2020年 6月30日現在				
2020年 1月 1日現在	29,061	23,961	91,618	144,640
ステージ 2 への移動	(4,706)	4,706	-	-
引当金の再測定純額	623	35,728	(3,069)	33,282
新たに組成又は購入した金融資産	7,022	-	-	7,022
認識が中止された金融資産	(2,809)	(23)	-	(2,832)
リスク・パラメーター/モデルの変動	1,035	663	-	1,698
為替換算差額	84	62	-	146
2020年 6月30日現在	<u>30,310</u>	<u>65,097</u>	<u>88,549</u>	<u>183,956</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

(iv)償却原価で測定する金融投資(続き)

(a)償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
当行グループ				
2019年12月31日現在				
2019年1月1日現在	19,469	42,189	55,240	116,898
ステージ1への移動	13,475	(13,475)	-	-
引当金の再測定純額	(16,147)	27	36,378	20,258
新たに組成又は購入した金融資産	20,691	-	-	20,691
認識が中止された金融資産	(4,322)	(64)	-	(4,386)
リスク・パラメーター/モデルの変動	(3,900)	(4,721)	-	(8,621)
為替換算差額	(205)	5	-	(200)
2019年12月31日現在	29,061	23,961	91,618	144,640

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
当行				
2020年6月30日現在				
2020年1月1日現在	9,978	23,827	91,618	125,423
ステージ2への移動	(945)	945	-	-
引当金の再測定純額	221	20,904	(3,069)	18,056
新たに組成又は購入した金融資産	5,362	-	-	5,362
認識が中止された金融資産	(2,600)	(23)	-	(2,623)
リスク・パラメーター/モデルの変動	601	663	-	1,264
為替換算差額	(4)	53	-	49
2020年6月30日現在	12,613	46,369	88,549	147,531

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
当行				
2019年12月31日現在				
2019年1月1日現在	11,316	32,734	55,240	99,290
ステージ1への移動	4,122	(4,122)	-	-
引当金の再測定純額	(3,986)	-	36,378	32,392
新たに組成又は購入した金融資産	4,433	-	-	4,433
認識が中止された金融資産	(2,480)	(64)	-	(2,544)
リスク・パラメーター/モデルの変動	(3,448)	(4,721)	-	(8,169)
為替換算差額	21	-	-	21
2019年12月31日現在	9,978	23,827	91,618	125,423

A11. 貸出金及びその他の債権

	注記	当行グループ		当行	
		2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
金融機関向貸出金及びその他の債権	(i)	966,758	1,128,618	30,826,493	19,400,239
顧客向貸出金及びその他の債権	(ii)	508,466,489	512,291,092	201,633,803	207,188,981
		<u>509,433,247</u>	<u>513,419,710</u>	<u>232,460,296</u>	<u>226,589,220</u>

(i) 金融機関向貸出金及びその他の債権[△]：

償却原価で測定する金融機関向貸出金

及びその他の債権総額 971,323 1,140,538 31,243,687 19,665,356

貸出金及びその他の債権に対する

貸倒引当金：

- ステージ 1 - 12カ月ECL (4,489) (11,920) (18,437) (18,657)

- ステージ 2 - 全期間ECL (信用減損なし) (76) - (15,593) (5,530)

- ステージ 3 - 全期間ECL (信用減損あり) - - (383,164) (240,930)

金融機関向貸出金及びその他の債権純額 966,758 1,128,618 30,826,493 19,400,239

(ii) 顧客向貸出金及びその他の債権：

(A) 純損益を通じて公正価値で測定する顧客向貸出金及びその他の債権 232,280 401,703 232,280 401,703

(B) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する顧客向貸出金及びその他の債権 10,862,638 11,821,285 10,442,432 11,380,901

(C) 償却原価で測定する顧客向貸出金及びその他の債権 595,286,349 601,389,303 197,923,082 202,771,305

606,381,267 613,612,291 208,597,794 214,553,909

前受利息及び前受収益 (87,159,212) (91,265,351) (1,290,969) (1,559,752)

顧客向貸出金及びその他の債権総額 519,222,055 522,346,940 207,306,825 212,994,157

貸出金及びその他の債権に対する

貸倒引当金：

- ステージ 1 - 12カ月ECL (1,639,616) (1,423,097) (635,842) (507,155)

- ステージ 2 - 全期間ECL (信用減損なし) (2,675,749) (1,865,171) (1,229,754) (869,858)

- ステージ 3 - 全期間ECL (信用減損あり) (6,440,201) (6,767,580) (3,807,426) (4,428,163)

顧客向貸出金及びその他の債権純額 508,466,489 512,291,092 201,633,803 207,188,981

貸出金及びその他の債権純額 (i) & (ii) 509,433,247 513,419,710 232,460,296 226,589,220

△ 当行の金融機関向貸出金及び債権には、当行の子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッド（「MIB」）に対する、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対応する政府支援策の一環としての、政府融資制度に基づく中小企業向貸出の951.9百万マレーシア・リンギットに加え、制限付利益分配投資勘定（「RPSIA」）に基づく資金提供が予想信用損失控除後で29,823.8百万マレーシア・リンギット含まれている（2019年12月31日：19,307.9百万マレーシア・リンギット）。RPSIAはムダラバの原則に基づき資金提供を行うために二者間で締結される契約であり、当該契約において、当行はMIBに資本のみを提供する投資家としての役割を果たし、MIBの経営は事業者としてのMIBのみが行う。MIBの利益は事前に合意した割合に基づき両者間で分配される。損失が発生した場合は当行が負担する。

A11. 貸出金及びその他の債権（続き）

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
(iii)金融機関及び顧客向貸出金及びその 他の債権：				
金融機関向貸出金及び債権	971,323	1,140,538	31,243,687	19,665,356
当座貸越／キャッシングローン	19,695,864	21,524,681	7,553,725	8,068,447
期間貸出：				
-住宅ローン	168,324,623	165,058,688	41,260,302	39,773,201
-シンジケートローン	49,368,364	52,154,119	39,761,180	41,710,800
-分割払債権	74,542,780	77,170,795	13,649,917	14,770,104
-リース債権	475,344	445,288	-	-
-その他の貸出金及び債権	207,662,318	206,219,952	62,555,099	63,244,663
クレジットカード債権	8,264,917	9,703,036	5,391,015	6,338,893
受取手形	4,369,822	3,312,082	3,789,333	2,470,458
貨物貸渡	4,969,834	4,527,077	4,074,978	3,477,743
為替引受信用状	7,467,356	11,086,391	2,902,953	5,294,619
リボルビングクレジット	52,022,019	52,824,052	25,437,258	26,897,897
株式信用取引	5,067,402	5,919,340	1,664,682	1,981,958
従業員向貸出	3,603,237	3,516,628	556,049	523,526
貸出金：				
-当行取締役向貸出	7,721	8,154	1,185	1,399
-子会社取締役向貸出	5,877	3,795	83	170
その他	533,789	138,213	35	31
	607,352,590	614,752,829	239,841,481	234,219,265
前受利息及び前受収益	(87,159,212)	(91,265,351)	(1,290,969)	(1,559,752)
貸出金及びその他の債権総額	520,193,378	523,487,478	238,550,512	232,659,513
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金：				
-ステージ1-12カ月ECL	(1,644,105)	(1,435,017)	(654,279)	(525,812)
-ステージ2-全期間ECL (信用減損なし)	(2,675,825)	(1,865,171)	(1,245,347)	(875,388)
-ステージ3-全期間ECL (信用減損あり)	(6,440,201)	(6,767,580)	(4,190,590)	(4,669,093)
貸出金及びその他の債権純額	509,433,247	513,419,710	232,460,296	226,589,220

(iv)顧客種類別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
国内金融機関	975,992	1,139,626	31,253,778	19,669,557
国内ノンバンク金融機関	21,301,314	21,893,187	14,387,359	14,657,649
国内事業会社：				
-中小企業	56,049,081	54,841,634	25,597,633	24,496,469
-その他	128,376,711	133,017,413	68,194,637	73,796,567
政府及び特殊法人	14,218,324	14,381,320	116,322	128,131
個人	251,154,880	250,614,985	63,357,188	64,254,229
その他の国内企業	13,164,089	12,719,297	3,302,602	3,125,275
外国企業	34,952,987	34,880,016	32,340,993	32,531,636
貸出金及びその他の債権総額	520,193,378	523,487,478	238,550,512	232,659,513

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(v)地域別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
マレーシア	318,306,932	316,953,176	152,601,237	143,871,310
シンガポール	120,907,981	125,228,021	52,266,032	56,076,155
インドネシア	36,141,240	37,688,031	-	-
ラブアンオフショア	14,185,490	14,842,983	14,185,490	14,842,983
香港	11,953,573	10,027,775	11,276,633	9,767,276
米国	1,573,861	1,291,202	1,573,258	1,290,625
中国	4,073,137	4,055,036	4,073,137	4,055,036
ベトナム	1,048,143	1,218,454	792,906	908,484
英国	907,247	940,422	907,230	940,376
ブルネイ	556,651	583,433	556,651	583,433
カンボジア	3,088,028	2,826,629	-	-
フィリピン	5,865,243	5,903,119	-	-
タイ	1,267,914	1,605,362	-	-
ラオス	74,998	82,097	74,998	82,097
ミャンマー	242,940	241,738	242,940	241,738
貸出金及びその他の債権総額	520,193,378	523,487,478	238,550,512	232,659,513

(vi) 金利 / 利益率感応度別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
固定金利:				
- 住宅ローン	20,126,234	17,282,242	430,438	404,442
- 分割払債権	60,228,621	67,528,995	11,528,453	13,146,631
- その他の固定金利貸出金及び債権	63,038,954	62,192,300	49,938,476	43,602,330
変動金利:				
- 基準金利型貸出	207,938,711	207,219,598	77,627,916	77,368,532
- スプレッド型貸出	56,432,473	61,639,026	43,292,164	46,888,315
- その他の変動利率	112,428,385	107,625,317	55,733,065	51,249,263
貸出金及びその他の債権総額	520,193,378	523,487,478	238,550,512	232,659,513

(vii) 経済目的別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
証券の購入	35,103,737	35,999,387	6,858,387	7,572,559
輸送車両の購入	67,838,001	68,239,626	11,277,214	11,861,216
不動産の購入:				
- 住宅	126,970,887	122,875,200	39,852,669	38,615,665
- 住宅以外	40,097,578	40,553,322	17,484,432	18,604,350
固定資産の購入 (不動産を除く)	4,001,043	4,163,699	3,331,084	3,524,042
個人使用	10,869,768	10,889,877	4,363,331	4,453,122
クレジットカード	8,295,633	9,745,404	5,391,866	6,339,202
耐久消費財の購入	9,613	9,893	9,359	9,667
建設	16,881,810	17,381,155	9,669,804	10,356,794
合併・買収	1,555,253	1,676,999	1,541,256	1,650,184
運転資金	165,827,779	168,019,588	105,385,270	95,481,470
その他	42,742,276	43,933,328	33,385,840	34,191,242
貸出金及びその他の債権総額	520,193,378	523,487,478	238,550,512	232,659,513

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(viii)貸出金及びその他の債権の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
1年以内	124,630,939	128,277,526	73,769,354	69,137,959
1年超3年以内	59,418,867	62,079,218	44,073,328	46,877,075
3年超5年以内	53,216,481	55,292,098	25,818,597	29,273,506
5年超	282,927,091	277,838,636	94,889,233	87,370,973
貸出金及びその他の債権総額	520,193,378	523,487,478	238,550,512	232,659,513

(ix)減損した貸出金及びその他の債権(「減損貸出金等」)の変動は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
1月1日現在	13,857,936	12,486,421	8,825,195	8,054,989
期中/年間減損額	2,325,533	5,994,345	883,175	3,386,932
非減損に分類変更された金額	(769,460)	(1,113,466)	(289,994)	(616,982)
回収額	(971,031)	(2,090,434)	(354,467)	(1,529,147)
貸倒償却額	(1,979,092)	(1,917,090)	(1,647,722)	(848,945)
為替換算差額	480,750	498,160	410,847	378,348
2020年6月30日/2019年12月31日現在の減 損貸出金等総額	12,944,636	13,857,936	7,827,034	8,825,195
控除：ステージ3-全期間ECL(信用減損あ り)	(6,511,067)	(7,184,821)	(4,261,456)	(5,086,334)
2020年6月30日/2019年12月31日現在の減 損貸出金等純額	6,433,569	6,673,115	3,565,578	3,738,861

減損貸出金等純額の割合の算出:

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2020年6月30日/2019年12月31日現在の減 損貸出金等総額(投資口座による調達 [*] を 除く)	12,803,776	13,733,600	7,827,034	8,825,195
控除：ステージ3-全期間ECL(信用減損あ り)	(6,511,067)	(7,184,821)	(4,261,456)	(5,086,334)
減損貸出金等純額	6,292,709	6,548,779	3,565,578	3,738,861
貸出金及びその他の債権総額	520,193,378	523,487,478	238,550,512	232,659,513
控除：投資勘定による調達 [*]	(22,537,623)	(20,737,670)	-	-
控除：その他の包括利益を通じて公正価値 で測定及び償却原価で測定する、減損し た貸出金及びその他の債権に対する引当 金	(11,715,131)	(10,714,146)	(7,042,146)	(6,713,770)
貸出金及びその他の債権純額	485,940,624	492,035,662	231,508,366	225,945,743
減損貸出金等純額の割合	1.29%	1.33%	1.54%	1.65%

^{*} 当行の完全子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッドの帳簿上で計上されている。

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(x)経済目的別の減損した貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
証券の購入	150,876	171,743	90,396	112,956
輸送車両の購入	495,142	435,278	82,169	95,373
不動産の購入:				
-住宅	1,150,157	998,683	333,310	328,128
-住宅以外	580,808	555,679	234,742	235,716
固定資産の購入(不動産を除く)	1,708,891	1,766,064	1,692,962	1,708,703
個人使用	243,212	235,194	144,184	148,998
クレジットカード	77,332	73,700	26,467	33,377
耐久消費財の購入	6,544	6,444	6,542	6,441
建設	1,280,348	1,789,711	1,094,621	1,486,400
運転資金	6,204,077	5,968,016	3,357,054	3,046,550
その他	1,047,249	1,857,424	764,587	1,622,553
減損した貸出金及びその他の債権総額	<u>12,944,636</u>	<u>13,857,936</u>	<u>7,827,034</u>	<u>8,825,195</u>

(xi)地域別の減損した貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
マレーシア	5,404,932	6,242,161	3,452,168	3,713,462
シンガポール	4,090,882	4,802,502	3,467,041	4,246,554
インドネシア	2,214,044	1,678,934	-	-
ラブアンオフショア	75,819	201,848	75,819	201,848
香港	142,482	69,016	133,825	60,782
米国	226,180	217,606	225,577	217,030
中国	359,563	257,080	359,563	257,080
ベトナム	42,798	57,195	42,172	56,016
ブルネイ	70,184	70,067	70,184	70,067
カンボジア	65,685	59,753	-	-
フィリピン	215,705	163,996	-	-
タイ	35,677	35,422	-	-
ラオス	685	2,356	685	2,356
減損した貸出金及びその他の債権総額	<u>12,944,636</u>	<u>13,857,936</u>	<u>7,827,034</u>	<u>8,825,195</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii)貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年 6 月30日現在				
2020年 1 月 1 日現在	29,184	199,953	417,241	646,378
引当金の再測定純額	(3,781)	633,411	367,585	997,215
新たに組成又は購入した金融資産	3,350	504	-	3,854
認識が中止された金融資産	(2,195)	(111)	(243,679)	(245,985)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(1,531)	12,315	-	10,784
貸倒償却額	-	-	(470,765)	(470,765)
為替換算差額	403	12,632	484	13,519
2020年 6 月30日現在	25,430	858,704	70,866	955,000

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2019年12月31日現在				
2019年 1 月 1 日現在	27,160	4,650	153,284	185,094
引当金の再測定純額	(4,375)	194,243	263,339	453,207
新たに組成又は購入した金融資産	17,637	3,130	-	20,767
認識が中止された金融資産	(10,068)	(849)	-	(10,917)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(1,230)	(1,422)	-	(2,652)
為替換算差額	60	201	618	879
2019年12月31日現在	29,184	199,953	417,241	646,378

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年 6 月30日現在				
2020年 1 月 1 日現在	28,662	197,574	417,241	643,477
引当金の再測定純額	(3,742)	633,411	367,585	997,254
新たに組成又は購入した金融資産	3,350	504	-	3,854
認識が中止された金融資産	(2,195)	(111)	(243,679)	(245,985)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(1,528)	12,144	-	10,616
貸倒償却額	-	-	(470,765)	(470,765)
為替換算差額	363	12,632	484	13,479
2020年 6 月30日現在	24,910	856,154	70,866	951,930

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii)貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

その他の包括利益を通じて公正価値で測定(続き)

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2019年12月31日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2019年1月1日現在	25,761	849	153,284	179,894
引当金の再測定純額	(4,375)	194,243	263,339	453,207
新たに組成又は購入した金融資産	17,637	3,130	-	20,767
認識が中止された金融資産	(10,068)	(849)	-	(10,917)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(353)	-	-	(353)
為替換算差額	60	201	618	879
2019年12月31日現在	28,662	197,574	417,241	643,477

償却原価で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2020年6月30日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年1月1日現在	1,435,017	1,865,171	6,767,580	10,067,768
ステージ1への移動	311,032	(303,851)	(7,181)	-
ステージ2への移動	(87,869)	326,014	(238,145)	-
ステージ3への移動	(8,580)	(67,141)	75,721	-
引当金の再測定純額	(34,805)	905,338	1,470,247	2,340,780
新たに組成又は購入した金融資産	343,064	199,532	-	542,596
認識が中止された金融資産	(269,533)	(304,920)	(214,604)	(789,057)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(59,610)	45,243	50,894	36,527
制限付投資口座関連額	-	-	(48,424)	(48,424)
貸倒償却額	-	-	(1,508,328)	(1,508,328)
為替換算差額	15,389	10,439	92,441	118,269
2020年6月30日現在	1,644,105	2,675,825	6,440,201	10,760,131

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii)貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

償却原価で測定(続き)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2019年12月31日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2019年1月1日現在	1,654,941	2,518,274	6,076,703	10,249,918
ステージ1への移動	640,451	(568,533)	(71,918)	-
ステージ2への移動	(190,386)	522,673	(332,287)	-
ステージ3への移動	(13,606)	(196,682)	210,288	-
引当金の再測定純額	(619,476)	(113,180)	4,015,889	3,283,233
新たに組成又は購入した金融資産	623,306	395,129	-	1,018,435
認識が中止された金融資産	(460,591)	(452,640)	(976,661)	(1,889,892)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(319,628)	(334,471)	1,683	(652,416)
制限付投資口座関連額	-	-	(2,129)	(2,129)
貸倒償却額	-	-	(1,917,089)	(1,917,089)
為替換算差額	120,006	94,601	(236,899)	(22,292)
2019年12月31日現在	1,435,017	1,865,171	6,767,580	10,067,768

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2020年6月30日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年1月1日現在	525,812	875,388	4,669,093	6,070,293
ステージ1への移動	130,073	(126,330)	(3,743)	-
ステージ2への移動	(51,906)	89,259	(37,353)	-
ステージ3への移動	(2,448)	(19,807)	22,255	-
引当金の再測定純額	50,485	524,705	844,108	1,419,298
新たに組成又は購入した金融資産	175,202	83,674	-	258,876
認識が中止された金融資産	(169,791)	(180,012)	(183,588)	(533,391)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(8,177)	(5,035)	-	(13,212)
貸倒償却額	-	-	(1,176,957)	(1,176,957)
為替換算差額	5,029	3,505	56,775	65,309
2020年6月30日現在	654,279	1,245,347	4,190,590	6,090,216

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(xii)貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

償却原価で測定(続き)	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
		全期間ECL	全期間ECL	
当行	12カ月ECL	信用減損なし	信用減損あり	合計
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
2019年12月31日現在	リングット	リングット	リングット	リングット
2019年1月1日現在	657,197	1,225,026	3,920,974	5,803,197
ステージ1への移動	325,172	(273,884)	(51,288)	-
ステージ2への移動	(140,785)	296,831	(156,046)	-
ステージ3への移動	(4,258)	(98,622)	102,880	-
引当金の再測定純額	(192,899)	(108,484)	2,426,750	2,125,367
新たに組成又は購入した金融資産	284,253	191,883	-	476,136
認識が中止された金融資産	(271,910)	(169,186)	(702,745)	(1,143,841)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(128,617)	(185,213)	-	(313,830)
貸倒償却額	-	-	(848,945)	(848,945)
為替換算差額	(2,341)	(2,963)	(22,487)	(27,791)
2019年12月31日現在	525,812	875,388	4,669,093	6,070,293

A12. 再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権

		当行グループ	
		2020年	2019年
		6月30日	12月31日
	注記	千マレーシア・	千マレーシア・
		リングット	リングット
再保険資産/再タカフル資産	(i)	3,984,211	3,550,665
その他の保険債権	(ii)	1,068,707	681,424
		5,052,918	4,232,089

		当行グループ	
		2020年	2019年
		6月30日	12月31日
		千マレーシア・	千マレーシア・
		リングット	リングット
(i)再保険資産/再タカフル資産			
再保険者持分:		3,538,902	3,187,733
生命保険契約負債		179,133	74,534
損害保険契約負債		3,359,769	3,113,199
再タカフル事業者持分:		465,010	374,767
ファミリー・タカフル証書負債		127,813	135,692
ジェネラル・タカフル証書負債		337,197	239,075
減損損失引当金	(iii)	(19,701)	(11,835)
		3,984,211	3,550,665

A12. 再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権（続き）

	当行グループ	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングット
(ii)その他の保険債権		
代理店/ブローカー及び共同保険者の残高を含む未収保険料	900,665	421,774
再保険者及び出再者貸/再タカフル事業者貸	198,485	290,566
	1,099,150	712,340
減損損失引当金	(iii) (30,443)	(30,916)
	1,068,707	681,424

(iii)再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングット	
2020年 6月30日現在				千マレーシア・ リングット
2020年 1月 1日現在	42,751	-	-	42,751
引当金の再測定純額	6,767	-	-	6,767
為替換算差額	626	-	-	626
2020年 6月30日現在	50,144	-	-	50,144

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングット	
2019年12月31日現在				千マレーシア・ リングット
2019年 1月 1日現在	20,442	-	-	20,442
引当金の再測定純額	31,377	-	-	31,377
為替換算差額	(9,068)	-	-	(9,068)
2019年12月31日現在	42,751	-	-	42,751

A13. その他の資産

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
その他の債務者、減損損失引当金控除後	7,310,759	5,614,028	5,255,822	4,641,193
ブローカー及び顧客からの未収金	3,058,340	2,010,123	-	-
前払金及び保証金	1,410,236	1,401,622	147,971	259,144
未収還付税	146,480	161,322	-	13,441
差押不動産	315,188	291,989	29,420	29,412
	<u>12,241,003</u>	<u>9,479,084</u>	<u>5,433,213</u>	<u>4,943,190</u>

A14. 顧客預金

(i) 預金種類別

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
定期預金及び譲渡性預金商品				
- 1年以内	310,532,849	328,019,102	126,043,253	122,285,418
- 1年超	10,254,927	8,242,826	682,175	2,159,609
	<u>320,787,776</u>	<u>336,261,928</u>	<u>126,725,428</u>	<u>124,445,027</u>
市場金利連動型預金	15,802,393	20,769,412	15,802,393	20,769,412
貯蓄預金	90,857,753	78,030,371	32,496,665	28,119,100
要求払預金	123,343,093	109,469,201	72,236,797	69,424,078
	<u>550,791,015</u>	<u>544,530,912</u>	<u>247,261,283</u>	<u>242,757,617</u>

(ii) 顧客種類別

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
事業会社	234,709,974	230,436,071	136,642,020	136,645,520
個人	231,816,004	221,452,568	82,201,998	76,658,858
政府及び特殊法人	42,447,998	44,022,847	12,206,187	13,425,698
その他	41,817,039	48,619,426	16,211,078	16,027,541
	<u>550,791,015</u>	<u>544,530,912</u>	<u>247,261,283</u>	<u>242,757,617</u>

(iii) 定期預金及び譲渡性預金商品の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
6カ月以内	246,372,788	265,335,800	104,440,215	102,260,693
6カ月超 1年以内	64,160,061	62,683,302	21,603,038	20,024,725
1年超 3年以内	9,697,668	7,729,734	623,402	2,105,839
3年超 5年以内	557,259	513,092	58,773	53,770
	<u>320,787,776</u>	<u>336,261,928</u>	<u>126,725,428</u>	<u>124,445,027</u>

A15. 金融機関預り金

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
認可銀行	30,457,221	38,758,617	38,208,434	48,975,323
認可金融企業	575,588	142,861	575,588	142,861
認可投資銀行	1,660,145	482,606	1,660,145	482,606
その他の金融機関	3,428,364	4,173,125	1,238,819	1,753,745
	<u>36,121,318</u>	<u>43,557,209</u>	<u>41,682,986</u>	<u>51,354,535</u>

金融機関預り金の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
1年以内	33,946,836	41,112,765	40,951,846	50,593,909
1年超	2,174,482	2,444,444	731,140	760,626
	<u>36,121,318</u>	<u>43,557,209</u>	<u>41,682,986</u>	<u>51,354,535</u>

A16. 純損益を通じて公正価値で測定する（「FVTPL」）金融負債

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
仕組預金	<u>22,766</u>	<u>22,772</u>	<u>22,766</u>	<u>22,772</u>
借入金				
無担保				
メディアム・ターム・ノート				
-返済期限が1年超のもの				
通貨：				
-米ドル	9,805,804	6,447,653	9,805,804	6,447,653
-マレーシア・リングgit	-	60,328	-	60,328
	<u>9,805,804</u>	<u>6,507,981</u>	<u>9,805,804</u>	<u>6,507,981</u>
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債合計	<u>9,828,570</u>	<u>6,530,753</u>	<u>9,828,570</u>	<u>6,530,753</u>

当行グループ及び当行のFVTPLに指定された仕組預金及び借入金双方の帳簿価額は、2020年6月30日現在それぞれ9,733,772,000マレーシア・リングgit（2019年12月31日現在：6,726,131,000マレーシア・リングgit）であった。自己の信用リスクの変動に起因するFVTPL金融負債の公正価値の変動は重要ではない。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
(i)借入金				
有担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-シンガポール・ドル	-	237,799	-	-
-インドネシア・ルピア	643,760	1,253,572	-	-
-ベトナム・ドン	7,370	3,530	-	-
	<u>651,130</u>	<u>1,494,901</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-インドネシア・ルピア	2,108,480	1,996,482	-	-
	<u>2,108,480</u>	<u>1,996,482</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
有担保借入金合計	<u>2,759,610</u>	<u>3,491,383</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
無担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-米ドル	4,530,984	5,453,711	4,473,011	5,383,508
-シンガポール・ドル	1,450,707	1,427,935	736,520	-
-タイ・バーツ	1,037,570	1,324,965	-	-
-香港ドル	515,896	210,108	-	105,159
-インドネシア・ルピア	613,873	867,424	-	-
-ベトナム・ドン	33	50	-	-
-フィリピン・ペソ	4,301	-	-	-
-豪ドル	733,860	-	733,860	-
-マレーシア・リングgit	526,652	1,638,130	526,652	1,638,130
	<u>9,413,876</u>	<u>10,922,323</u>	<u>6,470,043</u>	<u>7,126,797</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-米ドル	5,052,508	4,625,605	4,304,260	3,909,789
-インドネシア・ルピア	702,877	690,235	-	-
-日本円	1,339	1,430	-	-
-マレーシア・リングgit				
(注記(a))	2,586,443	-	2,586,443	-
	<u>8,343,167</u>	<u>5,317,270</u>	<u>6,890,703</u>	<u>3,909,789</u>

(注記(a))借入金には、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対応するための政府支援策の一環として、期間6年で2026年6月17日を返済期限とした、市場金利よりも低率の中小企業向け融資に充てるために、政府融資制度に基づいて当行グループ及び当行が受領した金額が含まれている。この政府支援策での借入は、中小企業に優遇利率で融資するための原資であり、新型コロナウイルス関連の救済措置でもある。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券（続き）

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
(i)借入金（続き）				
無担保（続き）				
(b)ミディアム・ターム・ノート				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-米ドル	174,266	806,826	174,266	806,826
-香港ドル	205,879	1,565,984	205,879	1,565,984
-シンガポール・ドル	686	686	686	686
-日本円	790,248	1,232,594	790,248	1,232,594
-オフショア人民元	328,669	547,362	328,669	547,362
-スイス・フラン	39	39	39	39
-人民元	628,622	1,201,217	628,622	1,201,217
-マレーシア・リンギット	25,750	42,320	25,750	42,320
	<u>2,154,159</u>	<u>5,397,028</u>	<u>2,154,159</u>	<u>5,397,028</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-米ドル	9,088,804	8,375,338	9,088,804	8,375,338
-香港ドル	2,545,058	2,543,543	2,545,058	2,543,543
-日本円	5,954,421	3,344,937	5,954,421	3,344,937
-豪ドル	395,280	390,326	395,280	390,326
-オフショア人民元	699,245	547,975	699,245	547,975
-スイス・フラン	447,871	422,386	447,871	422,386
-人民元	605,407	586,906	605,407	586,906
	<u>19,736,086</u>	<u>16,211,411</u>	<u>19,736,086</u>	<u>16,211,411</u>
無担保借入金合計	<u>39,647,288</u>	<u>37,848,032</u>	<u>35,250,991</u>	<u>32,645,025</u>
借入金合計	<u>42,406,898</u>	<u>41,339,415</u>	<u>35,250,991</u>	<u>32,645,025</u>

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
(ii)劣後債務				
無担保				
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-マレーシア・リンギット	7,097,484	7,097,715	7,097,484	7,097,715
-米ドル	2,154,522	2,059,101	2,154,522	2,059,101
-インドネシア・ルピア	167,259	164,309	-	-
	<u>9,419,265</u>	<u>9,321,125</u>	<u>9,252,006</u>	<u>9,156,816</u>

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券（続き）

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
(iii)資本性証券				
無担保				
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-マレーシア・リングgit	2,827,458	2,827,123	2,827,458	2,827,123
	<u>2,827,458</u>	<u>2,827,123</u>	<u>2,827,458</u>	<u>2,827,123</u>

A18. 保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務

当行グループ	注記	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
保険契約負債/タカフル契約負債	(i)	32,205,273	30,218,443
その他の保険債務	(ii)	1,050,803	667,187
		<u>33,256,076</u>	<u>30,885,630</u>

(i)保険契約負債/タカフル契約負債

	契約負債総額 千マレーシア・ リングgit	再保険資産 / 再タカフル資産 千マレーシア・ リングgit	契約負債純額 千マレーシア・ リングgit
2020年6月30日現在			
生命保険/ファミリー・タカフル	25,852,455	(306,946)	25,545,509
損害保険/ジェネラル・タカフル	6,352,818	(3,677,265)	2,675,553
	<u>32,205,273</u>	<u>(3,984,211)</u>	<u>28,221,062</u>
2019年12月31日現在			
生命保険/ファミリー・タカフル	24,258,416	(210,226)	24,048,190
損害保険/ジェネラル・タカフル	5,960,027	(3,340,439)	2,619,588
	<u>30,218,443</u>	<u>(3,550,665)</u>	<u>26,667,778</u>

(ii)その他の保険債務

	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
代理店及び仲介業者に対する債務	208,326	174,645
再保険者及び出再者に対する債務	738,021	447,301
再タカフル事業者に対する債務	104,456	45,241
	<u>1,050,803</u>	<u>667,187</u>

A19. その他の負債

注記	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
ブローカー及び顧客に対する債務	5,743,256	4,231,486	-	-
その他の債権者に対する債務及び 未払費用	10,932,704	8,642,439	8,721,338	6,601,312
確定給付年金制度	561,251	521,985	-	-
コミットメント及び偶発債務に対 する引当金	83,924	27,880	27,880	27,880
ローン・コミットメント及び金融 保証契約に対する減損損失引当 金	570,531	678,232	491,219	618,048
リース負債	1,470,100	1,461,498	437,753	410,156
仕組預金	3,888,099	6,006,007	215,815	295,012
	<u>23,249,865</u>	<u>21,569,527</u>	<u>9,894,005</u>	<u>7,952,408</u>

(i) ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングgit	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングgit	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングgit	
2020年 6月30日現在				
2020年 1月 1日現在	92,086	108,132	478,014	678,232
ステージ 1 への移動	12,655	(12,562)	(93)	-
ステージ 2 への移動	(7,609)	7,914	(305)	-
ステージ 3 への移動	(62)	(521)	583	-
引当金の再測定純額	(4,244)	(40,650)	(52,177)	(97,071)
新たに組成又は購入した金融資産	14,919	14,981	-	29,900
認識が中止された金融資産	(17,599)	(8,807)	(19,172)	(45,578)
モデル/リスク・パラメーターの変動	576	(1,593)	(72)	(1,089)
為替換算差額	1,471	1,470	3,196	6,137
2020年 6月30日現在	<u>92,193</u>	<u>68,364</u>	<u>409,974</u>	<u>570,531</u>
当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングgit	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングgit	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングgit	
2019年12月31日現在				
2019年 1月 1日現在	84,477	52,676	150,283	287,436
ステージ 1 への移動	2,620	(2,620)	-	-
ステージ 2 への移動	(4,613)	6,014	(1,401)	-
ステージ 3 への移動	(13)	(61)	74	-
引当金の再測定純額	13,488	55,709	333,589	402,786
新たに組成又は購入した金融資産	23,893	12,047	-	35,940
認識が中止された金融資産	(28,218)	(17,679)	(3,224)	(49,121)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(277)	974	-	697
為替換算差額	729	1,072	(1,307)	494
2019年12月31日現在	<u>92,086</u>	<u>108,132</u>	<u>478,014</u>	<u>678,232</u>

A19. その他の負債（続き）

(i) ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2020年 6 月30日現在				千マレーシア・ リンギット
2020年 1 月 1 日現在	48,324	99,999	469,725	618,048
ステージ 1 への移動	1,985	(1,935)	(50)	-
ステージ 2 への移動	(626)	873	(247)	-
ステージ 3 への移動	(7)	(28)	35	-
引当金の再測定純額	(2,576)	(59,583)	(57,815)	(119,974)
新たに組成又は購入した金融資産	8,993	12,533	-	21,526
認識が中止された金融資産	(10,099)	(5,993)	(16,746)	(32,838)
モデル/リスク・パラメーターの変動	264	-	-	264
為替換算差額	576	830	2,787	4,193
2020年 6 月30日現在	46,834	46,696	397,689	491,219

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2019年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2019年 1 月 1 日現在	40,038	43,868	145,197	229,103
ステージ 1 への移動	2,228	(2,228)	-	-
ステージ 2 への移動	(4,284)	4,284	-	-
ステージ 3 への移動	(14)	(54)	68	-
引当金の再測定純額	12,282	57,728	327,100	397,110
新たに組成又は購入した金融資産	18,303	8,622	-	26,925
認識が中止された金融資産	(19,571)	(12,646)	(2,950)	(35,167)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(242)	519	-	277
為替換算差額	(416)	(94)	310	(200)
2019年12月31日現在	48,324	99,999	469,725	618,048

[次へ](#)

A20. その他の準備金

その他の準備金の内訳及び変動は以下の通りである。

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	資本準備金 千マレーシア・ リンギット	再評価準備金 千マレーシア・ リンギット	確定給付準備金 千マレーシア・ リンギット	ヘッジ準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 合計 千マレーシア・ リンギット
2020年 1 月 1 日現在	14,244	(2,712)	21,141	(366,322)	(333,649)
その他の包括(損失)/利益	(921)	-	(7,016)	13,481	5,544
確定給付制度の年金数理損失	-	-	(7,016)	-	(7,016)
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	(7,154)	(7,154)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味利得	-	-	-	1	1
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	20,634	20,634
資本準備金に係る正味損失	(921)	-	-	-	(921)
当期包括(損失)/利益合計	(921)	-	(7,016)	13,481	5,544
2020年 6 月30日現在	13,323	(2,712)	14,125	(352,841)	(328,105)

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	資本準備金 千マレーシア・ リンギット	再評価準備金 千マレーシア・ リンギット	確定給付準備金 千マレーシア・ リンギット	ヘッジ準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 合計 千マレーシア・ リンギット
2019年 1 月 1 日現在	13,557	(2,712)	16,503	(367,100)	(339,752)
その他の包括利益	-	-	3,197	6,178	9,375
確定給付制度の年金数理利得	-	-	3,197	-	3,197
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	(57)	(57)
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る正味損失	-	-	-	(151)	(151)
公正価値ヘッジに係る正味利得	-	-	-	6,386	6,386
当期包括利益合計	-	-	3,197	6,178	9,375
2019年 6 月30日現在	13,557	(2,712)	19,700	(360,922)	(330,377)

[次へ](#)

A21. 受取利息

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
貸出金及びその他の債権(注記(a))	3,500,224	4,353,073	7,480,331	8,746,048
コールローン及び金融機関預け金	116,006	195,934	275,033	393,144
売戻条件付買入金融資産	56,000	44,003	152,860	86,611
FVTPL金融資産	277,936	264,304	569,523	535,275
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融投資	696,274	898,777	1,442,105	1,753,630
償却原価で測定する金融投資	291,007	230,647	549,666	455,685
	<u>4,937,447</u>	<u>5,986,738</u>	<u>10,469,518</u>	<u>11,970,393</u>
ディスカウントに係る増価、純額	<u>(15,730)</u>	<u>32,537</u>	<u>2,767</u>	<u>83,353</u>
	<u>4,921,717</u>	<u>6,019,275</u>	<u>10,472,285</u>	<u>12,053,746</u>

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
貸出金及びその他の債権(注記(a))	2,142,367	2,640,115	4,581,972	5,313,623
コールローン及び金融機関預け金	110,164	284,642	321,588	611,993
売戻条件付買入金融資産	20,724	20,753	68,234	42,101
FVTPL金融資産	104,790	51,678	213,997	115,261
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資	544,621	723,619	1,124,706	1,414,120
償却原価で測定する金融投資	300,850	224,955	570,571	447,927
	<u>3,223,516</u>	<u>3,945,762</u>	<u>6,881,068</u>	<u>7,945,025</u>
ディスカウントに係る増価、純額	<u>63,355</u>	<u>75,448</u>	<u>161,738</u>	<u>165,248</u>
	<u>3,286,871</u>	<u>4,021,210</u>	<u>7,042,806</u>	<u>8,110,273</u>

2020年6月30日に終了した6カ月会計期間の受取利息に含まれた減損資産に係る利息は、当行グループにおいては、約185,935,000マレーシア・リンギット（2019年6月30日に終了した期間：210,248,000マレーシア・リンギット）であり、当行においては、137,668,000マレーシア・リンギット（2019年6月30日に終了した期間：150,663,000マレーシア・リンギット）であった。

（注記(a）：新型コロナウイルス感染症による悪影響を受けた借手や顧客が事業活動を継続できるよう政府が打ち出した支援策による正味影響額（当行グループ：73,272,000マレーシア・リンギット、当行：48,011,000マレーシア・リンギットの）が含まれている。

A22. 支払利息

当行グループ	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2020年	2019年	2020年	2019年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
金融機関預り金	163,780	294,304	401,996	599,453
顧客預金	1,479,095	2,105,020	3,235,612	4,156,143
カガマスに売却した貸出金	4,612	16,143	20,755	32,109
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	63,726	45,486	133,535	133,462
借入金	280,777	336,728	610,466	641,232
劣後証券	137,149	138,319	260,657	279,577
劣後債	-	2,191	-	5,535
資本性証券	28,843	56,148	57,687	110,771
仕組預金	17,435	39,911	44,163	75,624
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	48,442	87,463	98,395	168,738
	<u>2,223,859</u>	<u>3,121,713</u>	<u>4,863,266</u>	<u>6,202,644</u>

当行	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2020年	2019年	2020年	2019年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
金融機関預り金	194,490	346,954	468,772	703,458
顧客預金	816,688	1,278,547	1,833,297	2,563,150
カガマスに売却した貸出金	4,612	16,143	20,755	32,109
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	76,876	71,392	188,840	185,896
借入金	169,394	188,921	372,426	359,590
劣後証券	105,022	113,707	209,348	230,505
資本性証券	28,843	56,148	57,687	110,771
仕組預金	2,022	3,611	3,860	5,447
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	48,442	87,463	98,395	168,738
	<u>1,446,389</u>	<u>2,162,886</u>	<u>3,253,380</u>	<u>4,359,664</u>

A23. 正味既経過保険料

当行グループ	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2020年	2019年	2020年	2019年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
既経過保険料総額	2,072,565	1,911,198	4,439,390	3,796,754
再保険会社に対する出再保険料	(331,682)	(287,355)	(753,569)	(546,365)
	<u>1,740,883</u>	<u>1,623,843</u>	<u>3,685,821</u>	<u>3,250,389</u>

A24. 子会社及び関連会社からの配当金

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年	2019年	2020年	2019年
	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
受取配当金総額:				
子会社	1,604,017	1,735,163	2,079,308	1,735,163
	<u>1,604,017</u>	<u>1,735,163</u>	<u>2,079,308</u>	<u>1,735,163</u>

A25. その他の営業収益

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年	2019年	2020年	2019年
	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a) 手数料収益:				
コミッション	204,720	328,343	551,783	629,357
サービス料及び手数料	307,490	338,819	619,067	671,185
引受手数料	5,300	9,765	9,798	29,878
仲介業務収益	120,618	65,646	233,598	146,731
貸出金及びその他の債権に係る手数料	55,146	62,851	99,037	101,576
	<u>693,274</u>	<u>805,424</u>	<u>1,513,283</u>	<u>1,578,727</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味利得 / (損失)	30,903	160,805	(292,942)	198,521
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	429,067	246,402	1,496,348	395,454
関連会社の持分の希薄化に係る正味利得	-	-	-	1,836
子会社の処分に係る正味損失	(10,160)	-	(10,160)	-
	<u>449,810</u>	<u>407,207</u>	<u>1,193,246</u>	<u>595,811</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	29,591	30,979	55,122	48,743
(d) 再評価に係る未実現利得 / (損失):				
当初認識時にFVTPLに指定された金融資産	669,165	345,091	188,909	784,068
FVTPL金融投資	709,228	129,386	(161,562)	257,162
FVTPL金融負債	147,028	(363,482)	(290,176)	(818,734)
デリバティブ	(565,259)	35,879	941,237	196,898
FVTPL貸出金及びその他の債権	1,726	1,315	952	(561)
	<u>961,888</u>	<u>148,189</u>	<u>679,360</u>	<u>418,833</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算差益	197,256	221,028	145,737	432,441
デリバティブに係る実現利益 / (損失)	6,047	265,810	(93)	403,614
賃料収入	3,641	9,369	13,783	18,545
有形固定資産処分益 / (損)	51	(405)	11,477	2,079
差押資産処分(損) / 益	(5,355)	(893)	(5,211)	1,250
投資不動産に係る公正価値調整	(37)	(35)	(73)	(69)
その他	91,260	93,124	153,900	157,687
	<u>292,863</u>	<u>587,998</u>	<u>319,520</u>	<u>1,015,547</u>
その他の営業収益合計	<u>2,427,426</u>	<u>1,979,797</u>	<u>3,760,531</u>	<u>3,657,661</u>

A25. その他の営業収益（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a) 手数料収益:				
コミッション	148,931	223,544	372,118	437,951
サービス料及び手数料	191,189	224,167	391,354	439,763
引受手数料	3,420	2,483	6,789	4,851
貸出金及びその他の債権に係る手数料	32,870	34,649	49,490	49,410
	<u>376,410</u>	<u>484,843</u>	<u>819,751</u>	<u>931,975</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味（損失）／利得	(9,568)	60,156	102,390	121,096
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	400,234	221,526	1,174,692	359,977
みなし支配企業の処分に係る正味損失	-	(1,222)	-	(1,222)
関連会社の持分の希薄化に係る正味利得	-	-	-	1,696
	<u>390,666</u>	<u>280,460</u>	<u>1,277,082</u>	<u>481,547</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	<u>3,192</u>	<u>3,992</u>	<u>3,192</u>	<u>3,992</u>
(d) 再評価に係る未実現利得／（損失）:				
FVTPL金融投資	121,347	(1,265)	(64,640)	536
FVTPL金融負債	147,028	(363,482)	(290,176)	(818,734)
デリバティブ	(382,988)	84,103	801,686	275,268
FVTPL貸出金及びその他の債権	1,726	1,315	952	(561)
	<u>(112,887)</u>	<u>(279,329)</u>	<u>447,822</u>	<u>(543,491)</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算差益	136,771	160,345	68,842	388,165
デリバティブに係る実現（損失）／利得	(40,520)	281,345	(139,133)	401,656
賃料収入	5,985	7,211	13,715	14,474
有形固定資産処分（損）／益	(244)	(372)	10,926	23
その他	16,425	27,779	29,418	41,361
	<u>118,417</u>	<u>476,308</u>	<u>(16,232)</u>	<u>845,679</u>
その他の営業収益合計	<u>775,798</u>	<u>966,274</u>	<u>2,531,615</u>	<u>1,719,702</u>

A26. 保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
給付金及び保険金総支払額	768,880	965,614	1,826,452	1,950,275
再保険会社に出再した保険金	(6,914)	(106,969)	(114,843)	(228,430)
契約負債の変動総額	1,754,445	1,242,939	1,964,892	2,163,173
再保険会社に出再した契約負債の変動	(188,635)	(225,504)	(324,007)	(191,285)
保険給付金及び支払保険金純額	<u>2,327,776</u>	<u>1,876,080</u>	<u>3,352,494</u>	<u>3,693,733</u>
手数料費用純額	60,690	60,841	154,193	125,804
保険関連負債の変動	6,602	35,632	35,099	9,156
生命保険及びタカフルファンドに係る税金	<u>74,180</u>	<u>41,864</u>	<u>13,266</u>	<u>80,249</u>
手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	<u>141,472</u>	<u>138,337</u>	<u>202,558</u>	<u>215,209</u>
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金合計	<u>2,469,248</u>	<u>2,014,417</u>	<u>3,555,052</u>	<u>3,908,942</u>

A27. 一般管理費

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a)人件費				
給料手当及び賞与	1,281,222	1,267,923	2,586,476	2,565,776
社会保険費用	11,085	10,750	22,439	21,721
年金費用-確定拠出制度	152,757	154,586	307,212	305,310
ESGP費用	22,468	9,393	38,754	18,681
その他人件費関連費用	176,469	213,967	416,083	432,068
	<u>1,644,001</u>	<u>1,656,619</u>	<u>3,370,964</u>	<u>3,343,556</u>
(b)設備費				
有形固定資産の減価償却費	77,395	73,171	154,014	148,737
使用権資産の減価償却費	115,023	93,509	223,455	182,007
無形資産の償却費	71,646	63,448	140,311	120,054
土地及び建物の賃借料	9,970	16,411	27,240	37,075
有形固定資産の保守修繕費	31,304	43,444	72,599	87,604
IT費用	130,102	130,861	251,994	259,608
リース負債に係る金融費用	15,700	15,686	32,235	31,683
その他	7,269	12,175	14,597	23,262
	<u>458,409</u>	<u>448,705</u>	<u>916,445</u>	<u>890,030</u>
(c)マーケティング費用				
広告宣伝費	21,304	54,809	57,471	113,360
その他	55,189	96,253	127,711	178,447
	<u>76,493</u>	<u>151,062</u>	<u>185,182</u>	<u>291,807</u>

A27. 一般管理費（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ（続き）				
(d)管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	199,772	249,067	477,735	488,975
管理費	149,587	142,631	281,837	284,339
一般経費	184,434	169,618	419,190	323,956
その他	(6,357)	3,982	(3,007)	6,595
	<u>527,436</u>	<u>565,298</u>	<u>1,175,755</u>	<u>1,103,865</u>
一般管理費合計	<u>2,706,339</u>	<u>2,821,684</u>	<u>5,648,346</u>	<u>5,629,258</u>
コスト・インカム・レシオ （「CIR」） ¹	<u>47.9%</u>	<u>47.9%</u>	<u>45.6%</u>	<u>47.9%</u>

¹コスト・インカム・レシオ（「CIR」）は純営業収益に対する総費用で算出される。当行グループの総費用は一般管理費合計であり、メイバンク・キム・エン・ホールディングス・リミテッドに関する無形資産の償却額は除外されている。収益は損益計算書上に開示されている純営業収益である。

A27. 一般管理費（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a)人件費				
給料手当及び賞与	648,533	649,657	1,297,425	1,307,205
社会保険費用	5,345	5,514	11,127	11,482
年金費用-確定拠出制度	96,198	98,362	194,304	196,955
ESGP費用	10,644	5,332	19,944	10,722
その他人件費関連費用	86,276	106,611	198,556	210,227
	<u>846,996</u>	<u>865,476</u>	<u>1,721,356</u>	<u>1,736,591</u>
(b)設備費				
有形固定資産の減価償却費	25,602	30,137	51,552	61,997
使用権資産の減価償却費	31,535	26,095	59,760	53,578
無形資産の償却費	14,286	12,353	28,020	23,749
土地及び建物の賃借料	2,084	1,339	4,109	4,200
有形固定資産の保守修繕費	14,791	20,825	34,968	45,890
IT費用	204,676	191,846	396,246	378,318
リース負債に係る金融費用	4,297	3,771	8,433	7,606
その他	632	992	1,168	1,855
	<u>297,903</u>	<u>287,358</u>	<u>584,256</u>	<u>577,193</u>
(c)マーケティング費用				
広告宣伝費	5,712	13,689	18,346	43,617
その他	24,564	53,722	61,407	100,604
	<u>30,276</u>	<u>67,411</u>	<u>79,753</u>	<u>144,221</u>
(d)管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	135,058	149,715	302,554	288,237
管理費	47,695	45,433	94,977	96,978
一般経費	70,320	64,091	131,308	113,983
その他	257	3,714	1,208	4,082
	<u>253,330</u>	<u>262,953</u>	<u>530,047</u>	<u>503,280</u>
(e)子会社に対する一般管理費の配賦額	(275,543)	(302,650)	(631,051)	(665,941)
一般管理費合計	<u>1,152,962</u>	<u>1,180,548</u>	<u>2,284,361</u>	<u>2,295,344</u>
コスト・インカム・レシオ （「CIR」） ²	<u>27.3%</u>	<u>25.9%</u>	<u>27.2%</u>	<u>31.9%</u>

²コスト・インカム・レシオ（「CIR」）は純営業収益に対する総費用で算出される。

A28. 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額

当行グループ	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2020年	2019年	2020年	2019年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
貸出金及びその他の債権に対する減損損失 引当金繰入 / (戻入) :				
- ステージ 1 12カ月ECL、純額	101,541	175,718	(31,389)	(463,417)
- ステージ 2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	905,633	(50,032)	1,455,243	(82,492)
- ステージ 3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	760,622	348,846	1,359,022	1,687,599
不良債権償却額	11,558	17,859	30,538	59,020
不良債権回収額	(41,361)	(104,859)	(114,440)	(211,424)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入	1,274	4,112	1,960	6,352
	<u>1,739,267</u>	<u>391,644</u>	<u>2,700,934</u>	<u>995,638</u>

当行	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2020年	2019年	2020年	2019年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
貸出金及びその他の債権に対する減損損失 引当金 (戻入) / 繰入:				
- ステージ 1 12カ月ECL、純額	(92,699)	174,481	40,186	(122,236)
- ステージ 2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	717,721	(85,910)	1,016,237	(62,694)
- ステージ 3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	337,004	129,491	709,865	964,662
不良債権償却額	8,140	6,604	20,559	26,372
不良債権回収額	(15,578)	(43,657)	(52,177)	(91,344)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入 / (戻入)	584	(624)	154	12,444
	<u>955,172</u>	<u>180,385</u>	<u>1,734,824</u>	<u>727,204</u>

A29. 金融投資に対する減損損失引当金（戻入）／繰入、純額

		第2四半期		6カ月間累計期間	
		2020年	2019年	2020年	2019年
		6月30日終了	6月30日終了	6月30日終了	6月30日終了
		千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
		リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
当行グループ					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定					
する金融投資					
-ステージ1	12カ月ECL、純額	(20,541)	2,535	7,908	1,658
-ステージ2	全期間ECL(信用減損なし)、純額	130	(160)	762	(278)
-ステージ3	全期間ECL(信用減損あり)、純額	(333)	11,033	(3,923)	3,229
	純額	(20,744)	13,408	4,747	4,609
償却原価で測定する金融投資					
-ステージ1	12カ月ECL、純額	3,101	1,338	5,871	1,423
-ステージ2	全期間ECL(信用減損なし)、純額	28,073	8,277	36,368	1,176
-ステージ3	全期間ECL(信用減損あり)、純額	(1,279)	889	(3,069)	41,313
	純額	29,895	10,504	39,170	43,912
		9,151	23,912	43,917	48,521
当行					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定					
する金融投資					
-ステージ1	12カ月ECL、純額	(18,283)	626	5,728	(996)
-ステージ2	全期間ECL(信用減損なし)、純額	(76)	63	(96)	(203)
-ステージ3	全期間ECL(信用減損あり)、純額	(168)	3,973	(3,700)	3,383
	純額	(18,527)	4,662	1,932	2,184
償却原価で測定する金融投資					
-ステージ1	12カ月ECL、純額	838	1,558	3,584	1,487
-ステージ2	全期間ECL(信用減損なし)、純額	17,176	8,284	21,544	3,225
-ステージ3	全期間ECL(信用減損あり)、純額	(1,279)	889	(3,069)	41,313
	純額	16,735	10,731	22,059	46,025
		(1,792)	15,393	23,991	48,209

A30. その他の金融資産に対する減損損失引当金（戻入）／繰入、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
現金及び短期資金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(5,657)	(16,270)	(1,612)	(9,620)
純額	(5,657)	(16,270)	(1,612)	(9,620)
金融機関預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(9,572)	48,459	3,295	48,893
純額	(9,572)	48,459	3,295	48,893
売戻条件付買入金融資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	4,854	(1,604)	5,777	(1,037)
純額	4,854	(1,604)	5,777	(1,037)
再保険資産／再タカフル資産及びその他の 保険債権				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	1,211	7,614	6,767	9,285
純額	1,211	7,614	6,767	9,285
その他の資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(2,723)	(1,302)	390	(2,378)
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)	(29)	37	(12)	(45)
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)	5,364	(191)	4,239	365
純額	2,612	(1,456)	4,617	(2,058)
中央銀行への法定預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(1,135)	-	1,312	-
純額	(1,135)	-	1,312	-
	(7,687)	36,743	20,156	45,463

A30. その他の金融資産に対する減損損失引当金（戻入）／繰入、純額（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
現金及び短期資金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(4,935)	2,608	(2,990)	(8,215)
純額	<u>(4,935)</u>	<u>2,608</u>	<u>(2,990)</u>	<u>(8,215)</u>
金融機関預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(2,603)	29,546	2,999	29,577
純額	<u>(2,603)</u>	<u>29,546</u>	<u>2,999</u>	<u>29,577</u>
売戻条件付買入金融資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	4,344	(1,572)	4,503	(1,205)
純額	<u>4,344</u>	<u>(1,572)</u>	<u>4,503</u>	<u>(1,205)</u>
その他の資産				
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)	4,175	(870)	6,332	(2,790)
純額	<u>4,175</u>	<u>(870)</u>	<u>6,332</u>	<u>(2,790)</u>
	<u>981</u>	<u>29,712</u>	<u>10,844</u>	<u>17,367</u>

A31. セグメント情報

事業セグメント別状況

当行グループのオペレーティングセグメントは、グループ・地域金融サービス、グループ・グローバル・バンキング及びグループ・保険及びタカフル事業部門である。当行グループでは、当行グループの取締役会及び経営者上層部に提供される情報に基づいて、オペレーティングセグメントを決定し、公表している。

当行グループは、下記の通り、当行グループ内で提供可能なサービス及び商品に基づき、3つのオペレーティングセグメントで構成されている。

(a) グループ・地域金融サービス（「CFS」）

(i) コンシューマー・バンキング部門

コンシューマー・バンキング部門は、貯蓄預金、定期預金、送金サービス、当座預金、住宅ローンや個人ローンなどの消費者向けローン、割賦金融、ユニット・トラスト、バンカシュアランス商品、クレジットカードなど、地域の個人向けのさまざまな商品及びサービスで構成されている。

(ii) 中小企業（「SME」）向け金融部門

中小企業向け金融部門は、地域の中小企業を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期ローン、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

(iii) ビジネス・バンキング部門

ビジネス・バンキング部門は、地域の事業会社を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期ローン、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

(b) グループ・グローバル・バンキング（「GB」）

(i) グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケッツ部門

グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケッツ部門は、コーポレート・バンキング及びグローバル・マーケッツ事業で構成されている。

コーポレート・バンキング部門は、大企業から公共部門に至るまで、地域の法人顧客に向けた、さまざまな商品及びサービスで構成されている。提供している商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期ローン、当座貸越や貿易金融などの短期融資、及び手数料ビジネスが含まれている。

グローバル・マーケッツ部門は、外国為替、マネーマーケット、デリバティブ、資本市場取引など、資金取引業務やサービスに関連したさまざまな商品及びサービスで構成されている。

A31. セグメント情報(続き)**事業セグメント別状況(続き)****(b) グループ・グローバル・バンキング（「GB」）(続き)****(ii) グループ・投資銀行部門（メイバンクIB及びメイバンク・キム・エン）**

投資銀行部門は、投資銀行業務及び証券仲介業務で構成されている。このセグメントでは、主として大手法人顧客及び金融機関のビジネスニーズへの対応に注力している。顧客向けに提供している商品及びサービスには、コーポレート・アドバイザー業務、債券発行、株式発行、シンジケート方式の買収アドバイザー業務、債務再編アドバイザー業務、株式や先物売買などがある。

(iii) グループ・資産運用部門

資産運用部門は、個人、法人及び機関投資家といった顧客に対し、さまざまな従来型の投資やイスラム金融型の投資を提供する、資産及びファンド運用業務を手がけている。

(c) グループ・保険及びタカフル事業部門

保険及びタカフル事業部門は、すべての種目の損害保険及び生命保険の引受業務、オフショアの投資生命保険事業、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業から構成されている。

[次へ](#)

A31. セグメント情報（続き）
事業セグメント別状況（続き）

2020年6月30日に終了した6カ月間	事業セグメント						
	<===== グループ・グローバル・バンキング =====>						
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リングgit	グループ・コボレト・ バンク部門及び グローバル・マーケット部門 千マレーシア・ リングgit	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リングgit	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リングgit	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リングgit	本部及びその他 千マレーシア・ リングgit	合計 千マレーシア・ リングgit
受取利息純額							
- 外部	3,580,252	2,065,430	116,134	69	576,812	(729,678)	5,609,019
- セグメント間	-	-	(347)	1,215	54,697	(55,565)	-
	3,580,252	2,065,430	115,787	1,284	631,509	(785,243)	5,609,019
受取利息純額	3,580,252	2,065,430	115,787	1,284	631,509	(785,243)	5,609,019
イスラム金融業務(IFS)からの収益	1,467,766	765,705	26,154	-	-	612,772	2,872,397
正味既経過保険料	-	-	-	-	3,685,821	-	3,685,821
その他の営業収益	1,278,158	1,710,690	476,513	50,505	230,649	14,016	3,760,531
営業収益合計	6,326,176	4,541,825	618,454	51,789	4,547,979	(158,455)	15,927,768
保険給付金及び支払保険金純額、 保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフル ファンドに係る税金	-	-	-	-	(3,687,924)	132,872	(3,555,052)
純営業収益	6,326,176	4,541,825	618,454	51,789	860,055	(25,583)	12,372,716
一般管理費	(3,698,588)	(937,333)	(493,413)	(54,644)	(464,368)	-	(5,648,346)
減損損失前営業利益/(損失)	2,627,588	3,604,492	125,041	(2,855)	395,687	(25,583)	6,724,370
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金 繰入、純額	(925,760)	(1,766,130)	(4,941)	-	(4,103)	-	(2,700,934)
金融投資に係る減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(21)	(43,977)	(152)	-	233	-	(43,917)
その他の金融資産に対する減損損失引当金戻入/繰 入)、純額	33	(12,490)	(252)	(4)	(8,994)	1,551	(20,156)
営業利益/(損失)	1,701,840	1,781,895	119,696	(2,859)	382,823	(24,032)	3,959,363
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	-	93,350	788	-	-	-	94,138
税金及びザカート前利益/(損失)	1,701,840	1,875,245	120,484	(2,859)	382,823	(24,032)	4,053,501
税金及びザカート							(984,973)
税金及びザカート控除後利益							3,068,528
非支配持分							(77,146)
当行株主に帰属する当期利益							2,991,382

A31. セグメント情報（続き）
事業セグメント別状況（続き）

< ===== 事業セグメント ===== >						
< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >						
グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コーポレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケット部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット	本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
533,681	54,890	9,262	19,911	-	(65,961)	551,783
386,090	146,486	76,454	34,672	1,031	(25,666)	619,067
-	6,789	3,009	-	-	-	9,798
-	-	233,598	-	-	-	233,598
39,510	58,622	606	-	-	299	99,037
130,260	47,745	15,817	-	-	(19,426)	174,396
(98,712)	(26,658)	(19,149)	(268)	(9,227)	-	(154,014)
(145,549)	(37,846)	(27,453)	(1,276)	(11,331)	-	(223,455)
(94,889)	(26,230)	(6,178)	(123)	(12,891)	-	(140,311)

A31. セグメント情報（続き）
事業セグメント別状況（続き）

2019年 6 月30日に終了した 6 カ月間	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >					本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コーポレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケット部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット		
受取利息純額							
- 外部	3,660,761	2,088,496	124,907	1,017	615,479	(639,558)	5,851,102
- セグメント間	-	-	2,121	1,321	19,169	(22,611)	-
	3,660,761	2,088,496	127,028	2,338	634,648	(662,169)	5,851,102
受取利息純額	3,660,761	2,088,496	127,028	2,338	634,648	(662,169)	5,851,102
イスラム金融業務 (IBS) からの収益	1,542,695	649,946	38,978	-	-	667,939	2,899,558
正味既経過保険料	-	-	-	-	3,250,389	-	3,250,389
その他の営業収益	1,441,540	1,180,976	360,561	85,050	1,103,769	(514,235)	3,657,661
営業収益合計	6,644,996	3,919,418	526,567	87,388	4,988,806	(508,465)	15,658,710
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、 保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフル ファンドに係る税金	-	-	-	-	(4,052,635)	143,693	(3,908,942)
純営業収益	6,644,996	3,919,418	526,567	87,388	936,171	(364,772)	11,749,768
一般管理費	(3,653,440)	(915,737)	(512,583)	(84,438)	(463,060)	-	(5,629,258)
減損損失前営業利益/(損失)	2,991,556	3,003,681	13,984	2,950	473,111	(364,772)	6,120,510
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金 戻入/(繰入)、純額	145,835	(1,134,847)	(38)	2	(6,590)	-	(995,638)
金融投資に係る減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	301	(47,682)	(117)	-	(1,023)	-	(48,521)
その他の金融資産に対する減損損失引当金(繰入)/ 戻入、純額	(325)	(20,515)	(777)	17	(9,243)	(14,620)	(45,463)
営業利益/(損失)	3,137,367	1,800,637	13,052	2,969	456,255	(379,392)	5,030,888
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	-	70,554	577	-	-	-	71,131
税金及びザカート前利益/(損失)	3,137,367	1,871,191	13,629	2,969	456,255	(379,392)	5,102,019
税金及びザカート							(1,239,121)
税金及びザカート控除後利益							3,862,898
非支配持分							(112,763)
当行株主に帰属する当期利益							3,750,135

A31. セグメント情報（続き）
事業セグメント別状況（続き）

< ===== 事業セグメント ===== >

< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >

グループ・コボレート・

	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コボレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケット部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット	本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
--	---	---	-------------------------------------	-------------------------------------	---	-----------------------------	------------------------

2019年 6 月30日に終了した 6 カ月間（続き）

その他の営業収益の主な内訳:

手数料収益:							
コミッション	589,894	74,513	19,069	8,111	-	(62,230)	629,357
サービス料及び手数料	446,294	155,411	93,659	48,974	404	(73,557)	671,185
引受手数料	-	4,851	25,027	-	-	-	29,878
仲介業務収益	-	-	146,731	-	-	-	146,731
貸出金及びその他の債権に係る手数料	41,223	58,164	1,718	-	262	209	101,576
IBS業務に係る手数料収益	130,967	68,631	27,063	-	-	(28,205)	198,456

一般管理費の主な内訳:

有形固定資産の減価償却費	(93,042)	(24,099)	(23,846)	(436)	(7,314)	-	(148,737)
使用権資産の減価償却費	(121,760)	(29,500)	(21,211)	(1,097)	(8,439)	-	(182,007)
無形資産の償却費	(76,721)	(22,960)	(9,098)	(216)	(11,059)	-	(120,054)

[次へ](#)

A32. 再評価された資産の帳簿価額

当行グループ及び当行の有形固定資産は、減価償却累計額及び（該当する場合は）減損損失累計額控除後の取得原価で計上されている。2019年12月31日に終了した前会計年度の監査済財務書類から繰り越された固定資産の評価に変更はなかった。

A33. 後発事象

注記A8(ii) 及びB6に開示された事象以外に報告日以降に生じた重要な後発事象はなかった。

A34. 当行グループの構成の変更

2020年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループの構成に重要な変更はなかった。

A35. コミットメント及び偶発事象

通常の業務において当行グループ及び当行は様々なコミットメントに関与し、顧客に対し法的リコースを伴う一定の偶発債務を負っているが、これらの取引による重大な損失は予想されていない。

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク・ウェイト・エクスポージャーは以下の通りである。

当行グループ	2020年6月30日現在			2019年12月31日現在		
	フル・コミット メント 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク・ウェイト 相当額* 千マレーシア・ リンギット	フル・コミット メント 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク・ウェイト 相当額* 千マレーシア・ リンギット
偶発債務						
債務履行引受契約	10,737,344	9,882,089	6,213,306	11,651,981	10,549,467	6,180,568
特定の取引に係る偶発債務	16,251,260	7,506,327	4,868,715	17,933,219	8,010,772	4,956,866
短期の自己清算型貿易関連 偶発債務	2,931,147	563,215	345,085	2,963,469	614,984	378,984
	29,919,751	17,951,631	11,427,106	32,548,669	19,175,223	11,516,418
コミットメント						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	126,616,508	16,091,377	5,138,075	120,543,741	12,568,585	5,201,397
- 1年超	41,742,213	49,238,191	22,141,804	43,154,904	43,431,330	19,424,913
	168,358,721	65,329,568	27,279,879	163,698,645	55,999,915	24,626,310
その他のコミットメント 及び偶発事象	7,402,507	800,992	129,094	8,965,841	836,389	88,766
信用関連のコミットメント 及び偶発事象合計	205,680,979	84,082,191	38,836,079	205,213,155	76,011,527	36,231,494
デリバティブ金融商品						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	606,430,234	6,497,772	1,027,112	538,237,679	5,300,386	897,466
- 1年以上5年未満	33,254,409	2,471,212	1,288,369	31,495,367	1,856,999	930,782
- 5年以上	6,543,048	1,058,436	406,331	5,314,451	749,621	314,812
	646,227,691	10,027,420	2,721,812	575,047,497	7,907,006	2,143,060
金利関連契約:						
- 1年未満	100,687,762	37,634	14,692	78,438,765	263,545	76,054
- 1年以上5年未満	296,715,173	1,611,117	965,174	256,963,893	1,737,197	1,026,458
- 5年以上	112,930,175	2,189,963	1,500,952	87,560,165	1,861,518	1,238,571
	510,333,110	3,838,714	2,480,818	422,962,823	3,862,260	2,341,083

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク・ウェイト・エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

	2020年6月30日現在			2019年12月31日現在		
	フル・コミットメント 千マレーシア・リンギット	信用相当額* 千マレーシア・リンギット	リスク・ウェイト相当額* 千マレーシア・リンギット	フル・コミットメント 千マレーシア・リンギット	信用相当額* 千マレーシア・リンギット	リスク・ウェイト相当額* 千マレーシア・リンギット
当行グループ(続き)						
デリバティブ金融商品(続き)						
エクイティ及びコモディティ関連契約:						
- 1年未満	3,281,876	293,393	214,565	4,075,338	257,581	150,897
- 1年以上5年未満	272,860	77,421	57,986	1,260,171	101,036	72,194
	3,554,736	370,814	272,551	5,335,509	358,617	223,091
信用関連契約:						
- 1年未満	22,750	-	-	63,690	-	-
トレジャリー関連のコミットメント及び偶発事象合計	1,160,138,287	14,236,948	5,475,181	1,003,409,519	12,127,883	4,707,234
コミットメント及び偶発事象合計	1,365,819,266	98,319,139	44,311,260	1,208,622,674	88,139,410	40,938,728
	2020年6月30日現在			2019年12月31日現在		
	フル・コミットメント 千マレーシア・リンギット	信用相当額* 千マレーシア・リンギット	リスク・ウェイト相当額* 千マレーシア・リンギット	フル・コミットメント 千マレーシア・リンギット	信用相当額* 千マレーシア・リンギット	リスク・ウェイト相当額* 千マレーシア・リンギット
当行						
偶発債務						
債務履行引受契約	8,257,428	7,439,422	4,309,309	8,851,551	7,795,307	4,096,596
特定の取引に係る偶発債務	13,417,376	6,094,204	3,923,168	14,052,638	6,099,774	3,644,076
短期の自己清算型貿易関連偶発債務	2,333,556	412,500	234,944	2,224,986	415,279	231,897
	24,008,360	13,946,126	8,467,421	25,129,175	14,310,360	7,972,569
コミットメント						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	76,990,511	8,285,273	2,147,026	74,635,545	5,851,189	2,420,816
- 1年超	27,644,426	30,990,789	15,227,142	30,025,147	26,990,403	13,104,508
	104,634,937	39,276,062	17,374,168	104,660,692	32,841,592	15,525,324
その他のコミットメント及び偶発事象	4,205,478	1,104,417	189,366	4,580,758	1,206,450	158,688
信用関連のコミットメント及び偶発事象合計	132,848,775	54,326,605	26,030,955	134,370,625	48,358,402	23,656,581
デリバティブ金融商品						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	599,028,862	6,159,693	872,491	530,308,700	5,198,743	798,031
- 1年以上5年未満	32,191,839	2,256,853	1,142,205	30,708,880	1,920,409	948,238
- 5年以上	5,468,126	883,535	314,871	4,403,125	584,069	223,548
	636,688,827	9,300,081	2,329,567	565,420,705	7,703,221	1,969,817

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク・ウェイト・エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

当行(続き)	2020年6月30日現在			2019年12月31日現在		
	フル・コミットメント	信用相当額*	リスク・ウェイト相当額*	フル・コミットメント	信用相当額*	リスク・ウェイト相当額*
デリバティブ金融商品	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
金利関連契約:						
- 1年未満	99,574,809	141,831	47,194	77,500,667	37,384	9,174
- 1年以上5年未満	296,972,096	3,814,874	1,982,207	257,295,512	1,284,684	593,440
- 5年以上	112,930,173	2,195,858	1,503,232	87,620,165	1,859,086	1,236,139
	509,477,078	6,152,563	3,532,633	422,416,344	3,181,154	1,838,753
エクイティ及びコモディティ関連契約:						
- 1年未満	1,122,463	234,434	185,729	1,908,063	178,382	111,125
- 1年以上5年未満	272,860	77,421	57,986	1,260,171	101,036	72,194
	1,395,323	311,855	243,715	3,168,234	279,418	183,319
信用関連契約:						
- 1年未満	22,750	-	-	63,690	-	-
トレジャリー関連のコミットメント及び偶発事象合計	1,147,583,978	15,764,499	6,105,915	991,068,973	11,163,793	3,991,889
コミットメント及び偶発事象合計	1,280,432,753	70,091,104	32,136,870	1,125,439,598	59,522,195	27,648,470

* マレーシア中央銀行が自己資本規制のために定めた規定に従い、信用相当額及びリスク・ウェイト相当額は、それぞれクレジット換算係数及びリスク・ウェイトを使い算出している。

(i) 当行グループ及び当行のデリバティブは、以下の通り、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされている。

市場リスク

デリバティブ取引における市場リスクは、株式、金利、外国為替レート、クレジット・スプレッド、コモディティ、又はその他インデックスなどの原資産の価格変動によりこれらの契約の価値が被る潜在的損失のことである。想定元本額もしくは契約金額は、報告日における未決済の取引量と位置付けられているものであり、リスク量を表す指標ではない。市場リスクはオンバランスやオフバランスのポジションで相殺することにより軽減することができる場合がある。

信用リスク

信用リスクは、当行及び特定の子会社がカウンターパーティーの債務不履行により利益を回収できなくなる可能性から生じる。当行グループの信用リスクは、再構築コストの観点から測定すると、2020年6月30日現在において23,621.2百万マレーシア・リンギット(2019年12月31日現在: 10,335.6百万マレーシア・リンギット)であった。この金額は、契約期間にわたり主に満期日、市場相場又は価格の変動に応じて増減する。

流動性リスク

デリバティブ取引における流動性リスクとは、デリバティブ・ポジションが即時に一括清算できなくなることを指す。流動性リスクは、原資産が幅広く市場で取引されているデリバティブを締結することにより低減させている。

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

(ii) 以下については、前期末からの変更はない。

- (a) 締結したデリバティブ契約のタイプ、契約締結の根拠及びこれらの契約から見込まれる効用
- (b) これらのデリバティブ契約に伴うリスクの軽減及び抑制のためのリスク管理方針
- (c) 関連する会計方針

A36. 自己資本充実度

(a) 自己資本充実度フレームワーク

- (i) マレーシア中央銀行（「BNM」）は、2020年2月5日、従来型の銀行及びイスラム銀行に対し、それぞれ自己資本及び自己資本比率の計算に関する自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（資本構成）を公表した。すべての金融機関は、以下の最低所要自己資本比率を常に維持しなければならない。

普通株式等Tier 1 (CET1) 自己資本比率	Tier 1 自己資本比率	総自己資本比率
4.5%*	6.0%	8.0%

* さらに、BNM（マレーシア中央銀行）はリスク・ウェイト資産（「RWA」）合計の2.5%の資本保全バッファ及びRWA合計の0%から2.5%の幅のカウンターシクリカル資本バッファを導入している。

- (ii) リスク・ウェイト資産合計は、2019年5月3日にBNM（マレーシア中央銀行）が公表した従来型の銀行向け自己資本充実度フレームワーク（バーゼル - リスク・ウェイト資産）及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（リスク・ウェイト資産）双方に従って、信用RWA、市場RWA、オペレーショナルRWA及び大口信用供与規制要件の合計で算出される。

普通株式等Tier 1 自己資本、Tier 1 自己資本及び総自己資本の計算で控除されるエクスポージャーは、RWA算出における資本賦課の対象とならない。

(b) 自己資本比率の遵守と適用

当行グループ及び当行の自己資本比率は、2020年2月5日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2019年5月3日に公表された自己資本充実度フレームワーク（バーゼル - リスク・ウェイト資産）に基づいて算出されている。リスク・ウェイト資産の合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

エンティティ・レベルでは、当行グループの銀行子会社の自己資本比率の計算は以下の通りである。

- (i) メイバンク・イスラミック・ベルハッドの自己資本比率は2020年2月5日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）のイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2019年5月3日に公表されたイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（リスク・ウェイト資産）に基づいて算出されている。リスク・ウェイト資産の合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2020年12月31日に終了する当会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、リスク・ウェイト資産合計の4.5%、6.0%及び8.0%である（2019年：リスク・ウェイト資産合計の4.5%、6.0%及び8.0%）。

A36. 自己資本充実度（続き）

(b) 自己資本比率の遵守と適用（続き）

- (ii) メイバンク・インベストメント・バンク・ベルハッドの自己資本比率は、2020年2月5日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2019年5月3日に公表された自己資本充実度フレームワーク（バーゼル - リスク・ウェイト資産）に基づいて算出されている。リスク・ウェイト資産の合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2020年12月31日に終了する会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、リスク・ウェイト資産合計の4.5%、6.0%及び8.0%である（2019年：リスク・ウェイト資産合計の4.5%、6.0%及び8.0%）。

- (iii) ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの自己資本比率の算出は、バーゼル 資本規制に基づいた、現地における要件に基づいている。リスク・ウェイト資産の合計は以下の手法に基づいて算出される。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2020年12月31日に終了する会計年度のピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの最低自己資本要件は、リスク・ウェイト資産合計の9%から10%未満である（2019年：9%から10%未満）。

- (iv) メイバンク・シンガポール・リミテッドの自己資本比率の算出は、シンガポール金融管理局（「MAS」）公表の2012年9月14日付MAS通達第637号（最新更新日は2020年3月31日）に基づいている。リスク・ウェイト資産の合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク
- (D) MAS通達第637号に基づくリスク・ウェイト資産に対する資本フロアの調整

2020年12月31日に終了する会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、リスク・ウェイト資産合計の6.5%、8.0%及び10.0%である（2019年：リスク・ウェイト資産合計の6.5%、8.0%及び10.0%）。

(c) 当行グループ及び当行の自己資本比率

2013年6月30日の発効以降、DRPにおける普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除されるべき宣言された配当額は、2013年5月8日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）に係る実務指針（「実務指針」）によって決定されなければならない。当該実務指針に基づく、DRPの下で配当金の一部（選択可能部分）が再投資される場合、普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除される宣言された配当額は、下記の場合に減少する可能性がある。

- (i) 配当の選択可能部分を再投資することについて、株主から取消不能な同意を書面で入手している場合；又は
- (ii) 取消不能な同意を書面で提供されておらず、その額の対象となる直近3年間の受け入れ率の平均が、配当の選択可能部分の合計の50%を超えない場合

注記A9(a)に基づき、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の自己資本比率を算出するにあたって、支払配当金は普通株式等Tier 1 自己資本の計算から控除されている。

上記に基づく当行グループ及び当行の自己資本比率は以下の通りである。

A36. 自己資本充実度（続き）

(c) 当行グループ及び当行の自己資本比率（続き）

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
普通株式等Tier 1 自己資本比率	15.431%	15.729%	15.442%	15.314%
Tier 1 自己資本比率	16.175%	16.486%	16.235%	16.120%
総自己資本比率	<u>19.042%</u>	<u>19.387%</u>	<u>18.811%</u>	<u>19.387%</u>

A36. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
普通株式等Tier 1 自己資本				
払込済株式資本	48,280,355	48,280,355	48,280,355	48,280,355
利益剰余金 ¹	19,524,000	20,606,011	15,043,386	15,231,992
その他の準備金 ¹	6,150,809	5,189,258	6,241,033	5,820,765
適格非支配持分	123,486	134,080	-	-
規制上の調整前の普通株式等Tier 1 自己資本	74,078,650	74,209,704	69,564,774	69,333,112
控除額：普通株式等Tier 1 自己資本への規制上の調整項目：	(14,436,636)	(14,374,667)	(34,510,731)	(35,110,987)
繰延税金資産	(754,796)	(678,978)	-	-
のれん	(5,816,611)	(5,709,503)	(81,015)	(81,015)
その他の無形資産	(908,924)	(952,424)	(272,310)	(280,120)
「その他の包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類される金融商品に係る利得	(1,677,738)	(1,186,797)	(1,172,401)	(884,294)
規制準備金	(2,116,731)	(2,771,806)	(1,495,500)	(1,894,921)
非連結の金融機関及び保険 / タカフル事業体の普通株式への投資額 ²	(3,161,836)	(3,075,159)	(31,489,505)	(31,970,637)
普通株式等Tier 1 自己資本合計	59,642,014	59,835,037	35,054,043	34,222,125
その他Tier 1 資本				
資本性証券	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
第三者の保有する適格普通株式等Tier 1 及びその他Tier 1 資本調達手段	77,876	79,175	-	-
控除額：非連結の金融機関及び保険 / タカフル事業体の資本調達手段への投資額 ²	-	-	(1,000,000)	(1,000,000)
Tier 1 資本合計	62,519,890	62,714,212	36,854,043	36,022,125
Tier 2 資本				
劣後債務	9,140,121	9,045,420	9,140,121	9,045,420
第三者の保有する適格普通株式等Tier 1、その他Tier 1 及びTier 2 資本調達手段	41,062	41,287	-	-
一般貸倒引当金 ³	326,397	399,044	107,647	97,242
予想損失額を超える適格条項の剰余金	1,573,397	1,550,042	958,289	959,033
控除額：非連結の金融機関及び保険 / タカフル事業体の資本調達手段への投資額 ²	-	-	(4,360,068)	(2,801,145)
Tier 2 資本合計	11,080,977	11,035,793	5,845,989	7,300,550
資本合計	73,600,867	73,750,005	42,700,032	43,322,675

¹ 当行グループについて、保険及びタカフル事業からの利益剰余金及びその他の準備金の額は含まない。当行について、メイバンク・インターナショナル（L）リミテッドの利益剰余金及びその他の準備金の額を含む。

² 当行について、規制上の調整項目には、(i)事業並びに資産及び負債を当行へ譲渡しているミフィン・ベルハッドへの18,994,000マレーシア・リンギット、()メイバンク・インターナショナル（L）リミテッドへの10,289,000マレーシア・リンギット 及び()資産が当行のリスク・ウェイト資産に含まれるメイバンク・アグロ・ファンド・スندیリアン・ベルハッドへの57,000マレーシア・リンギットを除く子会社及び関連会社への投資費用を含む。当行グループについて、規制上の調整項目には保険 / タカフル事業体における関連会社及び投資の簿価を含む。

³ 信用リスクに対する標準的手法に基づき決定された、信用減損していないエクスポージャーとみなされる範囲の、12カ月及び全期間ECL(予想信用損失)相当額で測定された損失引当金及び規制準備金をいう。

当行グループの自己資本比率は、当行及びその子会社の連結勘定残高から算出されるが、保険及びタカフル事業体並びに関連会社への投資は含まない。

A36. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成（続き）

当行の自己資本比率は、当行及び完全子会社である海外銀行のメイバンク・インターナショナル（L）リミテッドを含むが、（上記に示されたミフィン・ベルハッド、メイバンク・インターナショナル（L）リミテッド、及びメイバンク・アグロ・ファンド・スディリアン・ベルハッドを除く）子会社及び関連会社への投資を含まない。

(e) 当行銀行子会社の自己資本比率は以下の通りである。

	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ベル ハッド	ビーティー・バン ク・メイバンク・ インドネシア・ ティービーケー	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド
2020年6月30日現在				
普通株式等Tier 1 自己資本比率	13.761%	30.163%	-	14.753%
Tier 1 自己資本比率	15.147%	30.163%	-	14.753%
総自己資本比率	<u>18.444%</u>	<u>31.548%</u>	<u>22.096%</u>	<u>18.714%</u>
2019年12月31日現在				
普通株式等Tier 1 自己資本比率	14.101%	24.507%	-	18.195%
Tier 1 自己資本比率	15.508%	24.507%	-	18.195%
総自己資本比率	<u>18.845%</u>	<u>25.807%</u>	<u>21.376%</u>	<u>18.497%</u>

A36. 自己資本充実度（続き）

(f) 主要リスク・カテゴリー別のリスク・ウェイト資産の内訳は以下の通りである。

2020年6月30日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・ バンク・ メイバンク・ インドネシア・ ティービーケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケールリング・ファクター	54,919,888	21,647,761	3,259,987	816,330	29,129,798	16,441,219
考慮後の内部格付手法エク スポージャー	262,232,824	159,714,773	71,445,857	-	-	21,794,594
信用評価調整	-	-	-	-	-	71,673
信用リスクのリスク・ウェイト 資産合計	317,152,712	181,362,534	74,705,844	816,330	29,129,798	38,307,486
メイバンク及び投資口座により 吸収される信用リスクのリス ク・ウェイト資産合計*	-	-	(11,454,065)	-	-	-
市場リスクのリスク・ウェイト 資産合計	26,011,257	22,577,203	659,028	387,621	834,843	18,570
オペレーショナル・リスクの リスク・ウェイト資産合計	43,346,489	23,060,137	8,195,886	739,279	5,960,208	3,704,505
リスク・ウェイト資産合計	386,510,458	226,999,874	72,106,693	1,943,230	35,924,849	42,030,561

2019年12月31日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・バ ンク・メイバン ク・インドネシ ア・ティービー ケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケールリング・ファクター	51,929,068	19,004,852	3,069,539	1,207,422	30,637,949	17,079,171
考慮後の内部格付手法エク スポージャー	258,340,386	159,838,753	69,483,314	-	-	21,058,209
信用評価調整	-	-	-	-	-	72,446
信用リスクのリスク・ウェイト 資産合計	310,269,454	178,843,605	72,552,853	1,207,422	30,637,949	38,209,826
メイバンク及び投資口座により 吸収される信用リスクのリス ク・ウェイト資産合計*	-	-	(10,472,880)	-	-	-
市場リスクのリスク・ウェイト 資産合計	27,288,688	21,513,467	963,780	402,336	720,844	14,583
オペレーショナル・リスクの リスク・ウェイト資産合計	42,853,735	23,106,901	8,029,045	743,034	5,612,761	3,835,988
リスク・ウェイト資産合計	380,411,877	223,463,973	71,072,798	2,352,792	36,971,554	42,060,397

* BNM（マレーシア中央銀行）の投資口座の方針に従い、投資口座（制限のない投資口座及び制限付投資口座）によって調達された信用リスク・ウェイト資産は、当行の自己資本比率の計算から除外されている。

A37. デリバティブ金融商品

以下の表は、トレーディング目的デリバティブ及びヘッジ目的で保有する金融商品の契約金額又は想定元本額を要約しているものである。これらの商品の想定元本額又は契約額は、報告日現在における未決済の取引量を表しており、リスク量を表すものではない。

デリバティブ金融商品は、ポジション総額ベースで再評価され、未実現利得又は損失はそれぞれ「デリバティブ金融商品」資産及び負債に反映される。

	当行グループ <----- 公正価値 ----->			当行 <----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2020年6月30日現在						
トレーディング目的デリバティブ						
<u>外国為替関連契約</u>						
通貨先渡:						
- 1年未満	48,496,551	418,050	(288,440)	37,795,684	430,920	(341,269)
- 1年以上3年以内	1,160,924	45,156	(9,771)	1,236,148	45,156	(9,771)
- 3年超	4,112,587	189,540	(994)	2,965,063	189,540	(994)
	<u>53,770,062</u>	<u>652,746</u>	<u>(299,205)</u>	<u>41,996,895</u>	<u>665,616</u>	<u>(352,034)</u>
通貨スワップ:						
- 1年未満	529,980,075	2,525,839	(2,336,247)	533,532,080	2,476,160	(2,198,970)
- 1年以上3年以内	350,159	9	(663)	454,842	9	(12,032)
	<u>530,330,234</u>	<u>2,525,848</u>	<u>(2,336,910)</u>	<u>533,986,922</u>	<u>2,476,169</u>	<u>(2,211,002)</u>
通貨スポット:						
- 1年未満	<u>5,345,850</u>	<u>4,914</u>	<u>(4,327)</u>	<u>5,553,847</u>	<u>5,065</u>	<u>(4,384)</u>
通貨オプション:						
- 1年未満	11,719,459	61,560	(55,979)	11,787,213	61,483	(51,903)
- 1年以上3年以内	992,467	79,064	(163,588)	1,763,319	79,064	(123,452)
- 3年超	21,412	-	(343)	21,412	-	(343)
	<u>12,733,338</u>	<u>140,624</u>	<u>(219,910)</u>	<u>13,571,944</u>	<u>140,547</u>	<u>(175,698)</u>
クロスカレンシー金利スワップ:						
- 1年未満	8,145,532	106,375	(302,437)	7,617,271	103,512	(294,590)
- 1年以上3年以内	15,020,743	452,690	(227,281)	13,477,578	407,510	(201,168)
- 3年超	12,416,322	396,608	(274,133)	12,018,760	389,973	(271,214)
	<u>35,582,597</u>	<u>955,673</u>	<u>(803,851)</u>	<u>33,113,609</u>	<u>900,995</u>	<u>(766,972)</u>
<u>金利関連契約</u>						
金利スワップ:						
- 1年未満	97,951,248	345,190	(693,754)	98,037,392	343,409	(693,048)
- 1年以上3年以内	182,575,496	2,833,496	(2,748,476)	182,870,123	2,822,275	(2,740,742)
- 3年超	209,011,835	13,491,100	(10,949,814)	209,102,604	13,435,633	(10,944,425)
	<u>489,538,579</u>	<u>16,669,786</u>	<u>(14,392,044)</u>	<u>490,010,119</u>	<u>16,601,317</u>	<u>(14,378,215)</u>
金利先物:						
- 1年未満	2,736,514	1,685,225	(1,657,250)	1,537,417	1,685,225	(1,655,755)
- 1年以上3年以内	128,475	-	(156)	-	-	-
	<u>2,864,989</u>	<u>1,685,225</u>	<u>(1,657,406)</u>	<u>1,537,417</u>	<u>1,685,225</u>	<u>(1,655,755)</u>
金利オプション:						
- 1年以上3年以内	4,775,100	32,951	(17,335)	4,775,100	32,951	(17,335)
- 3年超	12,105,230	1,861,732	(3,651,816)	12,105,230	1,861,732	(3,651,816)
	<u>16,880,330</u>	<u>1,894,683</u>	<u>(3,669,151)</u>	<u>16,880,330</u>	<u>1,894,683</u>	<u>(3,669,151)</u>

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ <----- 公正価値 ----->			当行 <----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
<u>2020年6月30日現在（続き）</u>						
<u>トレーディング目的デリバティブ</u>						
<u>（続き）</u>						
<u>エクイティ関連契約</u>						
<u>エクイティオプション:</u>						
- 1年未満	1,464,582	162,154	(253,640)	-	-	-
<u>エクイティスワップ:</u>						
- 1年未満	765,421	29,558	(85,815)	70,590	6,004	-
<u>コモディティ関連契約</u>						
<u>コモディティオプション:</u>						
- 1年未満	126,506	16,395	(16,395)	126,506	16,395	(16,395)
<u>コモディティスワップ:</u>						
- 1年未満	925,367	152,139	(151,456)	925,367	152,139	(151,456)
- 1年以上3年以内	272,860	44,221	(43,014)	272,860	44,221	(43,014)
	1,198,227	196,360	(194,470)	1,198,227	196,360	(194,470)
<u>信用関連契約</u>						
<u>クレジット・デフォルト・スワップ</u>						
- 1年未満	22,750	214	(154)	22,750	214	(154)
<u>ヘッジ目的デリバティブ</u>						
<u>外国為替関連契約</u>						
<u>クロスカレンシー金利スワップ:</u>						
- 1年未満	2,742,767	20,699	(58,727)	2,742,767	20,699	(58,727)
- 1年以上3年以内	4,504,633	87,495	(53,245)	4,504,633	87,495	(53,245)
- 3年超	1,218,210	33,836	(13,873)	1,218,210	33,836	(13,873)
	8,465,610	142,030	(125,845)	8,465,610	142,030	(125,845)
<u>金利関連契約</u>						
<u>金利スワップ:</u>						
- 1年以上3年以内	642,375	14,701	(7,342)	642,375	14,701	(7,342)
- 3年超	406,837	84,289	-	406,837	84,289	-
	1,049,212	98,990	(7,342)	1,049,212	98,990	(7,342)
<u>改訂MFRS第132号に基づく</u>						
ネットイング効果	-	(1,553,963)	1,553,963	-	(1,545,879)	1,545,879
合計	1,160,138,287	23,621,237	(22,512,502)	1,147,583,978	23,283,731	(22,011,538)

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額	資産	負債	元本額	資産	負債
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2019年12月31日現在						
トレーディング目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
通貨先渡:						
- 1年未満	40,509,373	224,854	(454,372)	31,547,237	174,105	(352,547)
- 1年以上3年以内	1,174,117	38,192	(8,663)	1,150,063	38,192	(8,629)
- 3年超	2,996,670	26,232	(8,574)	2,097,628	26,232	(8,574)
	<u>44,680,160</u>	<u>289,278</u>	<u>(471,609)</u>	<u>34,794,928</u>	<u>238,529</u>	<u>(369,750)</u>
通貨スワップ:						
- 1年未満	476,000,259	1,920,529	(2,508,702)	477,344,903	1,893,595	(2,490,262)
- 1年以上3年以内	74,050	634	(16,794)	198,581	634	(16,794)
	<u>476,074,309</u>	<u>1,921,163</u>	<u>(2,525,496)</u>	<u>477,543,484</u>	<u>1,894,229</u>	<u>(2,507,056)</u>
通貨スポット:						
- 1年未満	<u>3,074,983</u>	<u>6,789</u>	<u>(4,723)</u>	<u>3,262,450</u>	<u>5,903</u>	<u>(3,591)</u>
通貨オプション:						
- 1年未満	7,486,564	32,281	(29,322)	7,572,136	30,006	(25,331)
- 1年以上3年以内	51,994	98	(1,534)	51,994	98	(1,534)
- 3年超	737,491	36,139	(92,408)	1,269,140	36,139	(65,636)
	<u>8,276,049</u>	<u>68,518</u>	<u>(123,264)</u>	<u>8,893,270</u>	<u>66,243</u>	<u>(92,501)</u>
クロスカレンシー金利スワップ:						
- 1年未満	7,604,961	153,304	(134,220)	7,020,435	136,052	(129,243)
- 1年以上3年以内	14,573,402	305,702	(329,482)	13,443,872	280,202	(313,939)
- 3年超	11,846,838	324,709	(305,569)	11,545,471	312,890	(304,125)
	<u>34,025,201</u>	<u>783,715</u>	<u>(769,271)</u>	<u>32,009,778</u>	<u>729,144</u>	<u>(747,307)</u>
金利関連契約						
金利スワップ:						
- 1年未満	59,663,847	153,176	(83,901)	59,700,573	148,680	(79,536)
- 1年以上3年以内	149,222,782	934,892	(1,459,208)	149,583,978	905,694	(1,432,256)
- 3年超	174,665,541	4,238,207	(3,576,715)	174,818,915	4,164,128	(3,538,435)
	<u>383,552,170</u>	<u>5,326,275</u>	<u>(5,119,824)</u>	<u>384,103,466</u>	<u>5,218,502</u>	<u>(5,050,227)</u>
金利先物:						
- 1年未満	17,475,211	1,172,233	(1,168,999)	16,737,500	1,171,806	(1,168,999)
- 1年以上3年以内	2,169,952	117	(13)	2,047,000	-	(13)
	<u>19,645,163</u>	<u>1,172,350</u>	<u>(1,169,012)</u>	<u>18,784,500</u>	<u>1,171,806</u>	<u>(1,169,012)</u>
金利オプション:						
- 1年未満	1,062,594	47	(36)	1,062,594	47	(36)
- 1年以上3年以内	3,224,692	32,159	(18,402)	4,652,313	16,243	(2,358)
- 3年超	14,238,061	1,127,772	(1,333,780)	12,810,441	1,110,432	(1,316,301)
	<u>18,525,347</u>	<u>1,159,978</u>	<u>(1,352,218)</u>	<u>18,525,348</u>	<u>1,126,722</u>	<u>(1,318,695)</u>

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ <----- 公正価値 ----->			当行 <----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2019年12月31日現在（続き）						
トレーディング目的デリバティブ（続き）						
エクイティ関連契約						
エクイティオプション:						
- 1年未満	1,350,976	36,251	(233,065)	-	-	-
エクイティスワップ:						
- 1年未満	901,055	37,547	(92,031)	84,756	8,663	-
コモディティ関連契約						
コモディティオプション:						
- 1年未満	1,218,245	36,920	(36,920)	1,218,245	36,920	(36,920)
- 1年以上3年以内	57,225	1,261	(1,261)	57,225	1,261	(1,261)
	1,275,470	38,181	(38,181)	1,275,470	38,181	(38,181)
コモディティスワップ:						
- 1年未満	605,062	43,348	(42,257)	605,062	43,348	(42,257)
- 1年以上3年以内	1,202,946	40,258	(38,351)	1,202,946	40,258	(38,351)
- 3年超	-	-	-	-	-	-
	1,808,008	83,606	(80,608)	1,808,008	83,606	(80,608)
信用関連契約						
クレジット・デフォルト・スワップ						
- 1年未満	63,690	32	(901)	63,690	32	(901)
ヘッジ目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
クロスカレンシー金利スワップ:						
- 1年未満	3,561,539	159,019	(8,117)	3,561,539	159,019	(8,117)
- 1年以上3年以内	3,468,512	28,801	(48,776)	3,468,512	28,801	(48,776)
- 3年超	1,886,744	48,033	(6,974)	1,886,744	48,033	(6,974)
	8,916,795	235,853	(63,867)	8,916,795	235,853	(63,867)
金利関連契約						
金利スワップ:						
- 1年未満	237,113	-	(152)	-	-	-
- 1年以上3年以内	614,100	2,764	(1,374)	614,100	2,764	(1,374)
- 3年超	388,930	36,618	-	388,930	36,618	-
	1,240,143	39,382	(1,526)	1,003,030	39,382	(1,374)
改訂MFRS第132号に基づく						
ネットティング効果						
	-	(863,289)	863,289	-	(854,792)	854,792
合計	1,003,409,519	10,335,629	(11,182,307)	991,068,973	10,002,003	(10,588,278)

A38. 金融商品の公正価値測定

公正価値ヒエラルキー

金融商品全体が分類されるヒエラルキーのレベルは、開示上、公正価値測定のポジションに重要な最も低いレベルのインプットに基づいている。

(a) レベル1：同一の資産及び負債の活発な市場における（調整なしの）相場価格

相場価格が証券取引所から迅速かつ定期的に入手可能であり、独立第三者間の実際及び定期的に発生する市場取引を表す場合、活発な市場で価格を呈示されたとみなされる金融商品を意味する。当該金融商品には、活発に売買される政府証券、上場デリバティブ及び証券取引所で売買される現物商品が含まれる。

(b) レベル2：重要なインプットがすべて観察可能な市場データである、又は観察可能な市場データに基づく評価技法

資産又は負債に対し、直接（すなわち、価格）又は間接（すなわち、価格から導かれる）的に観察可能なレベル1に含まれる相場価格以外のインプットをいう。レベル2の金融商品の例には、店頭（「OTC」）デリバティブ、社債及び他の国債、非流動株式、市場において同質又は類似の特性を持つ消費者ローン及び債権が含まれる。

(c) レベル3：重要なインプットが観察可能な市場データに基づかない評価技法

公正価値が重要な観察不能なインプットを使用して測定される商品を用いる。評価技法は、レベル2と一致するが当行グループ及び当行の独自の前提及びデータを取り込んでいる。レベル3金融商品の例には、主に内部与信評価に基づき算定される非流動市場における社債、プライベートエクイティ投資や貸出金及び債権が含まれる。

以下の表は、当行グループ及び当行の、2020年6月30日現在及び2019年12月31日現在の公正価値で測定される金融及び非金融の資産並びに金融負債の公正価値ヒエラルキーのレベル毎の分析を表している。

当行グループ	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
2020年6月30日現在				
公正価値で測定する金融資産:				
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定 するものとして指定された金融資産	113,848	13,690,723	-	13,804,571
マネーマーケット商品	-	539,548	-	539,548
上場証券	113,848	-	-	113,848
非上場証券	-	13,151,175	-	13,151,175
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	6,262,592	14,632,200	807,147	21,701,939
マネーマーケット商品	-	9,945,912	-	9,945,912
上場証券	6,262,592	-	-	6,262,592
非上場証券	-	4,686,288	807,147	5,493,435
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融投資	2,282,818	120,454,643	344,645	123,082,106
マネーマーケット商品	-	61,639,975	-	61,639,975
上場証券	2,282,818	-	-	2,282,818
非上場証券	-	58,814,668	344,645	59,159,313
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及 びその他の債権	-	-	232,280	232,280
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 貸出金及びその他の債権	-	-	10,862,638	10,862,638

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

以下の表は、当行グループ及び当行の、2020年6月30日現在及び2019年12月31日現在の公正価値で測定される金融及び非金融の資産並びに金融負債の公正価値ヒエラルキーのレベル毎の分析を表している。（続き）

当行グループ（続き）	市場の 相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2020年6月30日現在（続き）				
公正価値で測定する金融資産：（続き）				
デリバティブ資産	-	23,480,876	140,361	23,621,237
外国為替関連契約	-	4,421,835	-	4,421,835
金利関連契約	-	20,348,684	-	20,348,684
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	264,106	140,361	404,467
信用関連契約	-	214	-	214
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,553,963)	-	(1,553,963)
	8,659,258	172,258,442	12,387,071	193,304,771

公正価値で測定する金融負債：

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	9,828,570	-	9,828,570
仕組預金	-	22,766	-	22,766
借入金	-	9,805,804	-	9,805,804
デリバティブ負債	-	22,372,141	140,361	22,512,502
外国為替関連契約	-	3,790,048	-	3,790,048
金利関連契約	-	19,725,943	-	19,725,943
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	409,959	140,361	550,320
信用関連契約	-	154	-	154
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,553,963)	-	(1,553,963)
	-	32,200,711	140,361	32,341,072

当行グループ	市場の 相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2019年12月31日現在				

公正価値で測定する金融資産：

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	113,647	14,209,656	-	14,323,303
マネーマーケット商品	-	474,348	-	474,348
上場証券	113,647	-	-	113,647
非上場証券	-	13,735,308	-	13,735,308
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	6,590,452	12,973,288	807,125	20,370,865
マネーマーケット商品	-	7,808,341	-	7,808,341
上場証券	6,590,452	-	-	6,590,452
非上場証券	-	5,164,947	807,125	5,972,072
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	1,644,956	121,243,317	463,260	123,351,533
マネーマーケット商品	-	64,289,820	-	64,289,820
上場証券	1,644,956	-	-	1,644,956
非上場証券	-	56,953,497	463,260	57,416,757
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	401,703	401,703
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	11,821,285	11,821,285

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

以下の表は、当行グループ及び当行の、2020年6月30日現在及び2019年12月31日現在の公正価値で測定される金融及び非金融の資産並びに金融負債の公正価値ヒエラルキーのレベル毎の分析を表している。(続き)

当行グループ(続き)	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
2019年12月31日現在				

公正価値で測定する金融資産:(続き)

デリバティブ資産	-	10,252,236	83,393	10,335,629
外国為替関連契約	-	3,305,316	-	3,305,316
金利関連契約	-	7,697,985	-	7,697,985
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	112,192	83,393	195,585
信用関連契約	-	32	-	32
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(863,289)	-	(863,289)
	8,349,055	158,678,497	13,576,766	180,604,318

公正価値で測定する金融負債:

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	6,530,753	-	6,530,753
仕組預金	-	22,772	-	22,772
借入金	-	6,507,981	-	6,507,981
デリバティブ負債	-	11,098,914	83,393	11,182,307
外国為替関連契約	-	3,958,230	-	3,958,230
金利関連契約	-	7,642,580	-	7,642,580
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	360,492	83,393	443,885
信用関連契約	-	901	-	901
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(863,289)	-	(863,289)
	-	17,629,667	83,393	17,713,060

当行	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
2020年6月30日現在				

公正価値で測定する金融資産:

純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	315,043	13,700,125	622,176	14,637,344
マネーマーケット商品	-	9,065,850	-	9,065,850
上場証券	315,043	-	-	315,043
非上場証券	-	4,634,275	622,176	5,256,451

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	15,985	81,367,710	310,685	81,694,380
マネーマーケット商品	-	32,667,492	-	32,667,492
上場証券	15,985	-	-	15,985
非上場証券	-	48,700,218	310,685	49,010,903

純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	232,280	232,280
-----------------------------	---	---	---------	---------

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	10,442,432	10,442,432
----------------------------------	---	---	------------	------------

デリバティブ資産	-	23,143,370	140,361	23,283,731
外国為替関連契約	-	4,330,422	-	4,330,422
金利関連契約	-	20,280,215	-	20,280,215
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	78,398	140,361	218,759
信用関連契約	-	214	-	214
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,545,879)	-	(1,545,879)
	331,028	118,211,205	11,747,934	130,290,167

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

以下の表は、当行グループ及び当行の、2020年6月30日現在及び2019年12月31日現在の公正価値で測定される金融及び非金融の資産並びに金融負債の公正価値ヒエラルキーのレベル毎の分析を表している。（続き）

	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
当行（続き）				
2020年6月30日現在				

公正価値で測定する金融負債：

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	9,828,570	-	9,828,570
仕組預金	-	22,766	-	22,766
借入金	-	9,805,804	-	9,805,804
デリバティブ負債	-	21,871,177	140,361	22,011,538
外国為替関連契約	-	3,635,935	-	3,635,935
金利関連契約	-	19,710,463	-	19,710,463
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	70,504	140,361	210,865
信用関連契約	-	154	-	154
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,545,879)	-	(1,545,879)
	-	31,699,747	140,361	31,840,108

	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
当行				
2019年12月31日現在				

公正価値で測定する金融資産：

純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	318,292	11,972,355	622,176	12,912,823
マネーマーケット商品	-	6,907,320	-	6,907,320
上場証券	318,292	-	-	318,292
非上場証券	-	5,065,035	622,176	5,687,211
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	18,435	80,350,611	429,654	80,798,700
マネーマーケット商品	-	33,329,630	-	33,329,630
上場証券	18,435	-	-	18,435
非上場証券	-	47,020,981	429,654	47,450,635
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	401,703	401,703
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	11,380,901	11,380,901
デリバティブ資産	-	9,918,610	83,393	10,002,003
外国為替関連契約	-	3,169,901	-	3,169,901
金利関連契約	-	7,556,412	-	7,556,412
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	47,057	83,393	130,450
信用関連契約	-	32	-	32
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(854,792)	-	(854,792)
	336,727	102,241,576	12,917,827	115,496,130

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

以下の表は、当行グループ及び当行の、2020年6月30日現在及び2019年12月31日現在の公正価値で測定される金融及び非金融の資産並びに金融負債の公正価値ヒエラルキーのレベル毎の分析を表している。（続き）

当行（続き）	市場の 相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2019年12月31日現在				
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	6,530,753	-	6,530,753
仕組預金	-	22,772	-	22,772
借入金	-	6,507,981	-	6,507,981
デリバティブ負債	-	10,504,885	83,393	10,588,278
外国為替関連契約	-	3,784,072	-	3,784,072
金利関連契約	-	7,539,308	-	7,539,308
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	35,396	83,393	118,789
信用関連契約	-	901	-	901
改訂MFRS第13号に基づくネットティング効果	-	(854,792)	-	(854,792)
	-	17,035,638	83,393	17,119,031

評価技法

相場価格（レベル1）を参照して決定されていない金融及び非金融の資産及び金融負債に使用される評価技法は以下の通りである。

デリバティブ

当行グループ及び当行のデリバティブ商品の公正価値は、割引キャッシュ・フロー分析、オプション・プライシング・モデル及びベンチマーキング・モデルを使用して決定される。

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融投資及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資

これらの金融資産及び金融投資の公正価値は、外部のデータプロバイダー及び外部のブローカーの提示価格を参照して決定される。社会経済上の目的で保有されている非上場の持分証券（レベル3に分類）の公正価値は、当該企業が有する有形資産純額に基づき決定される。

純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権、並びにその他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権

これらの公正価値は、信用力が類似した新たな借手に対する類似の貸出に提示される、報告日現在適用可能な実勢レートで割引かれた、契約上の分割支払額の将来予想キャッシュ・フローに基づき見積もられる。

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債

純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債の公正価値は、割引キャッシュ・フローを使用して決定される。

[次へ](#)

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表

当行グループ	2020 年 1 月 1 日現在 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上した * その他の利得 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上した # 未実現利得 千マレーシア・ リングット	その他の包括利 益に計上した 未実現利得 千マレーシア・ リングット	購入 / 発行 / 取得 千マレーシア・ リングット	売却 千マレーシア・ リングット	決済 千マレーシア・ リングット	為替換算差額 千マレーシア・ リングット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リングット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リングット	2020年 6 月30日現在 千マレーシア・ リングット
2020年 6 月30日現在											
純損益を通じて公正価値で測定 する金融投資											
非上場証券	807,125	-	-	-	-	-	-	22	-	-	807,147
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融投資											
非上場証券	463,260	-	-	48	-	(118,969)	-	306	-	-	344,645
純損益を通じて公正価値で測定 する貸出金及びその他の債権	401,703	-	961	-	125,873	-	(308,450)	12,193	-	-	232,280
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する貸出金及び その他の債権	11,821,285	-	-	61,063	982,497	-	(2,110,031)	107,824	-	-	10,862,638
デリバティブ資産											
エクイティ及び コモディティ関連契約	83,393	225,925	136,665	-	16,495	-	(322,117)	-	-	-	140,361
レベル3 金融資産合計	13,576,766	225,925	137,626	61,111	1,124,865	(118,969)	(2,740,598)	120,345	-	-	12,387,071
デリバティブ負債											
エクイティ及び コモディティ関連契約	(83,393)	226,115	136,665	-	(16,495)	-	(403,253)	-	-	-	(140,361)
レベル3 金融負債合計	(83,393)	226,115	136,665	-	(16,495)	-	(403,253)	-	-	-	(140,361)
レベル3 金融資産 / (負債) 純 額合計	13,493,373	452,040	274,291	61,111	1,108,370	(118,969)	(3,143,851)	120,345	-	-	12,246,710

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金繰入」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行グループ	2019年 1月1日現在 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上したその他 * の利得 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上した未実現 # 利得 / (損失) 千マレーシア・ リングット	その他の包括利 益に計上した 未実現損失 千マレーシア・ リングット	購入 / 発行 / 取得 千マレーシア・ リングット	売却 千マレーシア・ リングット	決済 千マレーシア・ リングット	為替換算差額 千マレーシア・ リングット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リングット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リングット	2019年 12月31日現在 千マレーシア・ リングット
2019年12月31日現在											
純損益を通じて公正価値で測 定する金融投資											
非上場証券	779,947	-	26,910	-	-	-	-	-	268	-	807,125
その他の包括利益を通じて公 正価値で測定する金融 投資											
非上場証券	513,355	10,339	-	(29,403)	51,131	(80,020)	-	(2,142)	-	-	463,260
純損益を通じて公正価値で測 定する貸出金及びその他の 債権											
	396,950	-	(10,573)	-	382,225	-	(365,280)	(1,619)	-	-	401,703
その他の包括利益を通じて公 正価値で測定する貸出金及 びその他の債権											
	8,968,438	-	-	(152,421)	7,227,166	-	(4,211,911)	(9,987)	-	-	11,821,285
デリバティブ資産											
エクイティ及びコモディ ティ関連契約	203,947	77,682	(83,260)	-	24,102	-	(139,078)	-	-	-	83,393
レベル3金融資産合計	10,862,637	88,021	(66,923)	(181,824)	7,684,624	(80,020)	(4,716,269)	(13,748)	268	-	13,576,766
デリバティブ負債											
エクイティ及びコモディ ティ関連契約	(203,947)	79,407	(82,551)	-	(22,903)	-	146,601	-	-	-	(83,393)
レベル3金融負債合計	(203,947)	79,407	(82,551)	-	(22,903)	-	146,601	-	-	-	(83,393)
レベル3金融資産 / (負債) 純額合計	10,658,690	167,428	(149,474)	(181,824)	7,661,721	(80,020)	(4,569,668)	(13,748)	268	-	13,493,373

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金繰入」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2020年 1月1日現在 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上したその他の * 利得 千マレーシア・ リングット	損益計算書に 計上した # 未実現利得 千マレーシア・ リングット	その他の包括利益 に計上した未実現 利得 千マレーシア・ リングット	購入 / 発行 / 取得 千マレーシア・ リングット	売却 千マレーシア・ リングット	決済 千マレーシア・ リングット	為替換算差額 千マレーシア・ リングット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リングット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リングット	2020年 6月30日現在 千マレーシア・ リングット
2020年6月30日現在											
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資											
非上場証券	622,176	-	-	-	-	-	-	-	-	-	622,176
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資											
非上場証券	429,654	-	-	-	-	(118,969)	-	-	-	-	310,685
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	401,703	-	961	-	125,873	-	(308,450)	12,193	-	-	232,280
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	11,380,901	-	-	59,540	982,497	-	(2,088,330)	107,824	-	-	10,442,432
デリバティブ資産											
エクイティ及びコモディティ関連契約	83,393	225,925	136,665	-	16,495	-	(322,117)	-	-	-	140,361
レベル3金融資産合計	12,917,827	225,925	137,626	59,540	1,124,865	(118,969)	(2,718,897)	120,017	-	-	11,747,934
デリバティブ負債											
エクイティ及びコモディティ関連契約	(83,393)	226,115	136,665	-	(16,495)	-	(403,253)	-	-	-	(140,361)
レベル3金融負債合計	(83,393)	226,115	136,665	-	(16,495)	-	(403,253)	-	-	-	(140,361)
レベル3金融資産 / (負債) 純額合計	12,834,434	452,040	274,291	59,540	1,108,370	(118,969)	(3,122,150)	120,017	-	-	11,607,573

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金戻入 / (繰入)」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2019年 1月1日現在 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に 計上したその他の * 利得 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に 計上した未実現 # 利得 / (損失) 千マレーシア・ リンギット	その他の包括利益 に計上した 未実現利得 千マレーシア・ リンギット	購入 / 発行 / 取得 千マレーシア・ リンギット	売却 千マレーシア・ リンギット	決済 千マレーシア・ リンギット	為替換算差額 千マレーシア・ リンギット	レベル3 への振替 千マレーシア・ リンギット	レベル3 からの振替 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット
2019年12月31日現在											
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資											
非上場証券	600,549	-	21,627	-	-	-	-	-	-	-	622,176
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資											
非上場証券	459,057	-	-	(29,403)	-	-	-	-	-	-	429,654
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権											
	396,950	-	(10,573)	-	382,225	-	(365,280)	(1,619)	-	-	401,703
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権											
	8,680,217	-	-	(156,333)	7,218,415	-	(4,351,411)	(9,987)	-	-	11,380,901
デリバティブ資産											
エクイティ及びコモディティ関連契約	203,947	77,682	(83,260)	-	24,102	-	(139,078)	-	-	-	83,393
レベル3金融資産合計	<u>10,340,720</u>	<u>77,682</u>	<u>(72,206)</u>	<u>(185,736)</u>	<u>7,624,742</u>	<u>-</u>	<u>(4,855,769)</u>	<u>(11,606)</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>12,917,827</u>
デリバティブ負債											
エクイティ及びコモディティ関連契約	(203,947)	79,407	(82,551)	-	(22,903)	-	146,601	-	-	-	(83,393)
レベル3金融負債合計	<u>(203,947)</u>	<u>79,407</u>	<u>(82,551)</u>	<u>-</u>	<u>(22,903)</u>	<u>-</u>	<u>146,601</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>(83,393)</u>
レベル3金融資産 / (負債) 純額合計	<u>10,136,773</u>	<u>157,089</u>	<u>(154,757)</u>	<u>(185,736)</u>	<u>7,601,839</u>	<u>-</u>	<u>(4,709,168)</u>	<u>(11,606)</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>12,834,434</u>

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金戻入 / (繰入)」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

当行グループの方針としては、報告期間末時点で公正価値ヒエラルキーの各レベルへの（各レベルからの）振替を認識することとしている。

2020年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行におけるレベル1及びレベル2間の振替はなかった。

公正価値で測定されたレベル3金融商品の増減

2020年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行におけるレベル3への（レベル3からの）振替はなかった。

[次へ](#)

A39. 関係者との信用取引から生じる信用エクスポージャー

下記の信用エクスポージャーは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項に基づいている。

	当行グループ		当行	
	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2020年 6月30日	2019年 12月31日
関係者に対する信用エクスポージャー残高（千マレーシア・リンギット）	13,078,056	15,154,533	16,540,486	25,616,177
信用エクスポージャー合計額における関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	1.6%	1.9%	3.5%	5.6%
減損 [*] 又は不履行となっている関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	-	-	-	-

^{*} 減損とは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項に示されている不良債権をいう。

[次へ](#)

A40. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書

2019年9月27日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、生命保険基金、ファミリー・タカフル・ファンド、ジェネラル・タカフル・ファンド、株主基金及び一般基金毎の内訳は以下の通りである。

(a) 2020年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

当行グループ	生命保険基金		ファミリー・タカフル・ ファンド		ジェネラル・タカフル・ ファンド		株主基金及び一般基金		合計	
	2020年 6月30日	2019年 6月30日	2020年 6月30日	2019年 6月30日	2020年 6月30日	2019年 6月30日	2020年 6月30日	2019年 6月30日	2020年 6月30日	2019年 6月30日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
受取利息	244,049	249,482	226,523	239,409	37,308	37,927	124,507	113,764	632,387	640,582
支払利息	-	-	-	-	-	-	(1,049)	(6,246)	(1,049)	(6,246)
受取利息純額	244,049	249,482	226,523	239,409	37,308	37,927	123,458	107,518	631,338	634,336
正味既経過保険料	1,679,473	1,097,665	763,958	919,304	663,487	620,653	578,903	612,767	3,685,821	3,250,389
その他の営業(損失)/収益	(162,318)	586,148	250,927	359,254	34,104	6,604	99,510	144,514	222,223	1,096,520
営業収益合計	1,761,204	1,933,295	1,241,408	1,517,967	734,899	665,184	801,871	864,799	4,539,382	4,981,245
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフル・ファンドに係る税金	(1,650,124)	(1,815,232)	(1,219,727)	(1,502,821)	(733,699)	(663,716)	(84,374)	(70,866)	(3,687,924)	(4,052,635)
純営業収益	111,080	118,063	21,681	15,146	1,200	1,468	717,497	793,933	851,458	928,610
一般管理費	(109,702)	(116,739)	(16,687)	(14,719)	(92)	(154)	(335,778)	(328,063)	(462,259)	(459,675)
減損損失前営業利益	1,378	1,324	4,994	427	1,108	1,314	381,719	465,870	389,199	468,935
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	(209)	(974)	-	(341)	-	(1,160)	(3,894)	(4,114)	(4,103)	(6,589)
金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(148)	(225)	-	(86)	-	(154)	381	(558)	233	(1,023)
その他の金融資産に対する減損損失引当金繰入、純額	(1,021)	(125)	(4,994)	-	(1,108)	-	(1,871)	(9,119)	(8,994)	(9,244)
営業利益	-	-	-	-	-	-	376,335	452,079	376,335	452,079
関連会社の利益持分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税金及びザカート前利益	-	-	-	-	-	-	376,335	452,079	376,335	452,079
税金及びザカート	-	-	-	-	-	-	(136,013)	(147,171)	(136,013)	(147,171)
当期利益	-	-	-	-	-	-	240,322	304,908	240,322	304,908

A40. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書(続き)

2019年9月27日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、生命保険基金、ファミリー・タカフル・ファンド、ジェネラル・タカフル・ファンド、株主基金及び一般基金毎の内訳は以下の通りである。(続き)

(b) 2020年6月30日現在の未監査財政状態計算書

	生命保険基金		ファミリー・タカフル・ ファンド		ジェネラル・タカフル・ ファンド		株主基金及び一般基金		合計	
	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングギット	2020年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リングギット
当行グループ										
資産										
現金及び短期資金	539,310	125,182	23,226	14,654	71,113	34,918	258,879	456,375	892,528	631,129
金融機関預け金	1,651,807	1,464,365	3,199,795	1,020,658	1,072,492	253,229	2,708,131	515,784	8,632,225	3,254,036
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した金融資産	6,657,921	6,407,316	5,801,648	6,404,318	20,228	25,704	1,146,693	1,317,121	13,626,490	14,154,459
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	3,237,338	3,703,634	499,262	480,219	27,182	21,542	249,154	362,903	4,012,936	4,568,298
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	2,427,627	1,917,511	2,549,984	3,796,314	1,013,898	1,723,489	3,352,163	4,086,067	9,343,672	11,523,381
貸出金及びその他の債権	254,605	242,940	-	-	-	-	56,919	49,193	311,524	292,133
デリバティブ資産	23,806	33,873	-	-	-	-	1,600	1,278	25,406	35,151
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権	261,897	126,453	345,959	290,270	425,876	283,068	4,019,186	3,532,298	5,052,918	4,232,089
その他の資産	58,782	36,297	25,095	20,702	3,924	3,897	443,059	340,400	530,860	401,296
投資不動産	779,265	778,810	-	-	-	-	137,628	137,580	916,893	916,390
関連会社に対する持分	-	-	-	-	-	-	152	152	152	152
有形固定資産	86,399	87,256	-	-	-	-	61,247	65,125	147,646	152,381
使用権資産	-	-	-	-	-	-	27,744	32,680	27,744	32,680
無形資産	52,555	50,291	-	-	-	-	45,012	47,973	97,567	98,264
繰延税金資産	2,869	2,963	3,366	4,429	6,328	6,247	25,194	21,654	37,757	35,293
資産合計	16,034,181	14,976,891	12,448,335	12,031,564	2,641,041	2,352,094	12,532,761	10,966,583	43,656,318	40,327,132
負債										
デリバティブ負債	35,011	-	-	-	-	-	3,212	-	38,223	-
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務	14,019,462	12,688,980	11,854,842	11,583,400	2,232,411	2,004,782	5,149,361	4,608,468	33,256,076	30,885,630
その他の負債 [#]	1,997,361	2,281,910	542,812	396,244	395,957	332,653	3,171	(897,763)	2,939,301	2,113,044
税金及びザカート引当金	(91,583)	(59,341)	(2,124)	(1,035)	-	-	199,542	98,652	105,835	38,276
繰延税金負債	73,930	65,342	52,805	52,955	12,673	14,659	323,966	319,090	463,374	452,046
負債合計	16,034,181	14,976,891	12,448,335	12,031,564	2,641,041	2,352,094	5,679,252	4,128,447	36,802,809	33,488,996
子会社の株主に帰属する資本										
株式資本	-	-	-	-	-	-	660,865	660,865	660,865	660,865
その他の剰余金	-	-	-	-	-	-	6,192,644	6,177,271	6,192,644	6,177,271
	-	-	-	-	-	-	6,853,509	6,838,136	6,853,509	6,838,136
負債及び株主資本合計	16,034,181	14,976,891	12,448,335	12,031,564	2,641,041	2,352,094	12,532,761	10,966,583	43,656,318	40,327,132

その他の負債には、無担保の生命保険基金、ジェネラル・ファンド及び投資連動型ファンドのうち、付利の対象とならず、要求払いで払戻し可能なものが含まれている。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務

A41a. 2020年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者のファンドの投資から生じた収益 (注記(a))	1,907,811	2,301,961	4,370,154	4,645,035
投資口座のファンドの投資から生じた収 益(注記(a))	265,922	268,053	516,261	546,810
イスラム金融ファンドの投資から生じた 収益(注記(a))	107,237	123,248	224,972	254,465
その他の債権に係る減損損失引当金(繰 入)ノ戻入、純額	(358,616)	26,819	(553,451)	71,230
金融投資に係る減損損失引当金(繰 入)ノ戻入、純額	(10,709)	(1,291)	(16,508)	460
その他の金融資産に係る減損損失引当金 繰入、純額	-	47	-	6
分配可能収益合計	1,911,645	2,718,837	4,541,428	5,518,006
預金者に分配された利益	(1,237,391)	(1,414,855)	(2,617,262)	(2,795,096)
投資口座保有者に分配された利益	(101,189)	(144,272)	(217,067)	(309,328)
純収益合計	573,065	1,159,710	1,707,099	2,413,582
金融費用	(122,231)	(87,792)	(248,478)	(185,673)
一般管理費	(353,573)	(383,586)	(849,582)	(794,698)
税金及びザカート前利益	97,261	688,332	609,039	1,433,211
税金	(53,270)	(157,709)	(174,154)	(335,427)
ザカート	(3,792)	675	(12,236)	(5,621)
当期利益	40,199	531,298	422,649	1,092,163

従来型の銀行業務との連結及び合併のため、イスラム金融業務からの純収益は、以下の項目から構成されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者のファンドの投資から生じた収益 (注記(a))	1,907,811	2,301,961	4,370,154	4,645,035
投資口座のファンドの投資から生じた収 益(注記(a))	265,922	268,053	516,261	546,810
イスラム金融ファンドの投資から生じた 収益(注記(a))	107,237	123,248	224,972	254,465
金融資産に係る減損損失引当金及び一般 管理費前収益合計	2,280,970	2,693,262	5,111,387	5,446,310
預金者に分配された利益	(1,237,391)	(1,414,855)	(2,617,262)	(2,795,096)
投資口座保有者に分配された利益	(101,189)	(144,272)	(217,067)	(309,328)
	942,390	1,134,135	2,277,058	2,341,886
金融費用	(122,231)	(87,792)	(248,478)	(185,673)
グループ企業間収益及び費用、純額	431,468	356,597	843,817	743,345
当行グループの損益計算書に計上された イスラム金融業務からの収益	1,251,627	1,402,940	2,872,397	2,899,558

注記(a) 新型コロナウイルス感染症による悪影響を受けた借手や顧客が事業活動を維持するために政府が打ち出した支援策による241,288,000マレーシア・リンギットの正味影響額が含まれている。

A41. イスラム金融業務(続き)

A41b. 2020年6月30日に終了した中間会計期間の未監査包括利益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
当期利益	40,199	531,298	422,649	1,092,163
その他の包括利益:				
後に純損益に再分類されない項目:				
確定給付制度の年金数理損失	-	(12)	-	(589)
税効果	-	3	-	147
	-	(9)	-	(442)
後に純損益に再分類される可能性がある項目:				
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	24	3,100	(122)	7,547
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味利得	195,178	130,586	177,947	264,124
- 公正価値の変動により生じる正味利得	258,243	169,908	232,810	347,415
- 予想信用損失の変動	(1,087)	1,456	1,011	89
- 税効果	(61,978)	(40,778)	(55,874)	(83,380)
	195,202	133,686	177,825	271,671
当期のその他の包括利益、税引後	195,202	133,677	177,825	271,229
当期の包括利益合計	235,401	664,975	600,474	1,363,392

A41. イスラム金融業務(続き)

A41c. 2020年6月30日現在の未監査財政状態計算書

当行グループ	注記	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
資産			
現金及び短期資金		14,964,497	21,732,551
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資		-	383,194
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資		17,210,760	15,292,520
償却原価で測定する金融投資		15,841,396	9,671,676
その他の債権	A41e	193,749,576	189,762,974
デリバティブ資産		350,999	200,414
その他の資産		7,057,953	4,574,547
中央銀行への法定預け金		23,428	4,242,037
有形固定資産		1,193	1,458
使用権資産		11,429	12,966
資産合計		249,211,231	245,874,337
負債			
顧客の資金			
- 顧客預金	A41f	165,723,913	161,039,137
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	22,537,623	20,737,670
金融機関預り金		34,308,325	38,827,556
支払手形及び銀行引受手形		91,725	137,893
デリバティブ負債		358,360	221,674
その他の負債		793,190	591,055
繰延税金負債		326,011	83,002
税金及びザカート引当金		18,018	37,370
期間資金調達	A41h	10,879,160	9,891,993
劣後スクーク	A41i	2,027,801	2,028,311
資本性証券	A41j	1,002,170	1,002,170
負債合計		238,066,296	234,597,831
イスラム金融資本ファンド			
イスラム金融ファンド		7,934,444	7,202,398
利益剰余金		2,097,916	2,887,335
その他の準備金		1,112,575	1,186,773
		11,144,935	11,276,506
負債及びイスラム金融資本ファンド合計		249,211,231	245,874,337
コミットメント及び偶発事象		62,835,375	63,976,328

¹ 顧客の投資口座は、注記A41e(ii)に開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41d. 2020年6月30日に終了した中間会計期間のイスラム金融資本ファンドの未監査変動計算書

当行グループ	分配不能部分							
	イスラム金融	規制準備金	FVTOCI評価差額	外国為替換算	持株会社からの	確定給付準備金	分配可能な	合計
	ファンド		準備金	準備金	資本拠出金 ¹		利益剰余金	
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2020年1月1日現在	7,202,398	846,497	338,320	259	1,697	-	2,887,335	11,276,506
当期利益	-	-	-	-	-	-	422,649	422,649
その他の包括利益/(損失)	-	-	177,947	(122)	-	-	-	177,825
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(122)	-	-	-	(122)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融投資に係る正味利得	-	-	177,947	-	-	-	-	177,947
当期の包括利益/(損失)合計	-	-	177,947	(122)	-	-	422,649	600,474
普通株式の発行	732,046	-	-	-	-	-	-	732,046
規制準備金からの振替	-	(252,023)	-	-	-	-	252,023	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-	(1,464,091)	(1,464,091)
2020年6月30日現在	7,934,444	594,474	516,267	137	1,697	-	2,097,916	11,144,935

¹ この持株会社からの資本拠出金は、子会社とその持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41d. 2020年6月30日に終了した中間会計期間のイスラム金融資本ファンドの未監査変動計算書（続き）

< ----- 分配不能部分 ----- >								
当行グループ	イスラム金融 ファンド 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替換算 準備金 千マレーシア・ リンギット	持株会社からの 資本拠出金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	確定給付準備金 千マレーシア・ リンギット	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
2019年1月1日現在	7,473,540	313,516	(5,865)	(473)	1,697	808	3,050,868	10,834,091
当期利益	-	-	-	-	-	-	1,092,163	1,092,163
その他の包括利益/(損失)	-	-	264,124	7,547	-	(442)	-	271,229
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	7,547	-	-	-	7,547
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融投資に係る正味利得	-	-	264,124	-	-	-	-	264,124
確定給付制度の年金数理損失	-	-	-	-	-	(442)	-	(442)
当期の包括利益合計	-	-	264,124	7,547	-	(442)	1,092,163	1,363,392
従来型銀行業務からの/(への)振替	6,378	-	-	(6,985)	-	18	(3,343)	(3,932)
規制準備金への振替	-	281,237	-	-	-	-	(281,237)	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-	(1,233,632)	(1,233,632)
2019年6月30日現在	7,479,918	594,753	258,259	89	1,697	384	2,624,819	10,959,919

¹ この持株会社からの資本拠出金は、子会社とその持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権

当行グループ	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日終了 千マレーシア・ リンギット
顧客向その他の債権:		
(A) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する顧客向その他の債権	420,206	440,383
(B) 償却原価で測定する顧客向その他の債権	281,461,370	280,650,934
	<u>281,881,576</u>	<u>281,091,317</u>
前受収益	(85,349,937)	(89,087,920)
その他の債権総額	<u>196,531,639</u>	<u>192,003,397</u>
その他の債権に対する減損引当金		
- ステージ 1 : 12カ月ECL	(546,923)	(371,029)
- ステージ 2 : 全期間ECL (信用減損なし)	(1,006,048)	(616,576)
- ステージ 3 : 全期間ECL (信用減損あり)	(1,229,092)	(1,252,818)
その他の債権純額	<u>193,749,576</u>	<u>189,762,974</u>

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

当行グループ	アル・イジャラ サンマ・アル・バイ				イジャラ ³	その他	その他の債権 合計
	バイ ¹ 千マレーシア・ リンギット	ムラバハ 千マレーシア・ リンギット	ムシャラカ 千マレーシア・ リンギット	(AITAB) ² 千マレーシア・ リンギット			
2020年6月30日現在							
キャッシングローン	-	6,257,956	-	-	-	-	6,257,956
期間貸出							
- 住宅ローン	14,285,183	73,617,310	1,937,114	-	-	613	89,840,220
- シンジケートローン	-	6,219,372	-	-	-	-	6,219,372
- 分割払債権	-	6,376,416	-	34,705,411	-	-	41,081,827
- リース債権	-	-	-	-	241,963	-	241,963
- その他の期間貸出	11,904,828	103,296,628	650,105	-	-	8,931	115,860,492
受取手形	-	-	-	-	-	97	97
貨物貸渡	-	96,997	-	-	-	-	96,997
引受為替手形求償権	-	3,922,511	-	-	-	-	3,922,511
従業員向貸出	418,822	1,967,025	8,525	173,998	-	31,298	2,599,668
クレジットカード債権	-	-	-	-	-	1,151,231	1,151,231
リボルビングクレジット	-	14,583,150	-	-	-	-	14,583,150
株式信用取引	-	16,950	-	-	-	-	16,950
その他の貸出：							
- 当行の取締役向貸出	-	6,452	-	-	-	85	6,537
- 子会社の取締役向貸出	-	2,239	-	269	-	97	2,605
	26,608,833	216,363,006	2,595,744	34,879,678	241,963	1,192,352	281,881,576
前受収益							(85,349,937)
その他の債権総額 ⁴							196,531,639
その他の債権に対する減損引当金：							
- ステージ1 - 12カ月ECL							(546,923)
- ステージ2 - 全期間ECL（信用減損なし）							(1,006,048)
- ステージ3 - 全期間ECL（信用減損あり）							(1,229,092)
その他の債権純額							193,749,576

¹ バイは、バイ・ピタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダインから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、制限付利益分配投資口座（「RPSIA」）及び顧客の投資口座（「IA」）の原資産が含まれている。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

当行グループ	アル・イジャラ サンマ・アル・バイ						その他の債権 合計
	バイ ¹ 千マレーシア・ リンギット	ムラバハ 千マレーシア・ リンギット	ムシャラカ 千マレーシア・ リンギット	(AITAB) ² 千マレーシア・ リンギット	イジャラ ³ 千マレーシア・ リンギット	その他 千マレーシア・ リンギット	
2019年12月31日現在							
キャッシングローン	-	6,780,832	-	-	-	-	6,780,832
期間貸出							
- 住宅ローン	14,680,463	70,986,581	1,975,592	-	-	616	87,643,252
- シンジケートローン	-	7,000,329	-	-	-	-	7,000,329
- 分割払債権	-	4,195,944	-	36,895,190	-	-	41,091,134
- リース債権	-	-	-	-	195,334	-	195,334
- その他の期間貸出	13,743,113	99,727,445	808,372	-	-	17,846	114,296,776
貨物貸渡	-	140,437	-	-	-	-	140,437
引受為替手形求償権	-	5,275,548	-	-	-	-	5,275,548
従業員向貸出	445,245	1,889,985	8,753	175,080	636	42,796	2,562,495
クレジットカード債権	-	-	-	-	-	1,269,625	1,269,625
リボルビングクレジット	-	14,808,884	-	-	-	-	14,808,884
株式信用取引	-	19,594	-	-	-	-	19,594
その他の貸出：							
- 当行の取締役向貸出	-	6,318	-	299	-	138	6,755
- 子会社の取締役向貸出	-	322	-	-	-	-	322
	28,868,821	210,832,219	2,792,717	37,070,569	195,970	1,331,021	281,091,317
前受収益							(89,087,920)
その他の債権総額 ⁴							192,003,397
その他の債権に対する減損引当金：							
- ステージ1 - 12カ月ECL							(371,029)
- ステージ2 - 全期間ECL（信用減損なし）							(616,576)
- ステージ3 - 全期間ECL（信用減損あり）							(1,252,818)
その他の債権純額							189,762,974

¹ バイは、バイ・ビタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダインから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者である、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、制限付利益分配投資口座（「RPSIA」）及び顧客の投資口座（「IA」）の原資産が含まれている。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

(i) 減損したその他の債権（「減損債権」）の変動は以下の通りである。

	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
1月1日現在	2,519,615	2,094,107
新規減損額	233,050	996,099
非減損債権への分類変更	(380,415)	(118,390)
回収額	(283,105)	(92,496)
貸倒償却額	(145,537)	(359,705)
2020年6月30日 / 2019年12月31日現在の減損債権総額	<u>1,943,608</u>	<u>2,519,615</u>
控除：ステージ3 全期間ECL（信用減損あり）	<u>(1,229,092)</u>	<u>(1,252,818)</u>
2020年6月30日 / 2019年12月31日現在の正味減損債権	<u>714,516</u>	<u>1,266,797</u>
<u>正味減損債権（RPSIA及びIA債権を除く）の比率計算：</u>		
2020年6月30日 / 2019年12月31日現在の減損債権総額	1,802,748	2,395,279
控除：ステージ3 全期間ECL（信用減損あり）	<u>(1,229,092)</u>	<u>(1,252,818)</u>
2020年6月30日 / 2019年12月31日現在の正味減損債権	<u>573,656</u>	<u>1,142,461</u>
その他の債権総額	145,946,072	153,974,212
控除：償却原価及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する減損したその他の債権に対する引当金	<u>(2,785,133)</u>	<u>(2,243,324)</u>
正味その他の債権	<u>143,160,939</u>	<u>151,730,888</u>
正味その他の債権に対する正味減損債権の割合	<u>0.40%</u>	<u>0.75%</u>

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

(ii) その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
2020年 6 月30日現在				
2020年 1 月 1 日現在	523	2,378	-	2,901
モデル/リスク・パラメーターの変動	(2)	171	-	169
2020年 6 月30日現在	521	2,549	-	3,070

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
2019年12月31日現在				
2019年 1 月 1 日現在	1,399	3,800	-	5,199
モデル/リスク・パラメーターの変動	(876)	(1,422)	-	(2,298)
2019年12月31日現在	523	2,378	-	2,901

償却原価で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
2020年 6 月30日現在				
2020年 1 月 1 日現在	371,029	616,576	1,252,818	2,240,423
ステージ 1 への移動	126,733	(121,732)	(5,001)	-
ステージ 2 への移動	(19,558)	221,205	(201,647)	-
ステージ 3 への移動	(1,249)	(22,792)	24,041	-
引当金の再測定純額	64,277	252,925	274,186	591,388
新たに組成又は購入した金融資産	94,445	54,137	-	148,582
認識が中止された金融資産	(47,617)	(62,331)	(66,315)	(176,263)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(42,759)	57,765	-	15,006
制限付投資口座関連額*	383	9,993	87,476	97,852
貸倒償却額	-	-	(145,537)	(145,537)
為替換算差額	1,239	302	9,071	10,612
2020年 6 月30日現在	546,923	1,006,048	1,229,092	2,782,063

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

(ii) その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

償却原価で測定（続き）

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2019年12月31日現在				
2019年1月1日現在	510,311	984,565	1,055,811	2,550,687
ステージ1への移動	210,983	(201,830)	(9,153)	-
ステージ2への移動	(26,947)	94,232	(67,285)	-
ステージ3への移動	(1,866)	(86,803)	88,669	-
引当金の再測定純額	(210,195)	34,631	517,854	342,290
新たに組成又は購入した金融資産	128,082	119,126	-	247,208
認識が中止された金融資産	(59,155)	(168,531)	(205,786)	(433,472)
モデル/リスク・パラメーターの 変動	(197,209)	(163,389)	1,683	(358,915)
制限付投資口座関連額 [*]	17,221	5,530	238,801	261,552
貸倒償却額	-	-	(359,705)	(359,705)
為替換算差額	(196)	(955)	(8,071)	(9,222)
2019年12月31日現在	371,029	616,576	1,252,818	2,240,423

* 2020年6月30日現在、RPSIA債権の総エクスポージャーは、28,047.9百万マレーシア・リンギット（2019年12月31日：17,291.5百万マレーシア・リンギット）であった。当該債権に係る予想信用損失416.3百万マレーシア・リンギット（2019年12月31日：263.7百万マレーシア・リンギット）は、その他の債権並びに銀行及びその他金融機関への預け金の減少として反映されている。

2020年6月30日現在、IA債権の総エクスポージャーは22,537.6百万マレーシア・リンギット（2019年12月31日：20,737.7百万マレーシア・リンギット）であった。

A41f. 顧客預金

	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
貯蓄預金		
カルド	22,483,174	17,504,325
要求払預金		
カルド	26,901,236	19,704,595
定期預金		
ムラバハ	115,217,027	123,236,922
カルド	1,122,476	593,295
	116,339,503	123,830,217
顧客預金合計	165,723,913	161,039,137

A41. イスラム金融業務（続き）

A41g. 顧客の投資口座

	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
ムダラバ		
制限のない投資口座	22,537,623	20,616,075
制限付投資口座*	-	121,595
	<u>22,537,623</u>	<u>20,737,670</u>

* 制限付投資口座によって資金調達した金融資産に関連する予想信用損失控除後の金額。

(i) 投資口座の顧客種類別構成は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 千マレーシア・ リンギット	制限付投資口座 千マレーシア・ リンギット	投資口座合計 千マレーシア・ リンギット
2020年6月30日現在			
事業会社	12,548,058	-	12,548,058
個人	8,795,111	-	8,795,111
政府及び特殊法人	103,955	-	103,955
その他	1,090,499	-	1,090,499
	<u>22,537,623</u>	<u>-</u>	<u>22,537,623</u>
2019年12月31日現在			
事業会社	10,538,830	121,595	10,660,425
個人	8,922,749	-	8,922,749
政府及び特殊法人	95,817	-	95,817
その他	1,058,679	-	1,058,679
	<u>20,616,075</u>	<u>121,595</u>	<u>20,737,670</u>

(ii) 投資口座の満期構成は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 千マレーシア・ リンギット	制限付投資口座 千マレーシア・ リンギット	投資口座合計 千マレーシア・ リンギット
2020年6月30日現在			
- 満期の定めなし	16,467,537	-	16,467,537
- 満期の定めあり			
6カ月以内	4,987,097	-	4,987,097
6カ月超1年以内	1,062,855	-	1,062,855
1年超3年以内	15,902	-	15,902
3年超5年以内	4,232	-	4,232
	<u>6,070,086</u>	<u>-</u>	<u>6,070,086</u>
顧客の投資口座合計	<u>22,537,623</u>	<u>-</u>	<u>22,537,623</u>

A41. イスラム金融業務（続き）

A41g. 顧客の投資口座（続き）

(ii) 投資口座の満期構成は以下の通りである。（続き）

当行グループ	制限のない投資口座 千マレーシア・ リンギット	制限付投資口座 千マレーシア・ リンギット	投資口座合計 千マレーシア・ リンギット
2019年12月31日現在			
- 満期の定めなし	13,387,845	-	13,387,845
- 満期の定めあり			
6 カ月以内	5,577,342	121,595	5,698,937
6 カ月超 1 年以内	1,633,073	-	1,633,073
1 年超 3 年以内	15,045	-	15,045
3 年超 5 年以内	2,770	-	2,770
	7,228,230	121,595	7,349,825
顧客の投資口座合計	20,616,075	121,595	20,737,670

(iii) 投資資産の配分は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 千マレーシア・ リンギット	制限付投資口座 千マレーシア・ リンギット	投資口座合計 千マレーシア・ リンギット
2020年6月30日現在			
リテール貸出金	21,305,259	-	21,305,259
非リテール貸出金	1,232,364	-	1,232,364
	22,537,623	-	22,537,623
2019年12月31日現在			
リテール貸出金	18,855,165	-	18,855,165
非リテール貸出金	1,760,910	121,595	1,882,505
	20,616,075	121,595	20,737,670

(iv) 利益分配率及び利回りは以下の通りである。

当行グループ	投資口座保有者（「IAH」）	
	平均利益分配率 （％）	平均利回り （％）
2020年6月30日現在		
制限のない投資口座	41.53	1.98
制限付投資口座	99.95	4.03
2019年12月31日現在		
制限のない投資口座	51.62	2.61
制限付投資口座	99.95	4.19

A41. イスラム金融業務（続き）

A41h. 期間資金調達

	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
無担保期間資金調達		
(i) コマーシャル・ペーパー		
- 1年未満	7,924,302	7,888,771
(ii) ミディアム・ターム・ノート		
- 1年超	2,002,992	2,003,222
(iii) 期間資金調達		
- 1年超（注記（a））	951,866	-
期間資金調達合計	<u>10,879,160</u>	<u>9,891,993</u>

注記(a)：メイバンク・イスラミック・ベルハッドが受領した期間資金には、政府融資制度に基づいて期間6年で2026年6月17日を返済期限として当行が受領した金額の一部が含まれている。これは新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対応するための政府支援策の一環として、市場金利よりも低率で中小企業向け融資に充てるためのものである。この資金調達は、中小企業に優遇利率で融資するための原資であり、新型コロナウイルス関連の救済措置でもある。

A41i. 劣後スクーク

	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
償還期限2026年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後 スクーク・ムラバハ	1,017,198	1,017,708
償還期限2029年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後 スクーク・ムラバハ	<u>1,010,603</u>	<u>1,010,603</u>
	<u>2,027,801</u>	<u>2,028,311</u>

A41j. 資本性証券

	2020年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2019年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
1.0十億マレーシア・リンギットのその他Tier 1 スクーク・ワカラ	<u>1,002,170</u>	<u>1,002,170</u>

[次へ](#)

パートB: プルサ・マレーシア証券取引所の上場要件に係る付属書類 9Bに関する注記**B1. 業績評価****(i) 前年同期と比較した当期の業績**

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後利益は2,991.4百万マレーシア・リングgitとなり、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ758.7百万マレーシア・リングgit、率にして20.2%減少した。

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ269.3百万マレーシア・リングgit、率にして3.1%減少し、8,481.4百万マレーシア・リングgitとなった。

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの保険子会社及びタカフル子会社からの正味既経過保険料は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ435.4百万マレーシア・リングgit、率にして13.4%増加し、3,685.8百万マレーシア・リングgitとなった。

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループのその他の営業収益は、2019年6月30日に終了した前年同期の3,657.7百万マレーシア・リングgitから102.8百万マレーシア・リングgit、率にして2.8%増加し、3,760.5百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間に、投資収益に係る正味利得が597.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、デリバティブの再評価に係る未実現時価評価益が744.3百万マレーシア・リングgit増加したこと、FVTPL金融負債に係る未実現時価評価損失が528.6百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかし、この増加は、2019年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にFVTPL金融投資に係る未実現評価益を257.2百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2020年6月30日に終了した6カ月間にFVTPL金融資産の再評価に係る未実現時価評価益が595.2百万マレーシア・リングgit減少したこと、及び2019年6月30日に終了した前年同期にFVTPL金融投資に係る未実現時価評価益257.2百万マレーシア・リングgitを計上したのに対し、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にFVTPL金融投資に係る未実現時価評価損161.6百万マレーシア・リングgitを計上したこと、2019年6月30日に終了した前年同期にデリバティブに係る実現利益を403.6百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にはデリバティブに係る実現損失0.1百万マレーシア・リングgitを計上したこと、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間に外国為替換算差益が286.7百万マレーシア・リングgit減少したことのほか、手数料収入が65.4百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの一般管理費は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ19.0百万マレーシア・リングgit、率にして0.3%増加し、5,648.3百万マレーシア・リングgitとなった。この一般管理費の増加は、主に管理費及び一般経費が71.9百万マレーシア・リングgit、人件費が27.4百万マレーシア・リングgit、設備費が26.4百万マレーシア・リングgitそれぞれ増加したことによる。しかし、この増加はマーケティング費用が106.6百万マレーシア・リングgit減少したことにより軽減されている。

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ、1,705.3百万マレーシア・リングgit、率にして171.3%増加し、2,700.9百万マレーシア・リングgitとなった。

B1. 業績評価（続き）**(i) 前年同期と比較した当期の業績（続き）**

2019年6月30日に終了した前年同期と比較した2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの税金及びザカート前利益に関する、当行グループの事業セグメント別の内容は以下の通りである。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2020年6月30日に終了した6カ月間のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の3,137.4百万マレーシア・リングgitから1,435.6百万マレーシア・リングgit、率にして45.8%減少し、1,701.8百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は、主に貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が、前年同期の145.8百万マレーシア・リングgitの戻入から当期に925.8百万マレーシア・リングgitの繰入となったことと、その他の営業収益が163.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、及び受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が155.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに一般管理費が45.1百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門**

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門の税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の1,871.2百万マレーシア・リングgitから4.0百万マレーシア・リングgit、率にして0.2%増加し、1,875.2百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は、主にその他の営業収益が529.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が92.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が22.8百万マレーシア・リングgit増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が11.7百万マレーシア・リングgit減少したことによるものである。しかし、この増加は、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が631.3百万マレーシア・リングgit増加したこと、及び一般管理費が21.6百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

b) グループ・投資銀行部門（メイバンクIB及びメイバンク・キム・エン）

当行グループの投資銀行部門は、2019年6月30日に終了した前年同期に13.6百万マレーシア・リングgitの税金及びザカート前利益を計上したのに対し、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間における税金及びザカート前利益は106.9百万マレーシア・リングgit増加し、120.5百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が116.0百万マレーシア・リングgit増加したこと、一般管理費が19.2百万マレーシア・リングgit減少したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が0.5百万マレーシア・リングgit減少したこと、及び関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が0.2百万マレーシア・リングgit増加したことによる。ただし、この利益は、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が24.1百万マレーシア・リングgit減少したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が4.9百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

c) グループ・資産運用部門

グループ・資産運用部門は、2019年6月30日に終了した前年同期に税金及びザカート前利益3.0百万マレーシア・リングgitを計上したのに対し、2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には2.9百万マレーシア・リングgitの税金及びザカート前損失を計上した。この損失は、主にその他の営業収益が34.5百万マレーシア・リングgit減少したこと、受取利息純額が1.1百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。しかし、この損失は一般管理費が29.8百万マレーシア・リングgit減少したことにより軽減されている。

B1. 業績評価（続き）**(i) 前年同期と比較した当期の業績（続き）****グループ・保険及びタカフル事業部門**

2020年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の456.3百万マレーシア・リンギットから73.5百万マレーシア・リンギット、率にして16.1%減少し、382.8百万マレーシア・リンギットとなった。この減少は主に、その他の営業収益が873.1百万マレーシア・リンギット減少したこと、受取利息純額が3.1百万マレーシア・リンギット減少したこと、及び一般管理費が1.3百万マレーシア・リンギット増加したことによるものであった。ただしこの減少は、正味既経過保険料が435.4百万マレーシア・リンギット増加したこと、保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金が364.7百万マレーシア・リンギット減少したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が2.5百万マレーシア・リンギット減少したこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が1.5百万マレーシア・リンギット減少したことにより軽減されている。

(ii) 前年同期と比較した当四半期の業績

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後当期利益は、941.7百万マレーシア・リンギットとなり、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ999.2百万マレーシア・リンギット、率にして51.5%減少した。

当行グループの2020年6月30日に終了した四半期の受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ351.0百万マレーシア・リンギット、率にして8.2%減少して3,949.5百万マレーシア・リンギットとなった。

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの保険子会社及びタカフル子会社からの正味既経過保険料は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ117.1百万マレーシア・リンギット、率にして7.2%増加し、1,740.9百万マレーシア・リンギットとなった。

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループのその他の営業収益は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ447.6百万マレーシア・リンギット増加し、2,427.4百万マレーシア・リンギットとなった。この増加は主に、FVTPL金融投資の再評価に係る未実現時価評価益が579.8百万マレーシア・リンギット増加したこと、2019年6月30日に終了した前年同期にFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価損363.5百万マレーシア・リンギットを計上したのに対し、2020年6月30日に終了した四半期にはFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価益147.0百万マレーシア・リンギットを計上したこと、FVTPL金融資産の再評価に係る未実現時価評価益が324.1百万マレーシア・リンギット増加したこと、及び投資収益に係る正味利得が42.6百万マレーシア・リンギット増加したことによるものであった。ただしこの増加は、2019年6月30日に終了した前年同期にデリバティブの再評価に係る未実現時価評価益を35.9百万マレーシア・リンギット計上したことに比べ、2020年6月30日に終了した四半期にデリバティブの再評価に係る未実現時価評価損を565.3百万マレーシア・リンギット計上したこと、デリバティブに係る実現利益が259.8百万マレーシア・リンギット減少したこと、及び手数料収入が112.2百万マレーシア・リンギット減少したことにより相殺されている。

当行グループの2020年6月30日に終了した四半期の一般管理費は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ115.4百万マレーシア・リンギット、率にして4.1%減少し、2,706.3百万マレーシア・リンギットとなった。この一般管理費の減少は主に、マーケティング費用が74.6百万マレーシア・リンギット、管理費及び一般経費が37.9百万マレーシア・リンギット、人件費が12.6百万マレーシア・リンギット減少したことによるものであった。しかし、この減少は、設備費の9.7百万マレーシア・リンギットの増加により相殺されている。

当行グループの2020年6月30日に終了した四半期の貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2019年6月30日に終了した前年同期に比べ1,347.7百万マレーシア・リンギット、率にして344.1%増加し、1,739.3百万マレーシア・リンギットとなった。

B1. 業績評価（続き）**(ii) 前年同期と比較した当四半期の業績（続き）**

2019年6月30日に終了した前年同期と比較した2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの税金及びザカート前利益に関する、当行グループの事業セグメント別の内容は以下の通りである。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2020年6月30日に終了した四半期のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の1,596.0百万マレーシア・リングgitから1,102.6百万マレーシア・リングgit、率にして69.1%減少し、493.4百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が前年同期の149.3百万マレーシア・リングgitの戻入から621.1百万マレーシア・リングgitの繰入となったこと、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が202.7百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びにその他の営業収益が191.2百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。ただしこの減少は、一般管理費が61.4百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門**

2020年6月30日に終了した四半期のグループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門の税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の938.9百万マレーシア・リングgitから332.1百万マレーシア・リングgit、率にして35.4%減少し、606.8百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が574.4百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。ただしこの減少は、その他の営業収益が149.6百万マレーシア・リングgit増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が48.0百万マレーシア・リングgit減少したこと、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が22.9百万マレーシア・リングgit増加したこと、関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が18.4百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、一般管理費が3.4百万マレーシア・リングgit減少したことにより軽減されている。

b) グループ・投資銀行部門（メイバングIB及びメイバンク・キム・エン）

グループ・投資銀行部門の2020年6月30日に終了した四半期の税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の15.3百万マレーシア・リングgitから79.2百万マレーシア・リングgit増加し、94.5百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が70.6百万マレーシア・リングgit増加したこと、一般管理費が19.3百万マレーシア・リングgit減少したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金戻入額が2.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が1.6百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。ただし、この増加は、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が14.6百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

c) グループ・資産運用部門

グループ・資産運用部門の2020年6月30日に終了した四半期の税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の6.6百万マレーシア・リングgitから3.8百万マレーシア・リングgit減少して、2.8百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、その他の営業収益が20.8百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。しかし、この減少は、一般管理費が15.8百万マレーシア・リングgit減少したことと受取利息純額が1.3百万マレーシア・リングgit増加したことにより軽減されている。

B1. 業績評価（続き）**(ii) 前年同期と比較した当四半期の業績（続き）****グループ・保険及びタカフル事業部門**

2020年6月30日に終了した四半期のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2019年6月30日に終了した前年同期の210.4百万マレーシア・リングgitから118.6百万マレーシア・リングgit、率にして56.4%増加し、329.0百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が424.1百万マレーシア・リングgit増加したこと、正味既経過保険料が117.2百万マレーシア・リングgit増加したこと、一般管理費が15.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額の純額が5.7百万マレーシア・リングgit減少したことによるものである。ただしこの増加は、保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金が432.9百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が0.3百万マレーシア・リングgitの戻入から4.0百万マレーシア・リングgitの繰入となったこと、並びに受取利息純額が6.3百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

B2. 当四半期実績の前四半期からの変動

2020年6月30日に終了した当四半期の株主に帰属する当行グループの税金及びザカート控除後利益は、2020年3月31日に終了した前四半期の2,049.7百万マレーシア・リングgitから1,108.0百万マレーシア・リングgit減少し、941.7百万マレーシア・リングgitとなった。

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの受取利息純額は、前四半期の2,911.2百万マレーシア・リングgitから213.3百万マレーシア・リングgit減少し、2,697.9百万マレーシア・リングgitとなった。2020年6月30日に終了した当四半期のイスラム金融業務からの収益は、2020年3月31日に終了した前四半期の1,620.8百万マレーシア・リングgitから369.2百万マレーシア・リングgit減少し、1,251.6百万マレーシア・リングgitとなった。

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの正味既経過保険料は、2020年3月31日に終了した前四半期の1,944.9百万マレーシア・リングgitから204.0百万マレーシア・リングgit減少し、1,740.9百万マレーシア・リングgitとなった。

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループのその他の営業収益は、2020年3月31日に終了した前四半期の1,333.1百万マレーシア・リングgitから1,094.3百万マレーシア・リングgit増加し、2,427.4百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、2020年3月31日に終了した前四半期に、再評価に係る未実現時価評価損をFVTPL金融資産について480.3百万マレーシア・リングgit、FVTPL金融投資について870.8百万マレーシア・リングgit、FVTPL金融負債について437.2百万マレーシア・リングgitそれぞれ計上したことに加え、2020年6月30日に終了した四半期には、再評価に係る未実現時価評価益をFVTPL金融資産について669.2百万マレーシア・リングgit、FVTPL金融投資について709.2百万マレーシア・リングgit、FVTPL金融負債について147.0百万マレーシア・リングgitそれぞれ計上したことに加え、2020年3月31日に終了した前四半期に外国為替換算差損を51.5百万マレーシア・リングgit、デリバティブに係る実現損失を6.1百万マレーシア・リングgit計上したのに比べ、2020年6月30日に終了した四半期に外国為替換算差益を197.3百万マレーシア・リングgit、デリバティブに係る実現利益を6.0百万マレーシア・リングgit計上したことによる。ただしこの増加は、2020年3月31日に終了した前四半期に、デリバティブの再評価に係る未実現時価評価益を1,506.5百万マレーシア・リングgit計上したことに加え、2020年6月30日に終了した四半期にデリバティブの再評価に係る未実現時価評価損を565.3百万マレーシア・リングgit計上したことのほか、投資収益純額が293.6百万マレーシア・リングgit減少したことと手数料収入が126.7百万マレーシア・リングgit減少したことにより相殺されている。

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金は、2020年3月31日に終了した前四半期の1,085.8百万マレーシア・リングgitから1,383.4百万マレーシア・リングgit増加し、2,469.2百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、保険子会社及びタカフル子会社の保険給付金及び支払保険金純額が1,303.1百万マレーシア・リングgit増加したことによる。

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの一般管理費は、2020年3月31日に終了した前四半期の2,942.0百万マレーシア・リングgitから235.7百万マレーシア・リングgit減少し、2,706.3百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、管理費及び一般経費が120.9百万マレーシア・リングgit、人件費が83.0百万マレーシア・リングgit、マーケティング費用が32.2百万マレーシア・リングgitそれぞれ減少したことによる。

B2. 当四半期実績の前四半期からの変動（続き）

2020年6月30日に終了した四半期の当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2020年3月31日に終了した前四半期の961.7百万マレーシア・リングgitから777.6百万マレーシア・リングgit増加し、1,739.3百万マレーシア・リングgitとなった。

B3. 見通し

2020年第2四半期の世界のGDP成長率は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを封じ込めるためのロックダウンが世界各地で実施されたことにより、2020年第1四半期の前年同期比-2.1%に対し、前年同期比-10%まで縮小すると見込まれている。ロックダウンの解除に伴い、移動制限が緩和し、事業活動が再開するとともに、サプライチェーンが回復し、これまで抑制されてきた需要が回復し、GDPは2020年下半年に回復することが期待されている。

しかし、世界の経済見通しは引き続き、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響次第となっている。2020年は景気が低迷し、2021年に回復するというベースラインシナリオは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが年内に封じ込められるという前提に基づいている。しかし、パンデミックが来年まで続く場合、2020年の景気低迷がさらに深刻化し、2021年の景気回復は遅れ、回復の度合いもきわめて弱いものになると見込まれる。

パンデミックによって長期化する経済への影響のマイナス面をさらに悪化させているのは、労働者保護や事業支援を目的とした支払猶予、助成金、納税繰延といった時限的な金融・財政上の軽減措置の終了後に倒産や失業が急増するリスクである。パンデミックがもたらす不確定要素に加え、米中間の緊張関係の再燃も世界経済の見通しに暗い影をもたらしている。

政策の「崖」を軽減するため、マレーシアとシンガポール両政府は賃金助成制度や職業支援制度を延長している。これに加え、マレーシアの銀行は、貸出・融資の返済猶予措置が自動的に失効する2020年9月30日から利用可能な、対象を絞った返済計画を継続する予定である。

マレーシアの2020年第2四半期のGDP成長率は、供給サイドでは製造業、サービス業、建設業、鉱業が縮小し、需要サイドでは個人消費、投資、純輸出が減少したことを受け、前年同期比-17.1%のマイナス成長となった。2020年第2四半期以降も、マレーシア政府が景気回復を促す支援策を継続することが望まれる。

シンガポールでは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「サーキット・ブレーカー」措置と入国規制によりサービス業や建設業に混乱が生じ、2020年第2四半期のGDP成長率は同様に、前年同期比-13.2%と、過去最大の落ち込みを記録した。経済再開の遅れや入国規制の継続、厳格なソーシャル・ディスタンスに関する規制の継続により、2020年下半年の景気回復の勢いは弱まるとみられる。

インドネシアの2020年第2四半期のGDP成長率は、前年同期比-5.3%のマイナス成長となった。全国的な景気回復対策の実施に加え、経済の段階的な再開により、2020年下半年の成長率は比較的良好に推移する見込みである。ただし、景気回復の時期と強さは未だ不透明で、引き続き政策支援が必要になるとみられることから、財政赤字の上限を対GDP比3%に抑える政策は2022年まで延期されている。

外部環境の厳しさが予想される中、当行グループは自己資本と流動性の増強を優先し、当行グループのリスク選好に合った選択的なバランスシートの拡大を継続し、継続的なコスト規律の重視を維持する意向である。2020年には主要市場で大幅な金利引き下げが行われたため、当行グループの正味利鞘は縮小されるとみられるものの、当行グループは、低コストの当座預金や普通預金を増やすことでこの影響を相殺する所存である。

我々は自国市場の国内経済の支援に引き続き力を入れ、影響を被った借手に対して、雇用を支援し目先の事業破綻を防ぐための実行可能な対応策を行うべく確実を期す予定である。また、顧客と積極的に関わり、景気減速下における潜在的な資産内容の悪化に対処する意向である。

当グループはさまざまな事業を活用して収益成長を促進し、デジタル・イノベーションを通じて顧客体験価値を強化し、生産性の改善に向けて当行グループ従業員のスキル向上を継続する意向である。

B3. 見通し（続き）

新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる経済見通しが弱含みであることや市場の変化を踏まえ、貸出の伸びの鈍化、正味利鞘の縮小や条件変更による初日損失による利益減少を背景に、当行グループは2020年度の重要業績評価指標（KPI）である株主資本利益率（ROE）目標を7.5%前後に引き下げた。また、当行グループの貸倒引当も引き続き高水準を維持すると見込まれる。当行グループは、一般管理費の増加を抑制する戦略的コスト管理プログラムの強化により、予想される収益減少を抑える意向である。

B4. 利益予測又は利益保証

当行グループ及び当行は、2020年6月30日に終了した中間会計期間に関する利益予測も利益保証も一切行っていない。

B5. 税金及びザカート

2020年6月30日に終了した中間会計期間における税金費用は以下の通りである。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
マレーシア法人税	(89,563)	606,317	542,611	949,547
外国法人税	62,599	69,604	159,095	147,494
	<u>(26,964)</u>	<u>675,921</u>	<u>701,706</u>	<u>1,097,041</u>
前期における超過引当：				
外国法人税	(24,596)	(4,646)	(25,338)	(9,979)
	<u>(51,560)</u>	<u>671,275</u>	<u>676,368</u>	<u>1,087,062</u>
繰延税金				
- 一時差異の当期発生及び解消関				
連	<u>270,010</u>	<u>(6,376)</u>	<u>281,594</u>	<u>141,677</u>
当期税金費用	218,450	664,899	957,962	1,228,739
ザカート	10,661	(1,392)	27,011	10,382
	<u>229,111</u>	<u>663,507</u>	<u>984,973</u>	<u>1,239,121</u>

2020年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループの実効税率は、特定の損金不算入費用の影響により法定税率を上回った。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2020年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2019年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
マレーシア法人税	(7,261)	385,337	420,759	512,116
外国法人税	7,334	1,346	4,616	3,864
	<u>73</u>	<u>386,683</u>	<u>425,375</u>	<u>515,980</u>
前期における超過引当：				
外国法人税	(24,713)	(4,799)	(24,713)	(5,554)
	<u>(24,640)</u>	<u>381,884</u>	<u>400,662</u>	<u>510,426</u>
繰延税金				
- 一時差異の当期発生及び解消関				
連	<u>113,489</u>	<u>(51,146)</u>	<u>141,428</u>	<u>56,022</u>
当期税金費用	88,849	330,738	542,090	566,448

B5. 税金及びザカート（続き）

2020年6月30日に終了した中間会計期間の当行の実効税率は、課税対象外の特定の収益の影響により法定税率を下回った。

当行の国内法人税は、当年度の課税所得の見積額に対する、マレーシアの法定税率である24%に基づいて算定されている。他の法域の海外子会社の税金額は法域ごとの実効税率で算定される。

B6. 発表されたが完了していないコーポレートプロポーザルの状況

2020年6月30日に終了した中間会計期間には、発表されたが完了していないコーポレートプロポーザルはない。

B7. コーポレートプロポーザルにより調達した資金の使用状況

借入、劣後債務及び資本性証券の発行による資金は、予定通り、運転資本、一般的な銀行業務目的及びその他の企業目的のために使用されている。

B8. 顧客預金、顧客の投資口座、金融機関預り金及び負債証券

注記A14、A15、A16、A17及びA41gを参照のこと。

B9. デリバティブ金融商品

注記A37を参照のこと。

B10. 重要な訴訟の帰趨

2020年6月30日に終了した中間会計期間には、重要な訴訟はない。

B11. 配当金

2020年6月30日に終了した中間会計期間に提言された中間配当はなかった。

B12. 一株当たり利益（「EPS」）

基本EPS

当行グループの基本EPSは、当行株主に帰属する当会計期間の純利益を当会計期間中の加重平均発行済普通株式数で除して計算されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2020年 6月30日終了	2019年 6月30日終了	2020年 6月30日終了	2019年 6月30日終了
当行株主に帰属する当会計期間 の純利益（千マレーシア・リン ギット）	<u>941,732</u>	<u>1,940,871</u>	<u>2,991,382</u>	<u>3,750,135</u>
加重平均発行済普通株式数 （千）	<u>11,241,362</u>	<u>11,113,576</u>	<u>11,241,362</u>	<u>11,081,629</u>
基本一株当たり利益	<u>8.38 セン</u>	<u>17.46 セン</u>	<u>26.61 セン</u>	<u>33.84 セン</u>

B12. 一株当たり利益（「EPS」）（続き）**希薄化後EPS**

希薄化潜在的普通株式が存在しないため、当行グループの当会計期間及び前会計期間における普通株式一株当たり利益の希薄化はない。

取締役会の命令による。

ヴァン・マルティミン・ヴァン・ムハンマド

LS0009924

カンパニーセクレタリー

2020年8月27日

2【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

当該半期中において、2020年7月1日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

(2) 後発事象

該当事項なし。

3【MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違】

本書記載の財務書類は、マレーシア財務報告基準（以下「MFRS」という。）及び国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）に基づいて作成されている。MFRS及びIFRSと、日本で一般に公正妥当と認められている会計原則（以下「日本基準」という。）は、一部の点で相違する。主な相違点の要約は下記の通りである。

項目	マレーシア財務報告基準（MFRS） 及び国際財務報告基準（IFRS）	日本基準 （日本で一般に公正妥当と 認められる会計原則）
(1) 表示が求められる会計期間	財務諸表で報告されるすべての金額について、最低過去1会計期間分の比較情報を開示しなければならない。	前連結会計年度及び当連結会計年度の財務諸表を比較のため併記する。
(2) 財政状態計算書（貸借対照表）と包括利益計算書（損益計算書）の様式	<p>下記の財務諸表(注1、2)の作成を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政状態計算書 ・ 包括利益計算書（1計算書方式）(注3)、又は損益計算書とその他の包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）(注4) ・ 持分変動計算書 ・ キャッシュ・フロー計算書 ・ 会計方針及び注記 <p>(注1)各計算書の名称については他のものを使用することも可 (注2)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合には、上記財務諸表に加えて、比較のため、開示される最も古い比較年度の期首財政状態計算書の作成も求められる (注3)純損益及びその他の包括利益計算書（1計算書方式）をいう (注4)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可</p>	<p>下記の財務諸表(注1)の作成を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連結貸借対照表 ・ 連結損益及び包括利益計算書（1計算書方式）(注2)、又は連結損益計算書と連結包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）(注3) ・ 連結株主資本等変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 連結附属明細表 <p>(注1)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合でも、開示される最も古い比較年度の期首貸借対照表の追加作成は不要 (注2)1計算書方式の様式については連結財務諸表規則ガイドラインの別紙を参照 (注3)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可</p>
(3) 特別（異常）損益の表示	収益又は費用のいかなる項目も、特別項目として、包括利益計算書若しくは損益計算書（表示されている場合）又は注記のいずれにも表示してはならない。	特別損益に属するものはその内容を示す名称を付した科目をもって表示する。

(4) 連結の範囲	<p>連結の対象範囲は適用される支配の概念による。</p> <p>投資者は、投資者が次の各要素をすべて有している場合にのみ、投資先を支配している。</p> <p>(a)投資先に対するパワー</p> <p>(b)投資先への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャー又は権利</p> <p>(c)投資者のリターンの額に影響を及ぼすように投資先に対するパワーを用いる能力</p> <p>支配の判定に際し、投資者は自らの潜在的議決権と他の者が保有している潜在的議決権とを考慮して、自らがパワーを有しているかどうかを決定する。</p> <p>投資者は、投資先の議決権の過半数を有していなくても、パワーを有するに十分な権利（いわゆる「事実上の支配」(de facto control)）を有する可能性がある。</p>	<p>連結の対象範囲は適用される支配力の概念による。</p> <p>親会社が、他の企業の財務及び営業又は事業の方針を決定する機関（意思決定機関）を支配している場合、当該他の企業に対する支配が存在する。</p> <p>日本基準には、支配の有無の判断にあたり、潜在的議決権の影響や、意思決定権の行使が本人と代理人のいずれの立場として行われているかなどを考慮することを明示的に求める規定は存在しない。</p> <p>議決権の過半数を有していなくても、当該他の企業の取締役会の構成、資金調達の状況及び当該他の企業の方針の決定を支配する契約の存在等を考慮した上で、緊密な関係があることにより自己の意思と同一の内容の議決権を行使すると認められる者及び自己の意思と同一の内容の議決権を行使することに同意している者が所有している議決権とを合わせて支配の有無の判断を行うことを求める規定が存在する。</p>
(5) 連結の範囲（例外規定）	<p>すべての子会社を連結することを要するが、投資企業については以下の例外がある。</p> <p>一定の条件を満たす企業は投資企業に該当し、子会社を連結することが禁止され、子会社に対する投資をMFRS第9号にしたがって純損益を通じて公正価値で測定しなければならない。</p> <p>ただし、投資企業の投資活動に関連するサービスを提供する子会社は連結しなければならない。</p> <p>投資企業の親会社自身が投資企業でない場合、当該親会社はその連結財務諸表において当該投資企業の会計処理を引き継ぐことができない。</p>	<p>以下に該当する子会社は連結の範囲に含めないものとされる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支配が一時的であると認められる企業 ・ 連結の範囲に含めることにより利害関係人の判断を著しく誤らせるおそれがあると認められる企業
(6) 特別目的事業体及びストラクチャード・エンティティー	<p>投資者が支配しているストラクチャード・エンティティーは連結しなければならない。</p>	<p>一定の条件を満たす一定の特別目的会社は子会社に該当しないものと推定する。投資事業組合の連結の範囲は、基本的に業務執行権限の有無に基づいて判断される。</p>

(7) 共同支配の取決め	<p>共同支配事業(joint operation)に該当する共同支配の取決め(joint arrangement)の場合、共同支配事業者は共同支配事業における自らの資産、負債、収益及び費用並びに／又は共同支配事業における共同支配に係る資産、負債、収益及び費用の持分相当額を認識する。</p> <p>共同支配企業(joint venture)の場合、持分法が適用される。</p>	被共同支配企業の会計処理には持分法を適用する。
(8) 企業結合の会計処理	<p>取得法(acquisition method)を適用して企業結合を会計処理する。</p> <p>MFRS第3号は、共同支配企業(joint venture)の設立及び共通支配下の企業又は事業の統合などには適用されない。</p>	共同支配企業の形成及び共通支配下の取引以外の企業結合には、パーチェス法が適用される。
(9) のれんの当初認識と非支配持分の測定方法	<p>企業結合ごとに、非支配持分の測定方法について、取得企業が以下のいずれかを選択できる。</p> <p>1)非支配持分も含めた被取得企業全体を公正価値で測定し、のれんは非支配持分に帰属する部分も含めて認識する方法(いわゆる全部のれんアプローチ)。</p> <p>2)非支配持分を被取得企業の識別可能純資産の公正価値に対する取得企業の持分相当額によって測定し、のれんは取得企業の持分相当額についてのみ認識する方法(いわゆる購入のれんアプローチ)。</p>	<p>のれんは、被取得企業又は取得した事業の取得原価のうち、取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を超過する額として算定される(のれんの算定に認められているのは、購入のれんアプローチのみ)。</p> <p>子会社の資産及び負債のすべてを支配獲得日の時価により評価する(いわゆる全面時価評価法)。</p> <p>* IFRSで選択できるような、非支配持分自体を支配獲得日の時価で評価する会計処理は認められていない。</p>
(10) のれんの取扱い	<p>規則的な償却は行わず、減損の兆候が無くても各報告期間において、さらに減損の兆候がある場合には追加で、減損テストに付される。</p>	<p>原則としてその計上後20年以内に、定額法その他合理的な方法により償却しなければならない。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、当該のれんが生じた事業年度の費用として処理することができる。</p> <p>のれんに減損の兆候がある場合には、減損損失を認識するかどうか判定する。</p>

(11) 有形固定資産 解体及び除却費用並 びに原状回復費用等	<p>MFRS第116号に従い、引当金の認識要件を満たす解体及び除却費用並びに原状回復費用等は、有形固定資産の取得原価に含める。MFRS第137号の引当金には、法的債務及び推定的債務が含まれる。</p> <p>割引率の事後的な変更についても引当金を再測定し、（原価モデルの場合は）取得原価に加減する。</p> <p>割引の定期的な振戻しに関連する費用は、金融費用として費用計上する。</p> <p>日本基準にある敷金に関する例外処理は、MFRSでは認められない。</p>	<p>資産除去債務計上額を関連する有形固定資産の帳簿価額に加える。</p> <p>資産除去債務は、有形固定資産の除去に関して法令又は契約で要求される法律上の義務及びそれに準ずるものを計上する。</p> <p>資産除去債務の割引率は負債計上時に決定し、通常はその後の変更は行わない（ただし、将来のキャッシュ・フローの見積額が増加した場合は、その時点の割引率に変更し、減少した場合は負債計上時の割引率を用いる。）。</p> <p>割引の振戻しに伴う時の経過による資産除去債務の調整額は、損益計算書上、当該資産除去債務に関連する有形固定資産の減価償却費と同じ区分に含めて計上する。</p> <p>敷金が資産計上されている場合、簡便な評価方法で、敷金の回収が見込めないと認められる金額を合理的に見積り、当期に配分される金額を費用に計上することができる。</p>
(12) 固定資産の事後測定	<p>原価モデル又は再評価モデルのどちらかを会計方針として選択し、同一種類のすべての有形固定資産に適用しなければならない。</p> <p>再評価モデルを選択した場合、帳簿価額が報告期間の期末日における公正価値と大きく相違しないよう、再評価を定期的の実施しなければならない。</p>	<p>取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額で計上される。（再評価は認められていない。）</p>
(13) 投資不動産 当初認識後の測定	<p>原価モデル又は公正価値モデルの選択が可能である。当該方針はあらゆる投資不動産に対して適用される。</p>	<p>（注記においてのみ開示される。特に明示された基準はない。）原価モデルのみ利用可能。</p>
(14) 投資不動産 公正価値モデルでの測定	<p>公正価値モデルを選択する企業は、公正価値が信頼性をもって測定できない例外的な場合を除き、すべての投資不動産を公正価値で評価しなければならない。</p>	<p>該当する基準はない。</p>
(15) 減損レビュー ・プロセス（非金融 資産）	<p>1段階アプローチ</p> <p>減損の兆候が存在する場合に、資産の帳簿価額がその回収可能価額を上回る金額を減損損失として算定する。</p> <p>回収可能価額は処分費用控除後の公正価値と使用価値のいずれか高い金額となる。</p>	<p>2段階アプローチ</p> <p>最初に回収可能性テスト（資産の帳簿価額を、資産の使用及び最終的処分を通じて発生する割引前将来キャッシュ・フローの総額と比較する）を行う。その結果、資産の帳簿価額が割引前キャッシュ・フローの総額よりも大きい場合、回収不能と判断された場合、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額するように減損損失を認識する。</p>

(16) 減損損失の戻入れ（非金融資産）	のれんについては減損損失の戻入れは禁止されるが、他の資産については、毎報告期間末に、過去の期間に認識された減損損失がもはや存在しない又は減少している兆候があるのかどうかについて検討しなければならない。かかる兆候が存在する場合は、過去の期間に認識された減損損失を戻し入れる。ただし、過年度において当該資産について減損損失が認識されていなかったとした場合の帳簿価額（償却分控除後）を超えないものとする。	あらゆる資産について禁止される。
(17) 当初測定（初日利得）	金融資産及び負債が活発な市場で取引されておらず、価格評価モデルへの入力値が市場において観察できない場合、当初認識時に純利得を認識することはできず、かかる利得は繰り延べられる。	初日利得の測定に関する具体的規定が存在しないため、非上場デリバティブについて、市場価格に準ずるものとして合理的に算定された価格があれば、評価額として使用することができる。
(18) 公正価値測定の範囲（株式及びデリバティブ）	公表価格がなく公正価値が信頼性をもって測定できない場合に関するMFRS第139号における公正価値測定の例外規定は廃止された。すべての場合において、必ず公正価値で測定する必要がある。	市場で売買されない株式については、時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品として取り扱う。 取引慣行が成熟していない一部の天候デリバティブ等で公正な評価額を算定することが極めて困難と認められるデリバティブ取引については、取得価額をもって貸借対照表価額とする。
(19) 金融資産の認識の中止	リスク経済価値アプローチに基づき、金融資産の認識を中止する。 金融資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんどすべてを移転したわけでも、ほとんどすべてを保持しているわけでもない場合は、「支配」の有無を検討する。引続き支配を保持している場合は、継続的関与の範囲内で認識を継続する。	財務構成要素アプローチに基づき、金融資産の消滅を認識する。

(20) 金融資産の区分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負債性金融商品(債券・債権等) 「事業モデル・テスト」及び「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」に従い、以下の3つに区分される。 ・ 償却原価 契約上のキャッシュ・フローの回収を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI) (リサイクルあり) 契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ 純損益を通じて公正価値で測定(FVPL) 上記のいずれにも該当しないもの 償却原価又はFVOCIに分類可能な場合であっても、当初認識時にFVPLに分類できる。 ・ 資本性金融商品(株式等) トレーディング目的の保有ではなく、当初認識時に企業が指定した場合のみ、その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI)(リサイクルなし)される。上記指定が行われない金融商品は、以後FVPLで測定される。 	<p>有価証券については以下の通り区分される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売買目的有価証券 ・ 満期保有目的の債券 ・ 子会社株式及び関連会社株式 ・ その他有価証券
(21) 金融商品の公正価値概念	<p>企業が直ちに利用できる最も有利で活発な市場において、測定日時点で、市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却するために受け取るであろう価格又は負債を移転するために支払うであろう価格を使う。</p> <p>金融資産が活発な市場で取引される場合には、市場における終値で測定される。現在の買呼値と売呼値が利用可能で、容易に取得できる場合、保有資産又は発行する負債に対する適切な相場価格は買呼値であり、取得する資産又は保有負債に対する適切な相場価格は売呼値である。</p> <p>MFRS第13号は、仲値による価格付けなど、市場参加者が買呼値と売呼値の間で公正価値測定の実務上の便法として用いている価格付けの慣行の使用を妨げるものではない。</p>	<p>複数の取引所に上場されている金融商品の場合は、取引が最も活発に行われている市場における価格を用いる。一部の非上場デリバティブを除き、市場価格に基づく価額として仲値を使用することが一般的である。</p>

(22) 売却可能投資 / 有価証券の事後測定	<p>「売却可能金融投資」の区分は廃止された。当初認識時にFVOCIと指定された適格な資本性金融商品については、受取配当金のみ純損益に計上される。それ以外の変動（為替レートの変動を含む。）はすべてその他の包括利益に計上され、その後の純損益への振替は行われない。</p>	<p>時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は税効果を考慮のうえ、以下のいずれかの方法により処理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合計額を直接純資産の部に計上 ・ 時価が取得原価を上回る銘柄に係る評価差額は純資産の部に計上、時価が取得原価を下回る銘柄に係る評価差額は当期の損失として処理 <p>時価が著しく下落し、かつ、回復可能性が認められない場合又は実質価額が著しく低下した場合には、減損損失を認識し、帳簿価額と時価又は実質価額の差額を純損益に振り替える。減損の戻入は禁止される。</p>
(23) 償却原価法と実効金利法	<p>金融資産又は金融負債の償却原価の計算は実効金利法による。実効金利には、実効金利の不可分の一部である契約当事者間で授受されるすべての手数料、取引費用、並びにその他のプレミアム及びディスカントを考慮する。</p>	<p>償却原価法は原則として利息法によるが、継続適用を条件として、簡便法として定額法を採用することも認められる。</p> <p>満期保有目的の債券は、金利調整差額のみを対象とする償却原価法を適用する。</p>
(24) 減損（金融資産）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負債性金融商品の場合 購入又は組成した信用減損資産（不良債権等）を除き、損失引当金の認識規定の対象資産（償却原価で測定する負債性金融商品を含む。）は、すべて12ヶ月予想信用損失（ECL: Expected Credit Losses）が引き当てられる（ステージ1）。当初認識後に信用リスクの著しい増加がある場合には、引当額が12ヶ月ECLから全期間ECLに切り替わる（ステージ2）。（利息収益の認識） 減損の客観的な証拠が生じるまでは、利息収益は、帳簿価額総額に実効金利（EIR）を適用して算定される。減損の客観的な証拠がある場合（ステージ3）には、帳簿価額純額（すなわち、減損引当額を控除した後の帳簿価額の総額）にEIRを適用して算定される。 ・ 資本性金融商品の場合 非デリバティブ資本性金融商品は、すべてFVPL又はFVOCI（リサイクルなし）で測定されるため、減損という手続き自体がなくなっている（公正価値測定が用いられる。）。 	<p>有価証券については、時価が著しく下落したときは、回復する見込みがあると認められる場合を除き、時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は当期の損失として処理する。</p> <p>時価を把握することが極めて困難な株式について、実質価額が著しく低下した場合には、相当の減額を行い、評価差額は当期の損失として処理する。</p> <p>債券について時価を把握することが極めて困難なケースについても規定している。</p>

(25) 貸出金及びその他の債権に対する減損引当金	<p>以下の金融商品については、以下のとおり、簡便法の適用が強制又は会計方針の選択により認められる。なお、簡便法の適用とは、常に全期間ECLで測定することを意味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要な財務要素を含まない営業債権又は契約資産...簡便法の適用が強制 ・ 重要な財務要素を含む営業債権又は契約資産、及びリース債権(1年超を含む)であって、会計方針として全期間ECLでの測定が選択されたもの...会計方針の選択により、簡便法を適用 	<p>区分に応じ、債権の貸倒見積高を以下の通り算定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般債権：過去の貸倒実績率等、合理的な基準により算定 ・ 貸倒懸念債権：債権の状況に応じ、次のいずれかの方法を継続適用する。 債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒見積高を算定する方法 将来キャッシュ・フローの現在価値と債権の帳簿価額との差額を貸倒見積高とする方法 ・ 破産更生債権等：債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額を貸倒見積高とする。
(26) 金融資産減損の戻入れ	<p>負債性金融商品については、過年度に損失引当金が計上されたが、当初認識後に信用度が改善して信用リスクの著しい増大がない場合、戻し入れしなければならない。</p>	<p>売買目的有価証券は、減損後引続き時価評価されるが、満期保有目的の債券及びその他有価証券について減損の戻入れは行われない。</p>
(27) 外貨建金融商品	<p>外貨建の貨幣性資産及び負債に係る為替レートの変動による利得又は損失は、純損益に計上しなければならない。FVOCIに分類された外貨建資本性金融商品に係る為替変動はOCIで認識する。</p>	<p>外貨建その他有価証券について、原則として帳簿価額の変動のすべてが純資産の部に計上されるが、為替要因に基づく変動を区分し、純損益に計上することもできる。</p>
(28) 金融負債の評価	<p>純損益を通じて公正価値で評価される金融負債等を除き、実効金利法を用いた償却原価で測定しなければならない。</p> <p>公正価値で測定される金融負債については、当該負債の信用リスクの変動に起因する公正価値の変動の金額をその他の包括利益において認識し、計上しなければならない。</p> <p>当該負債の公正価値の変動の残りの金額は、純損益に計上しなければならない。</p>	<p>債務額をもって貸借対照表価額とする。ただし、収入に基づく金額と債務額とが異なる場合には、償却原価法で測定しなければならない。</p>
(29) 金融負債と資本の区分	<p>MFRS第132号にて、金融負債と資本の区分に関する包括的な規定が設けられており、金融商品の契約の実質並びに金融負債及び資本の定義に基づき区分しなければならない。</p>	<p>金融負債と資本の区分に関する包括的な規定は存在しない。</p>

(30) 組込デリバティブの会計処理	<p>組込デリバティブは以下のすべての条件を満たしたとき、主契約との区分処理が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが主契約のそれらと密接に関連していない。 ・ 組込デリバティブと同一条件の独立の金融商品ならばデリバティブの要件を充足する。 ・ デリバティブが組み込まれた複合(合成)金融商品が、公正価値で測定され公正価値の変動を純損益に認識するものではない。 	<p>次のすべての要件を満たした場合、区分処理が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組込デリバティブのリスクが現物の金融資産又は金融負債に及ぶ可能性があること ・ 組込デリバティブと同一条件の独立した金融商品が、デリバティブの特徴を満たすこと ・ 時価の変動による評価差額が当期の損益に反映されないこと <p>ただし、管理上組込デリバティブが区分され、一定要件を満たす場合、区分処理を行うことができる。</p>
(31) ヘッジ会計の手法	<p>次の3種類のヘッジ会計が認められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公正価値ヘッジ:ヘッジ対象に関連する特定のリスクに係る公正価値の変動及びヘッジ手段の公正価値の変動はともに純損益に計上する。 ・ キャッシュ・フロー・ヘッジ:ヘッジ手段の公正価値の変動のうち、有効部分をその他の包括利益に計上する。 ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ:キャッシュ・フロー・ヘッジと同様の方法で会計処理される。 	<p>原則として、ヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、税効果を考慮のうえ、純資産の部において繰り延べる。</p> <p>ただし、時価ヘッジ(ヘッジ対象に係る相場変動等を損益に反映させるもの)も認められる。</p>
(32) ヘッジ非有効部分の処理	<p>ヘッジ手段に係る利得又は損失のうち非有効部分は、純損益として認識しなければならない。(キャッシュ・フロー・ヘッジの場合、公正価値の変動に対するヘッジ有効部分のみがその他の包括利益で認識される)。</p>	<p>ヘッジ全体が有効と判定され、ヘッジ会計の要件が満たされている場合には、ヘッジ手段に生じた損益のうち結果的に非有効となった部分についても繰延処理することができる。</p> <p>非有効部分を特定し、合理的に区分できる場合には、当期の損益に計上することができる。</p>
(33) 金利スワップの特例処理	<p>該当する基準はなく、金利スワップに係る特例処理は認められない。</p>	<p>一定の条件を満たす場合には、金利スワップを時価評価せず、金利スワップに係る利息を直接、金融資産・負債に係る利息に加減して処理することが認められる。</p>
(34) 未払有給休暇	<p>累積的性格を有するものについて、計上することが求められる。</p>	<p>該当する基準はない。</p>

(35) リース	<p>MFRS第16号「リース」に基づき、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の使用権モデルに基づいて、原則として、すべてのリースについて使用権資産とリース負債を財政状態計算書で認識（オンバランス）し、以降、使用権資産は減価償却され、リース負債に係る支払利息は実効金利率を用いて損益計算書に認識される。また、使用権資産については、MFRS第136号「資産の減損」を適用して、使用権資産が減損しているかどうかを判定する。例外として、一定の短期リース及び少額資産のリースについては、免除規定（オフバランス）を選択できる。</p>	<p>日本では、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。ファイナンス・リース取引とは、解約不能かつフルペイアウトの要件を満たすものをいい、ファイナンス・リース取引に該当するかどうかについてはその経済的実質に基づいて判断すべきものであるが、解約不能リース期間が、リース物件の経済的耐用年数の概ね75%以上又は解約不能のリース期間中のリース料総額の現在価値が、リース物件を借手が現金で購入するものと仮定した場合の合理的見積金額の概ね90%以上のいずれかに該当する場合は、ファイナンス・リースと判定され、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件及びこれに係る債務をリース資産及びリース債務として借手の財務諸表に計上する。ただし、少額（リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース）又は短期（1年以内）のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができる。</p> <p>また、オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。</p>
(36) 確定給付制度 - 確定給付制度債務の期間配分方法	<p>原則として予測単位積増方式（発生給付評価方式）を用いる。</p> <p>ただし、後期の年度の勤務が初期の年度より著しく高い水準の給付を生じさせる場合、定額法を用いる。</p>	<p>次のいずれかの方法の選択適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間定額基準 ・ 給付算定式基準（当該制度の給付算定式に従って各勤務期間に帰属させた給付見込額を、各期の発生額とする）
(37) 確定給付制度 - 年金資産	<p>積立超過である場合には、確定給付資産が以下の金額の合計を超えないように制限される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未認識数理計算上の差損の純額及び過去勤務費用 ・ 制度からの返還又は制度への将来の掛金減少という形で利用可能な経済的便益の現在価値（資産上限額） 	<p>年金資産の額が退職給付債務を超える場合、当該超過額を資産として計上する（ただし、個別財務諸表に関しては「退職給付に関する会計基準」第39項(1)において別段の定めが設けられている。）。</p>

<p>(38) 確定給付制度 - 数理計算上の差異</p>	<p>企業は、確定給付負債（資産）の純額を財政状態計算書に認識しなければならない。</p> <p>数理計算上の差異を含む確定給付負債（資産）の純額の再測定はその他の包括利益で認識される。 （その他の包括利益で認識された確定給付負債（資産）の純額の再測定は、事後的に純損益に振り替えてはならない。）</p>	<p>数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。</p> <p>また、当期に発生した未認識数理計算上の差異は税効果を調整の上、その他の包括利益として純資産の部に計上する。</p> <p>その他の包括利益累計額に計上されている未認識数理計算上の差異のうち、当期に損益に再分類された部分については、その他の包括利益の調整（組替調整）を行う。</p> <p>未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異の費用処理には平均残存勤務期間以内の一定の年数のほか一定割合を用いることができる。また、数理計算上の差異の償却は翌期から行うことができる。</p> <p>過去勤務費用と数理計算上の差異の償却年数はそれぞれ別個に設定することができる。</p>
<p>(39) 生命保険契約負債</p>	<p>当行グループの貸借対照表上の生命保険契約負債及び当行グループの損益計算書上の保険契約負債の変動は、マレーシア中央銀行のリスク基礎資本フレームワークに準拠して計算されている。</p> <p>生命保険契約負債は、将来便益の現在価値の合計とリスクフリーレートで割り引かれた保険契約から生じる将来の対価の総額を控除した費用に基づき保険数理計算を用いて評価する。この方法は保険金総額評価方法として知られる。</p>	<p>日本においては、責任準備金は、生命保険契約に基づく将来債務の履行に備えるため、主として平準純保険料方式及びロックイン方式を用いて積み立てられる。</p>
<p>(40) 生命保険事業に係る収益と費用</p>	<p>保障業務を含むサービスの提供及びリスクの負担によって得られる保険料は、収益として扱われる。保険料は金額が信頼できる測定が可能になった時点で認識する。</p> <p>定期的な支払日のある保険料は、支払期日基準で収益として認識される。支払期日のない保険料は、信頼できる測定の範囲で収益として認識される。新契約獲得費は発生時に費用処理される。</p>	<p>日本においては、現金主義によって、保険料は収益認識され、新契約獲得費は発生時に費用処理される。</p>

第7【外国為替相場の推移】

財務書類の表示に用いられた通貨（マレーシア・リングgit）と本邦通貨との間の為替相場が国内において時事に関する事項を掲載する2以上の日刊新聞にて当該半期中において掲載されているため、本項の記載は省略する。

第8【提出会社の参考情報】

2020年1月1日以降、本半期報告書提出日までの間に、当行は下記の書類を関東財務局長に提出した。

- (1) 半期報告書の訂正報告書(2020年2月3日提出)
- (2) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2020年2月3日提出)
- (3) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2020年2月3日提出)
- (4) 発行登録書(募集)の追補書類及び添付書類(2020年2月6日提出)
- (5) 発行登録書(募集)及び添付書類(2020年6月8日提出)
- (6) 発行登録書(売出)及び添付書類(2020年6月8日提出)
- (7) 有価証券報告書及び添付書類(2020年7月1日提出)

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。